

投資信託に関するアンケート調査 報告書

2022年3月



一般社団法人
投資信託協会

<目 次>

1. 調査計画の概要	3
2. 調査結果の要約	6
3. 回答者のプロフィール	17
(1)性別・年代〔Q30〕〔Q31〕	18
(2)職業〔Q32〕	20
(3)金融資産の保有経験〔Q1〕	22
(4)投資信託の保有状況〔Q2〕	23
(5)世帯年収〔Q33①〕	25
(6)個人年収〔Q33②〕	27
(7)保有金融資産額〔Q34〕	28
(8)老後の資産形成〔Q35〕	30
4. 投資信託保有状況（現在保有層）	32
(1)投資信託の保有口座〔Q3〕	33
(2)投資信託の保有種類〔Q6〕	35
(3)投資信託の購入額〔Q7〕	36
(4)現在保有している投資信託の本数〔Q4〕	37
(5)投資信託商品の直近購入時期〔Q5〕	38
(6)投資信託の積立投資の利用状況〔Q18〕	39
(7)毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20〕	41

<目 次>

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）	46
(1)投資信託の興味・関心・購入のきっかけ〔Q8〕	47
(2)投資信託の購入目的〔Q9〕	49
(3)投資信託購入時参考情報〔Q11〕	51
(4)投資信託購入の際の重視点／今後の重視点〔Q10①②〕	53
(5)分配金の特徴認知状況〔Q13〕	57
(6)償還・売却資金の流出先〔Q14〕	59
(7)投資信託の優れていると感じる点／特に魅力を感じる点〔Q15①②〕	61
(8)投資信託で不満を感じる点／特に不満を感じる点〔Q16①②〕	65
(9)トータルリターンの把握状況〔Q24〕	69
6. 投資信託保有未経験者の状況	71
(1)投資信託の非購入理由〔Q26〕	72
(2)投資信託購入検討のきっかけ〔Q27〕	74
7. 投資信託全般に関する状況（全体）	76
(1)投資信託の商品特徴認知状況〔Q12〕	77
(2)毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q21〕	80
(3)毎月分配型投資信託商品の魅力点〔Q22〕	82
(4)毎月分配型投資信託商品の非魅力点〔Q23〕	84
(5)積立投資プランの内容認知〔Q19〕	86
(6)投資信託運用会社の重視点〔Q17〕	87
(7)投資信託のコスト特徴認知状況〔Q25〕	89
8. 投資意識に関する状況	91
(1)ESG・SDGs関連への投資意向〔Q28〕	92
(2)金融教育の経験／評価〔Q29①②〕	94

* 末尾添付資料：調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																						
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																																																																																						
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																						
調査対象	20～79歳の男女																																																																																						
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <ul style="list-style-type: none"> * 性・年代・エリアで割付実施（割付は令和2年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <p><性・年代・エリアごとの回収数詳細></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>首都圏</td> <td>422</td> <td>496</td> <td>639</td> <td>550</td> <td>436</td> <td>426</td> <td>2,969</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>213</td> <td>289</td> <td>252</td> <td>222</td> <td>233</td> <td>1,401</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>714</td> <td>850</td> <td>1,101</td> <td>965</td> <td>1,030</td> <td>922</td> <td>5,582</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性計</td> <td>1,328</td> <td>1,559</td> <td>2,029</td> <td>1,767</td> <td>1,688</td> <td>1,581</td> <td>9,952</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>首都圏</td> <td>408</td> <td>467</td> <td>599</td> <td>507</td> <td>436</td> <td>494</td> <td>2,911</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>193</td> <td>215</td> <td>294</td> <td>259</td> <td>239</td> <td>281</td> <td>1,481</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>665</td> <td>809</td> <td>1,058</td> <td>971</td> <td>1,076</td> <td>1,077</td> <td>5,656</td> </tr> <tr> <td colspan="2">女性計</td> <td>1,266</td> <td>1,491</td> <td>1,951</td> <td>1,737</td> <td>1,751</td> <td>1,852</td> <td>10,048</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2,594</td> <td>3,050</td> <td>3,980</td> <td>3,504</td> <td>3,439</td> <td>3,433</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,880サンプル 阪神圏：大阪、京都、兵庫、奈良／計2,882サンプル その他地域：上記以外の都道府県／計11,238サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	422	496	639	550	436	426	2,969	阪神圏	192	213	289	252	222	233	1,401	その他地域	714	850	1,101	965	1,030	922	5,582	男性計		1,328	1,559	2,029	1,767	1,688	1,581	9,952	女性	首都圏	408	467	599	507	436	494	2,911	阪神圏	193	215	294	259	239	281	1,481	その他地域	665	809	1,058	971	1,076	1,077	5,656	女性計		1,266	1,491	1,951	1,737	1,751	1,852	10,048	TOTAL		2,594	3,050	3,980	3,504	3,439	3,433	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																															
男性	首都圏	422	496	639	550	436	426	2,969																																																																															
	阪神圏	192	213	289	252	222	233	1,401																																																																															
	その他地域	714	850	1,101	965	1,030	922	5,582																																																																															
男性計		1,328	1,559	2,029	1,767	1,688	1,581	9,952																																																																															
女性	首都圏	408	467	599	507	436	494	2,911																																																																															
	阪神圏	193	215	294	259	239	281	1,481																																																																															
	その他地域	665	809	1,058	971	1,076	1,077	5,656																																																																															
女性計		1,266	1,491	1,951	1,737	1,751	1,852	10,048																																																																															
TOTAL		2,594	3,050	3,980	3,504	3,439	3,433	20,000																																																																															
調査時期	2021年11月9日（火）～ 11月16日（火）																																																																																						
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																						
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																						

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値を足し上げた際に内訳の合計が100%ちょうどにならない場合がある。また、小計においても、内訳を足し上げた数値と誤差が生じる場合がある。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータをみる際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
基本軸1	性別	1 男性	Q30の調査結果から作成
		2 女性	
	年代別	1 20代	Q31の調査結果から作成
		2 30代	
		3 40代	
		4 50代	
		5 60代	
		6 70代	
	世帯年収別	1 100万円未満	Q33①の調査結果から作成
		2 ~300万円	
3 ~500万円			
4 ~1000万円			
5 1000万円以上			
基本軸2	投資信託 保有状況別	1 現在保有層	Q2で投資信託を「1.現在保有している」回答者
		2 保有経験層（現在非保有）	Q2で投資信託を「2.以前保有していたが、現在は保有していない」回答者
		3 保有未経験層（金融資産保有経験有）	Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つQ1で金融資産を「1.保有したことがある」回答者
		4 保有未経験層（金融資産保有経験無）	Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つQ1で金融資産を「2.保有したことはない」回答者
	投資信託 現在保有種類別	1 株式投資信託保有層	Q6現在保有投資信託商品で「1.国内株式に投資する投資信託」か「3.外国株式に投資する投資信託」の回答者
		2 その他投資信託保有層	Q6現在保有投資信託商品で「2.国内債券に投資する投資信託」、「4.外国債券（国債、ハイールド債等）に投資する投資信託」から「9.不動産投信〔J-リート〕」までのいずれかの回答者 ※但し、上記の「株式投資信託保有層」は除く

2. 調査結果の要約



2. 調査結果の要約

投資信託の保有経験／投資信託現在保有層の「保有種類」

■ 投資信託の現在保有率は27.9%。

現在保有層は、40代(21.0%)が最も高く、ついで30代(18.1%)が続く。20～40代の比率が前回より増加。特に30代は2.3ポイント増加。

＜投資信託の保有経験＞【ベース：TOTAL】(P.18)

■ 現在保有層 ■ 保有経験層 (現在非保有) ■ 保有未経験層 (金融資産保有経験有) ■ 保有未経験層 (金融資産保有経験無) (%)

年	n=	現在保有層 (%)	保有経験層 (現在非保有) (%)	保有未経験層 (金融資産保有経験有) (%)	保有未経験層 (金融資産保有経験無) (%)
2021年	(20000)	27.9	8.7	12.7	50.7
2020年	(20000)	23.4	9.8	15.5	51.4
2019年	(20000)	22.3	10.0	17.6	50.2

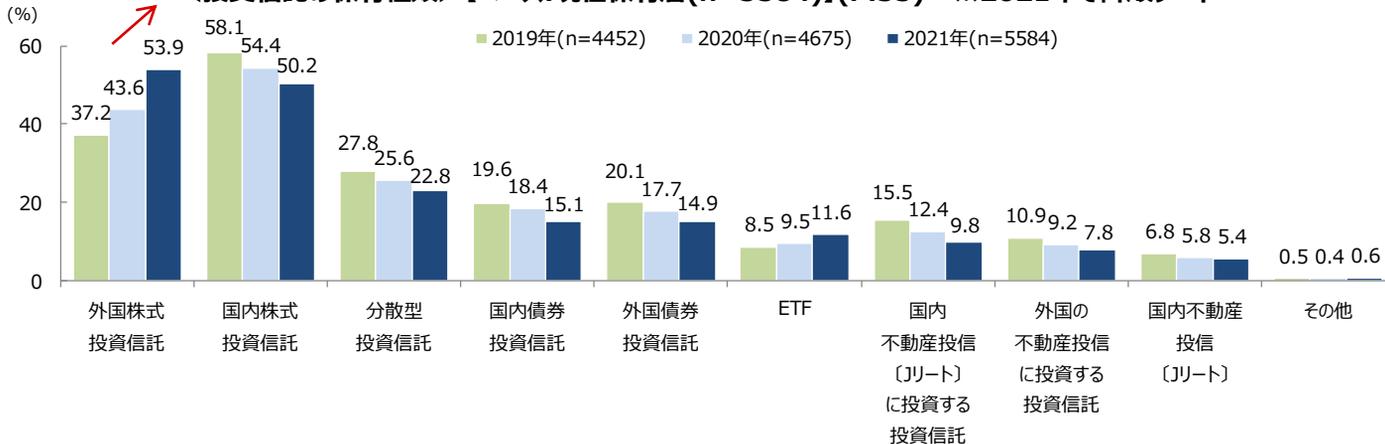
＜投資信託現在保有層の年代構成＞【ベース：現在保有層(n=5584)】(P.24)

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

年	n=	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)
2021年	(5584)	11.4 (638)	18.1 (1012)	21.0 (1174)	16.4 (916)	16.8 (938)	16.2 (906)
2020年	(4675)	11.1 (521)	15.8 (738)	20.2 (946)	16.5 (770)	19.4 (909)	16.9 (791)
2019年	(4452)	8.8 (390)	14.5 (646)	19.2 (855)	17.1 (763)	21.9 (976)	18.5 (822)

■ 現在保有層が保有している投信の種類は「外国株式投資信託」が最多で、前回と比べて10.3ポイント増加。保有種類数は平均で「2.09種類」で、前回より若干減少。

＜投資信託の保有種類＞【ベース：現在保有層(n=5584)】(P.35) ※2021年で降順ソート



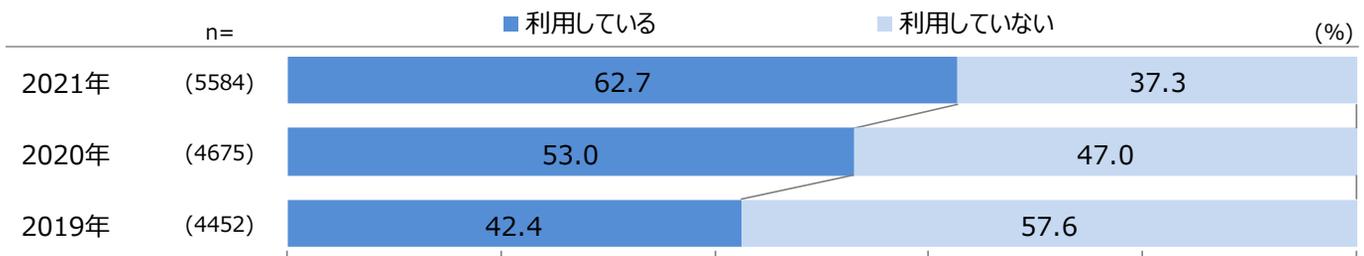
2. 調査結果の要約

投資信託現在保有層の「積立投資」利用状況、「毎月分配型投資信託」の保有状況

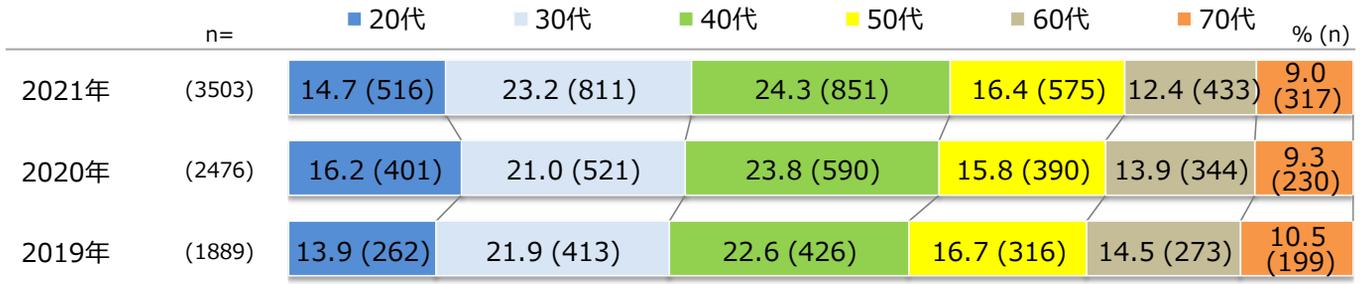
■ 積立投資利用率は62.7%。前回と比べて9.7ポイント増加している。 毎月分配型投資信託は33.6%と、前回より5.4ポイント減少。

- ・積立投資は若年層ほど利用が多く、特に20・30代は80%以上と高い。〔P39〕
- ・すべての年代で積立投資の利用率が増加している。〔P39〕
- ・毎月分配型投資信託の年代構成比は、前回と比べて30代比率がやや増加し、高齢層比率が若干減少しているものの、引き続き50代以上が半数以上占める。〔P41〕

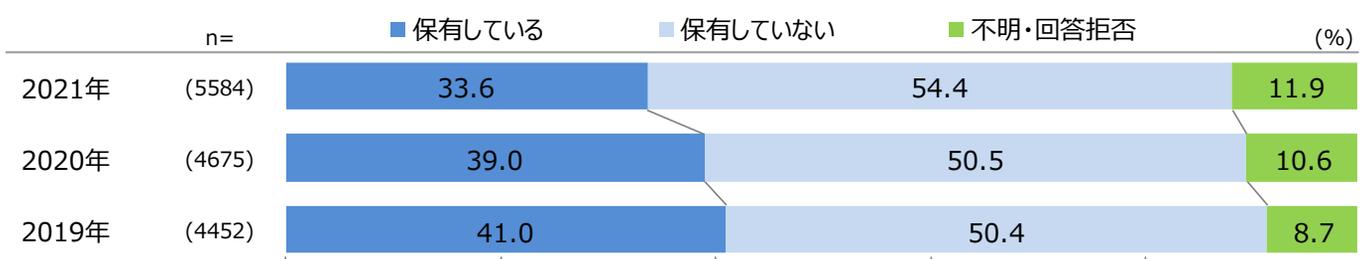
＜積立投資の利用有無＞【ベース:現在保有層】(P.39)



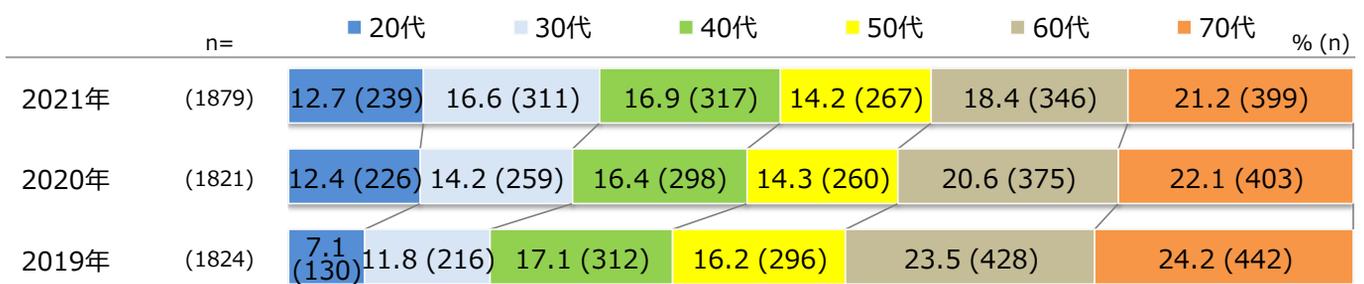
＜積立投資利用者の年代構成比＞【ベース:現在保有層で積立投資利用者】(P.40)



＜毎月分配型投資信託の保有状況＞【ベース:現在保有層】(P.41)



＜分配型投資利用者の年代構成比＞【ベース:現在保有層で分配型積立投資利用者】(P.42)



2. 調査結果の要約

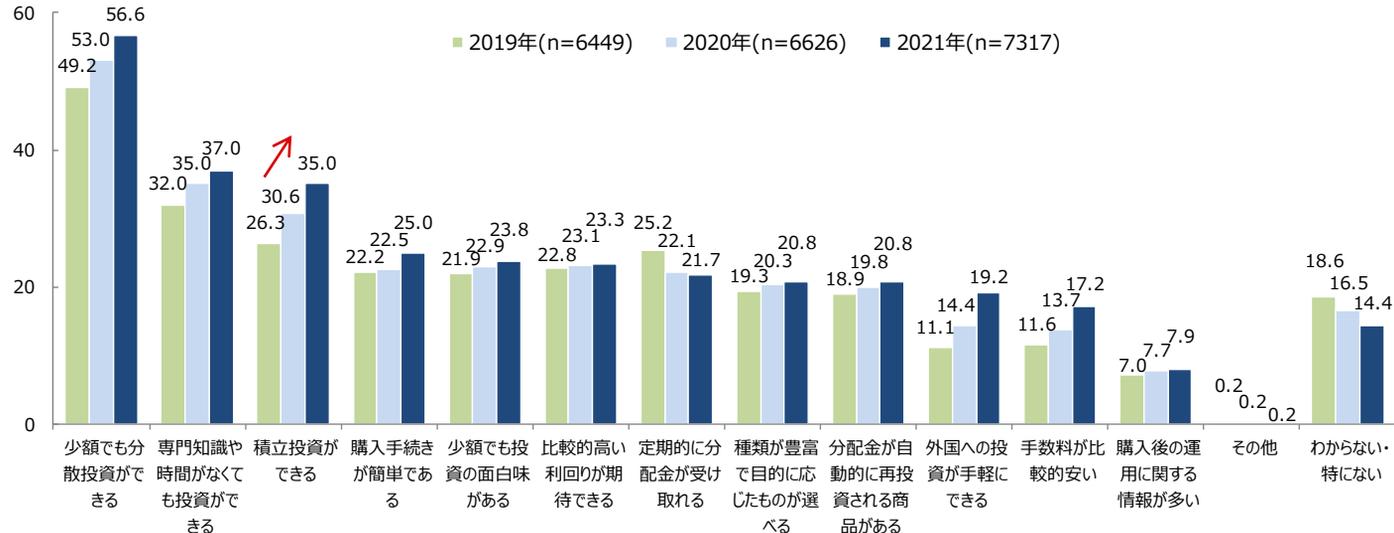
他の金融商品に比べて投資信託商品の「優れている点、不満点」

- 投資信託の優れている点は前回同様、「少額でも分散投資できる」「専門知識や時間がなくても投資できる」が上位。一方、「仕組み・運用手法がわかりにくい」「手数料が比較的高い」「リターンが低い」「専門知識がないと商品を選びにくい」ことへの不満が高い。
- 前回からの変動をみると、優れている点は「積立投資ができる」が増加。

- ・ 優れている点では、若年層ほど「少額でも分散投資できる」「積立投資ができる」「少額でも投資の面白味がある」「手数料が比較的低い」が高く、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる。〔P61〕

<他の金融商品と比べ、投信の優れている点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.61) ※2021年で降順ソート

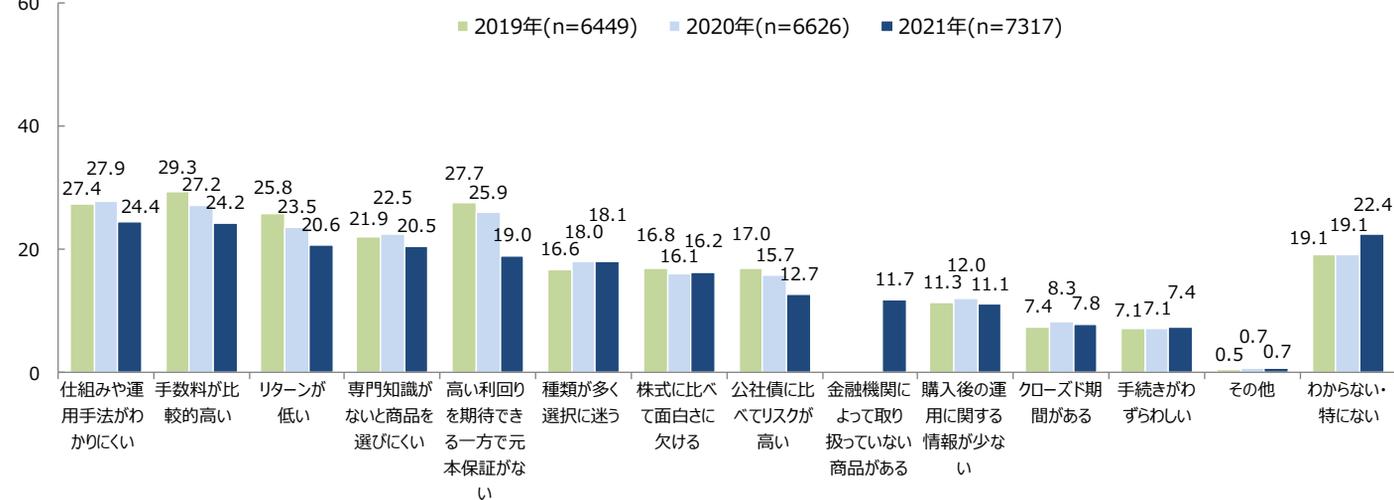
※選択肢「外国への投資が手軽にできる」、2019年は「海外投資が手軽にできる」で聴取



<他の金融商品と比べ、投信の不満点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.65) ※2021年で降順ソート

※選択肢「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」は、2020年まで「元本保証がない」で聴取

※「金融機関によって取り扱っていない商品がある」は、2021年より聴取



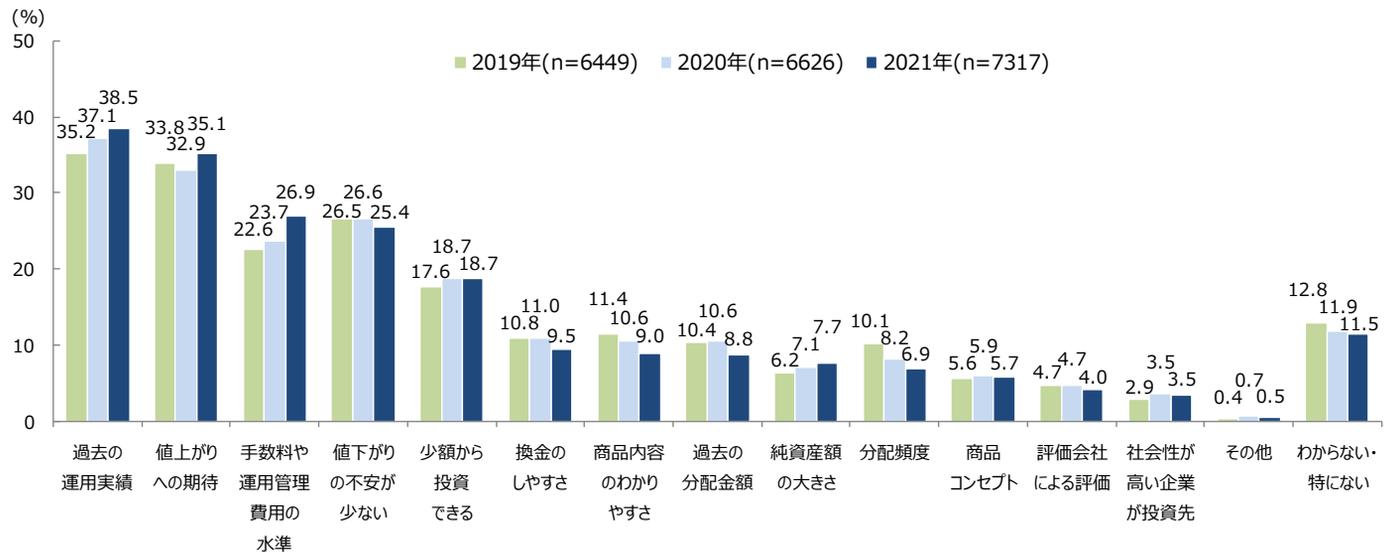
2. 調査結果の要約

投資信託の購入時重視点、今後購入時重視点

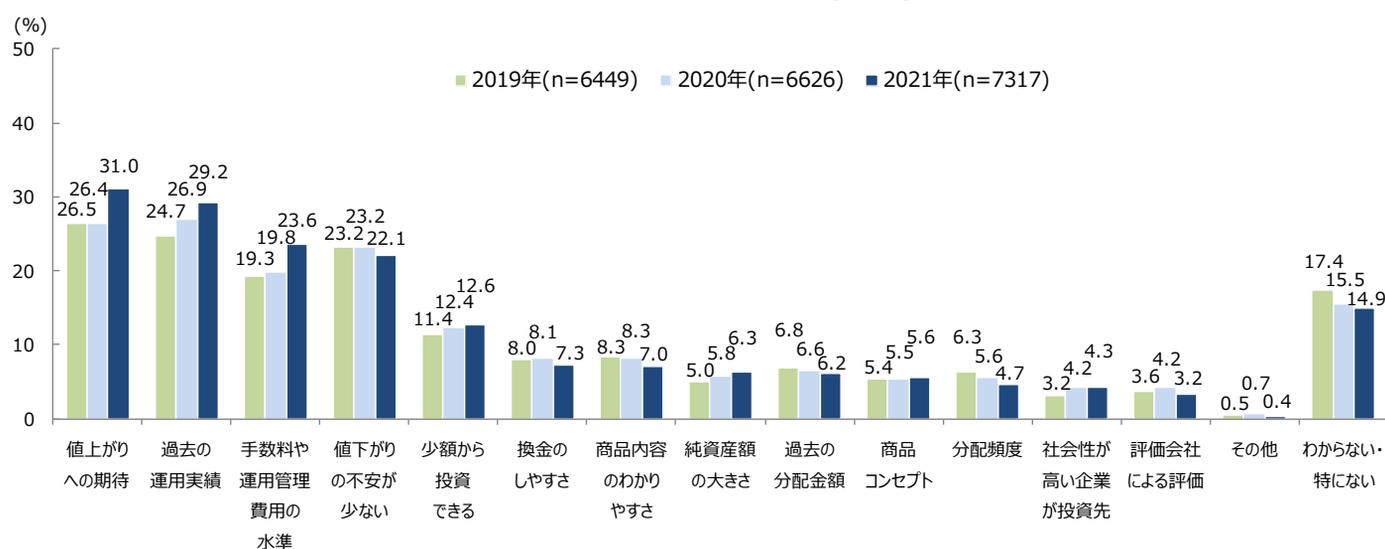
■ 投資信託の購入時重視点は、「過去の運用実績」「値上がりへの期待」「手数料や運用管理費用の水準」が上位。今後購入時も「値上がりへの期待」「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」が上位。

・ 「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」「少額から投資できる」は若年層ほど重視する様子。〔P53,55〕

<購入時重視点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.53) ※2021年で降順にソート



<今後購入時重視点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.55) ※2021年で降順にソート

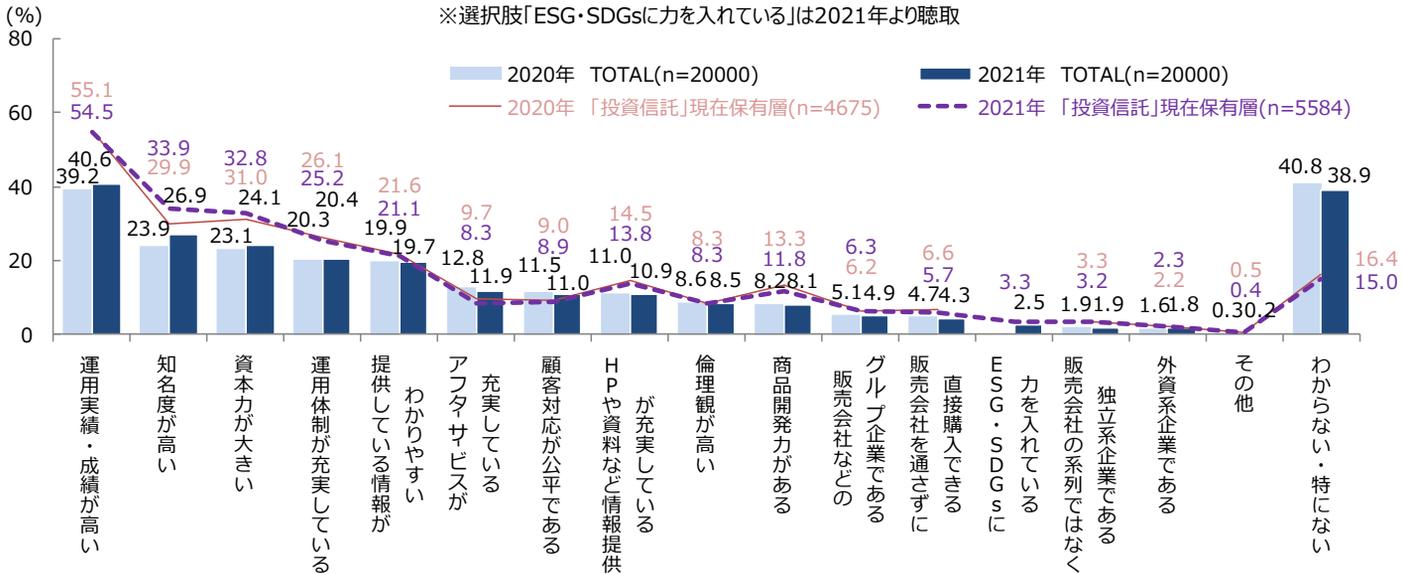


2. 調査結果の要約

投資信託運用会社重視点

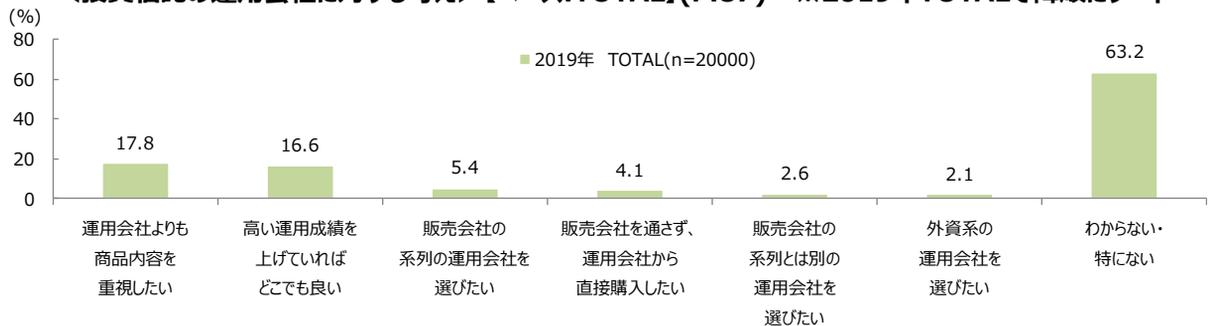
- 投資信託の運用会社選択は、「運用実績・成績が高い」「知名度が高い」「資本力が大きい」が上位。顧客志向に関する項目では「顧客対応が公平である」は11.0%、「倫理観が高い」は8.5%となった。

＜投資信託の運用会社重視点＞【ベース:TOTAL/現在保有層】(P.87,88) ※2021年TOTALで降順にソート
※選択肢「ESG・SDGsに力を入れている」は2021年より聴取

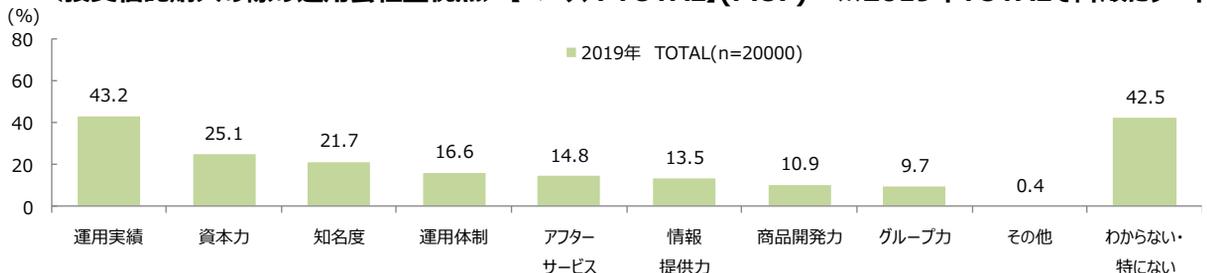


参考：前々回までの質問

＜投資信託の運用会社に対する考え＞【ベース:TOTAL】(P.87) ※2019年TOTALで降順にソート



＜投資信託購入の際の運用会社重視点＞【ベース:TOTAL】(P.87) ※2019年TOTALで降順にソート



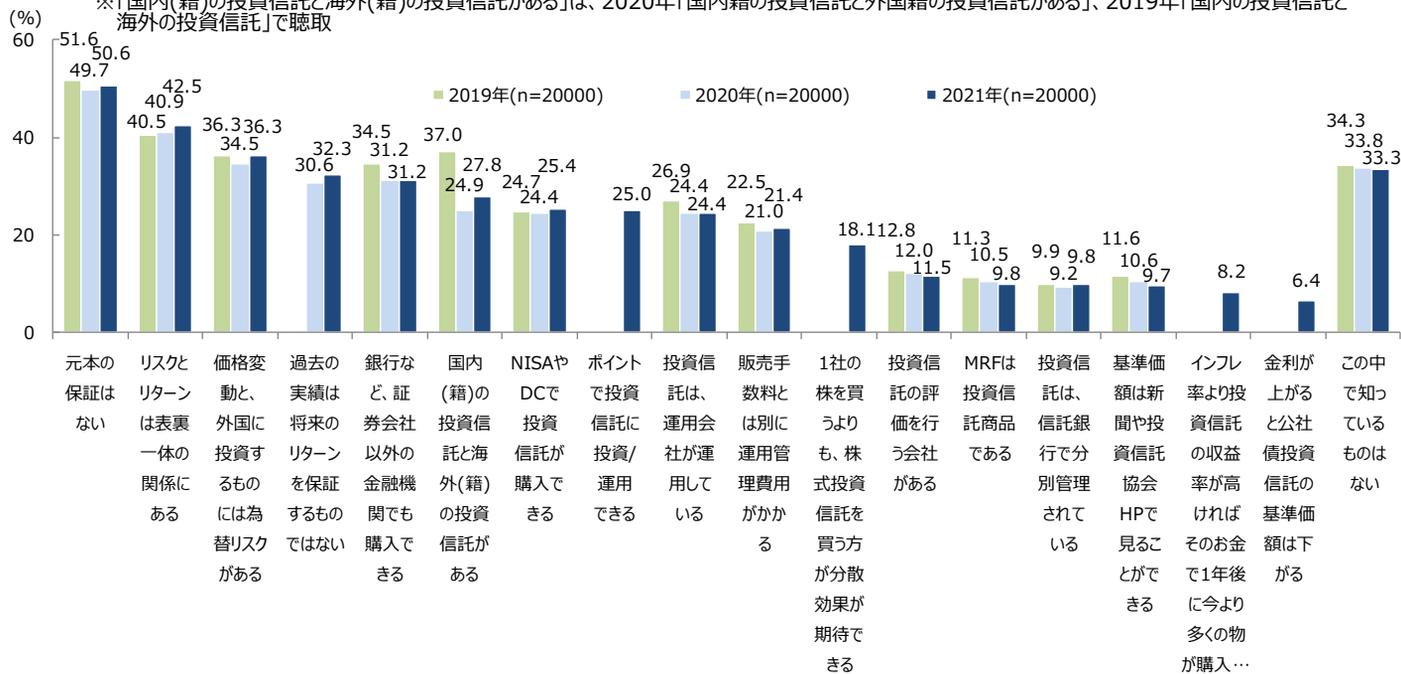
2. 調査結果の要約

投資信託の商品および手数料特徴の認知状況

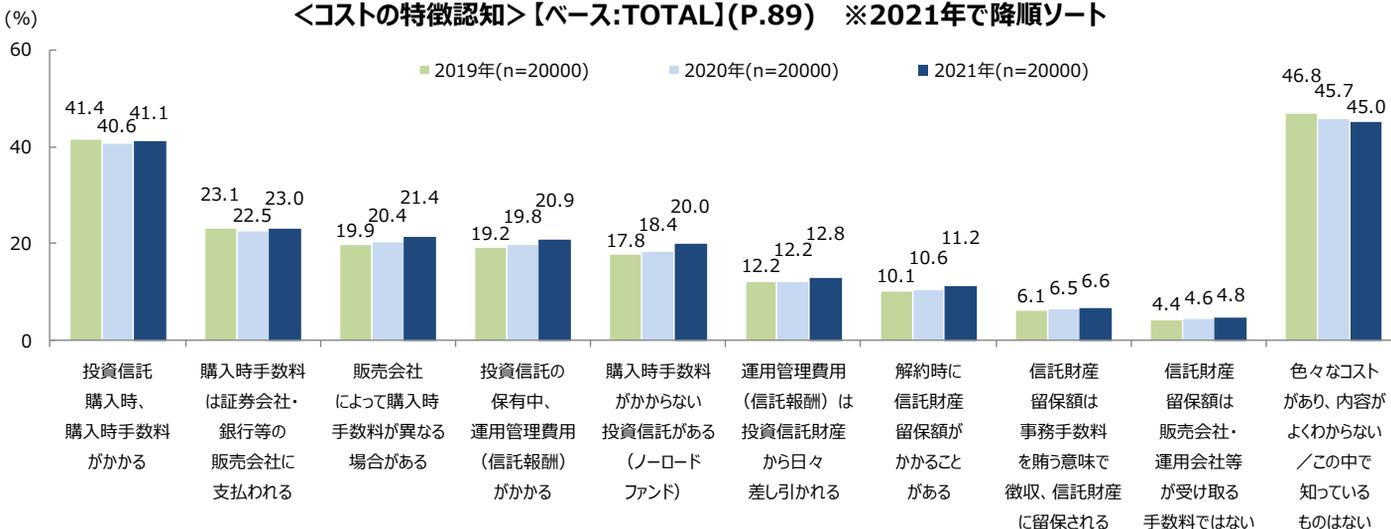
- 投信商品の特征認知は、「元本の保証はない」「リスクとリターンは表裏一体の関係」が上位で、前回と同じ順位になっている。
- 投信のコスト認知では、「購入時手数料がかかる」が最も高く、「購入時手数料は販売会社に支払われる」「販売会社により購入時手数料が異なる場合がある」「保有中、運用管理費用がかかる」「購入時手数料がかからない投信がある」が上位で前回と同じ順位になっている。

＜投資信託の特徴認知＞【ベース:TOTAL】(P.77) ※2021年で降順ソート

※選択肢「ポイントで投資信託に投資/運用できる」「インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる」「1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる」「金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる」は、2021年より聴取
 ※「過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない」は2020年より聴取
 ※「国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある」は、2020年「国内籍の投資信託と外国籍の投資信託がある」、2019年「国内の投資信託と海外の投資信託」で聴取



＜コストの特徴認知＞【ベース:TOTAL】(P.89) ※2021年で降順ソート



2. 調査結果の要約

投資信託の興味・関心・購入のきっかけ／投資信託購入時参考情報

- 投信の興味・関心・購入のきっかけは「金融機関の人に勧められて」が最も高く、「インターネットで見たり調べたりして」「少額投資非課税制度があるから」が続く。前回に比べて「金融機関の人に勧められて」は減少し、「少額投資非課税制度があるから」は増加。
- 投信の購入時参考情報は「目論見書・運用報告書」「投資信託を販売している会社のHP」「販売用資料」が上位。

- ・ 興味・関心・購入のきっかけは、年代別で見ると、「金融機関の人に勧められて」は年代が上がるほど高くなる傾向。「インターネットで見たり調べたりして」「少額投資非課税制度があるから」「投資信託に関する本を読んで」「ポイントで投資/運用ができることを知って」は年代が下がるほど高くなる傾向。「YouTube等の動画配信を観て」「SNSからの情報を通じて」は20・30代で高い傾向。〔P47〕

<投資信託の興味・関心・購入のきっかけ>

【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.47)

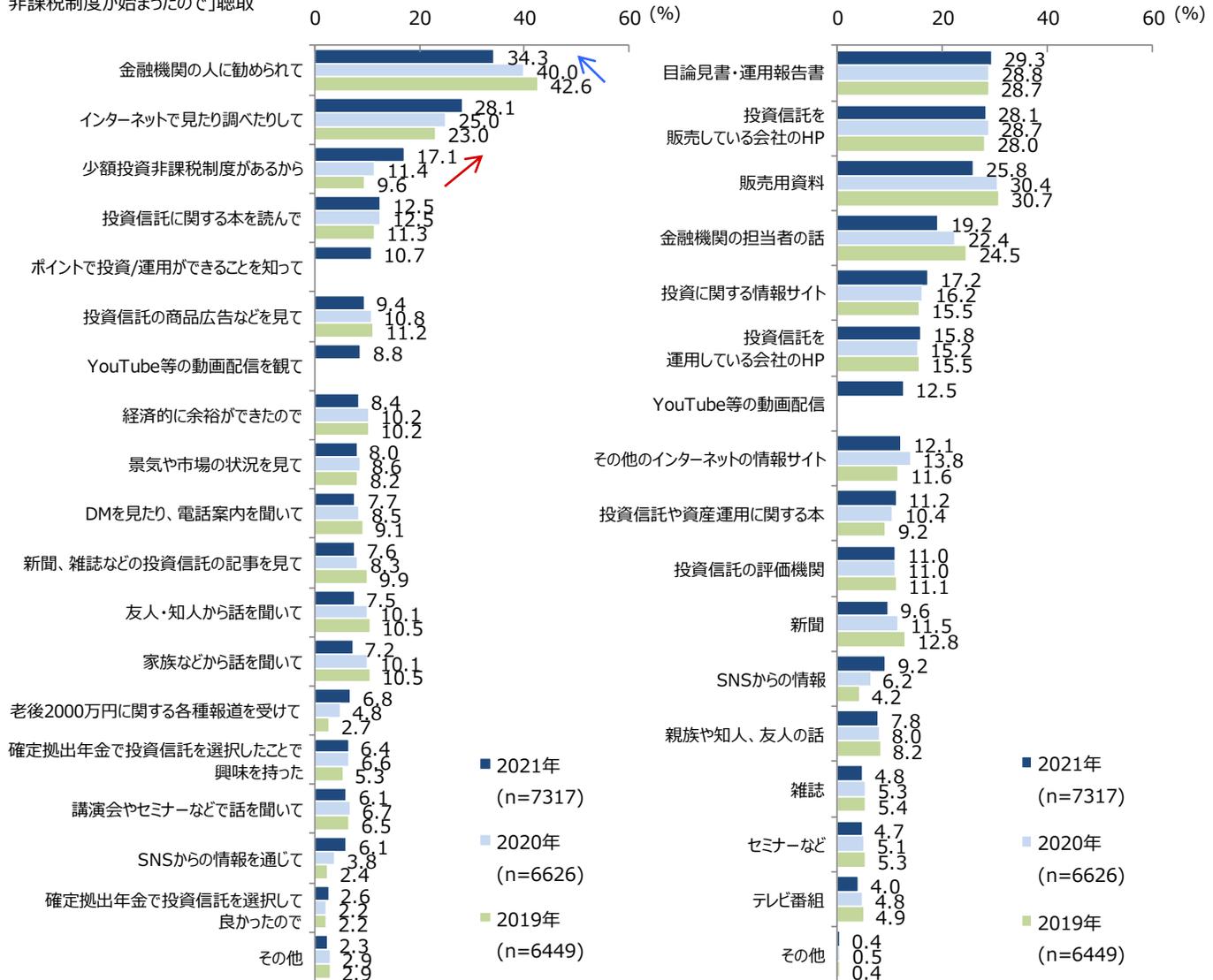
※ 2021年で降順にソート

<投資信託購入時参考情報>

【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.51)

※ 2021年で降順にソート

- ※選択肢「YouTube等の動画配信を観て」「ポイントで投資/運用ができることを知って」は2021年より聴取
- ※「家族などから、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて」「友人・知人から、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて」は2020年までの「家族や友人などから話を聞いて」を分割して聴取
- ※「少額投資非課税制度（NISA、ジュニアNISA、つみたてNISA）があるから」は2020年まで「少額投資非課税制度が始まったので」聴取



2. 調査結果の要約

投資信託保有未経験層の非購入理由／投資信託購入検討のきっかけ

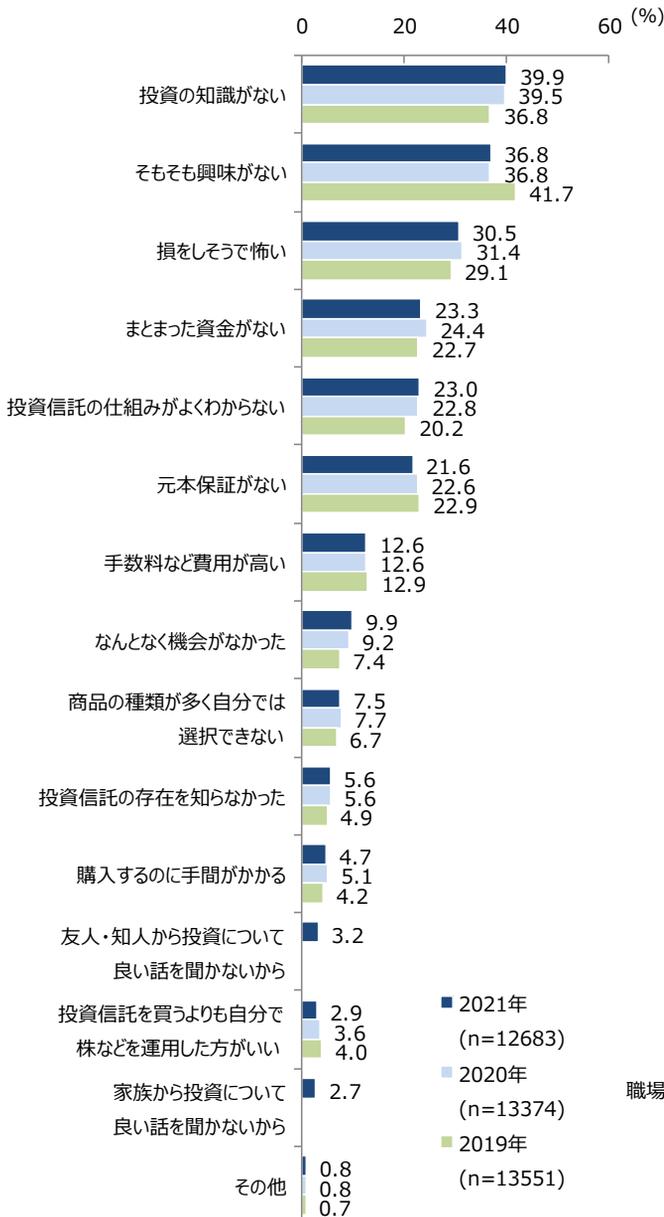
■ 投信の非購入理由は、「投資の知識がない」「興味がない」「損をしそうで怖い」が上位。また、投信の購入のきっかけは「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「手取り収入が増えたら」が上位。

- 購入検討のきっかけは、若年層「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」「金融や投資方法を勉強して理解したら」「手取り収入が増えたら」「貯蓄が一定額に達したら」「家族に勧められたら」「知人・友人に勧められたら」が高くなる傾向。〔P74〕

<投資信託の非購入理由>【ベース:保有未経験層】

(P.72) ※ 2021年で降順にソート

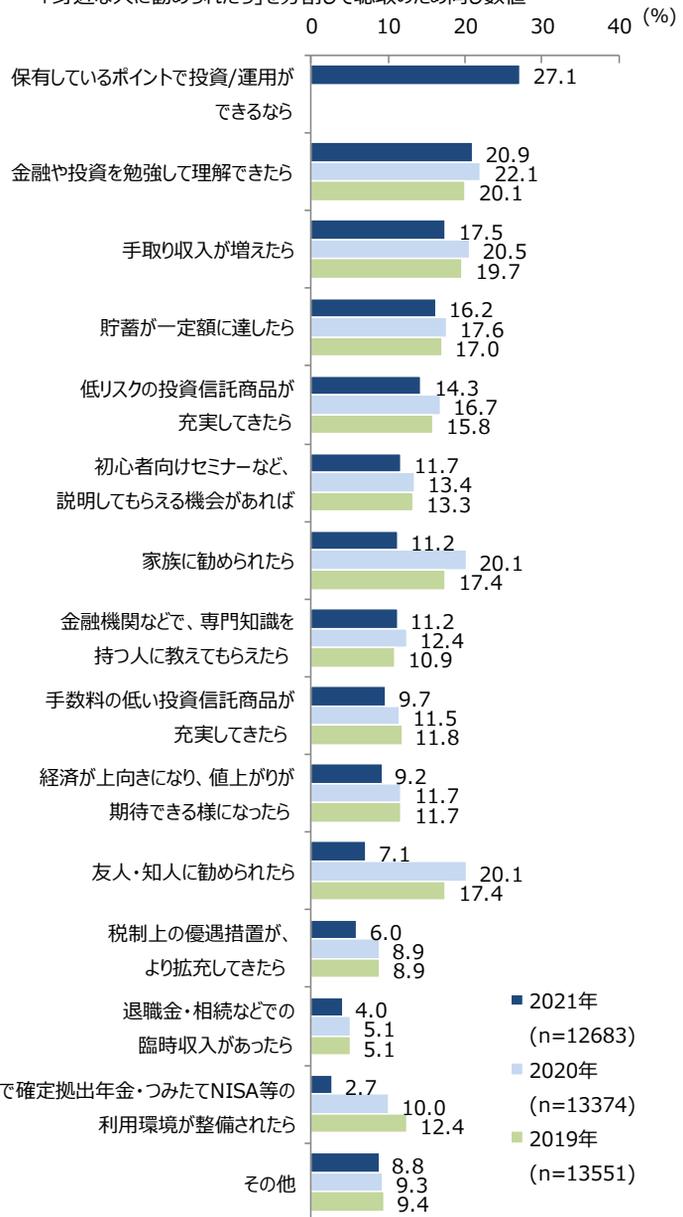
※選択肢「家族から投資について良い話を聞かないから」「友人・知人から投資について良い話を聞かないから」は2021年より聴取



<投資信託の購入検討のきっかけ>【ベース:保有未経験層】

(P.74) ※ 2021年で降順にソート

※選択肢「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」は2021年より聴取 ※「家族に勧められたら」「友人・知人に勧められたら」は、2020年までの「身近な人に勧められたら」を分割して聴取のため同じ数値



2. 調査結果の要約

投資信託の保有口座

- 投資信託の保有口座は、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」が最も高く(62.4%)、「つみたてNISA」「NISA」が30%台で続く。「ポイント投資/運用口座」と「iDeCo(個人型確定拠出年金)」は10%台となっている。前回より「つみたてNISA」が10.8ポイント増加し、「NISA」は5.3ポイント減少。

- ・ 「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」「NISA」は高齢層ほど保有率が増加傾向にあり、「つみたてNISA」は若年層ほど保有率が高い。「つみたてNISA」は、前回に比べて20～50代では8.4～14.9ポイント増加。「ポイント投資/運用口座」は20～40代が20%台となっている。〔P33〕

<投資信託の保有口座>【ベース：現在保有層】(P.33)

※選択肢「企業型DC(企業型確定拠出年金)」「iDeCo(個人型確定拠出年金)」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

	n=	特定口座 もしくは 一般口座など 通常の 課税口座	つみたてNISA	NISA	ポイント投資/ 運用の口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
2021年	(5584)	62.4	35.2	35.1	17.5	16.6	9.8	0.8	1.7	
2020年	(4675)	65.1	24.4	40.4	-	13.5	9.6	1.0	3.4	
2019年	(4452)	69.7	17.4	43.2	-	11.8	7.1	0.7	2.4	

※選択肢「ポイント投資/運用の口座」は2021年より聴取

	n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	つみたてNISA	NISA	ポイント投資/ 運用の口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
20代	2021年	(638)	47.0	61.3	22.4	22.3	16.0	14.4	0.5	1.6
	2020年	(521)	48.2	48.0	32.8	-	18.6	15.5	1.7	4.4
	2019年	(390)	51.3	39.2	33.6	-	18.2	14.1	0.5	4.6
30代	2021年	(1012)	56.1	54.5	27.4	28.3	24.7	15.7	0.7	1.2
	2020年	(738)	55.0	39.8	34.0	-	21.5	16.1	1.1	3.4
	2019年	(646)	59.1	32.7	36.1	-	20.6	9.3	0.6	2.3
40代	2021年	(1174)	60.4	44.8	28.6	23.3	25.6	13.1	0.4	1.2
	2020年	(946)	61.0	29.9	36.0	-	22.4	13.0	0.7	2.7
	2019年	(855)	66.9	20.2	40.0	-	20.5	9.8	0.6	2.1
50代	2021年	(916)	62.2	27.2	35.5	16.5	22.1	9.5	1.3	1.4
	2020年	(770)	66.2	18.8	38.2	-	16.8	11.3	1.6	2.6
	2019年	(763)	72.1	14.8	41.5	-	15.6	11.9	1.0	2.9
60代	2021年	(938)	69.7	16.3	45.9	9.1	5.9	4.4	0.9	2.3
	2020年	(909)	74.3	11.7	50.3	-	3.0	3.9	0.7	3.4
	2019年	(976)	74.9	7.0	49.7	-	2.0	2.4	1.0	1.9
70代	2021年	(906)	75.4	10.6	49.6	4.1	2.0	1.3	1.0	2.6
	2020年	(791)	78.8	7.7	47.4	-	1.1	0.8	0.5	4.3
	2019年	(822)	81.3	6.8	50.6	-	0.7	0.6	0.4	1.9

2. 調査結果の要約

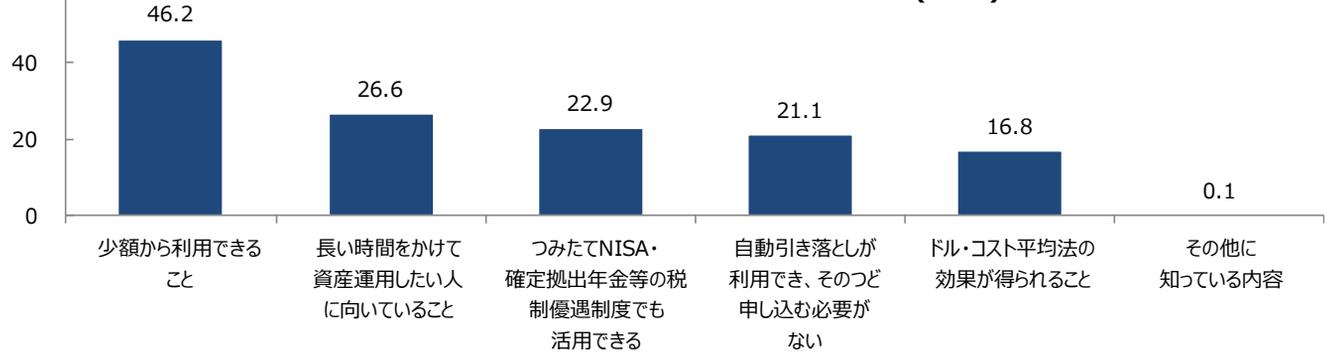
積立投資プランの特徴認知

- 積立投資プランは57.9%と半数超が存在を認知。認知内容は「少額から利用できる」が46.2%と最も高く、「長い時間をかけて資産運用したい人向き」「つみたてNISA・確定拠出年金等でも活用可能」「自動引き落としが利用可能」が20%以上で続く。

<積立投資プランの特徴認知>【ベース：TOTAL】(P.86)

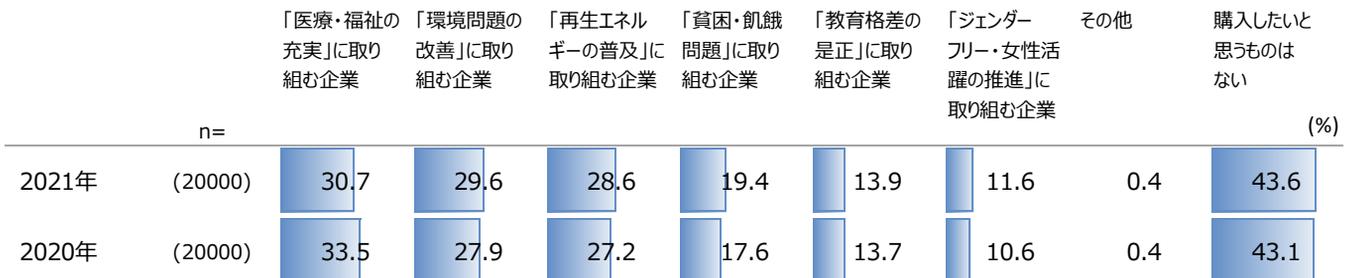


<積立投資プランの特徴認知詳細>【ベース：TOTAL】(P.86)



- 「持続可能な社会」の取り組みを行う企業に対する投資意識は、「医療・福祉の充実」に取り組む企業が最も高く、次いで「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」「貧困・飢餓問題」が続く。

<ESG・SDGs関連投資意向>【ベース：TOTAL】(P.92)



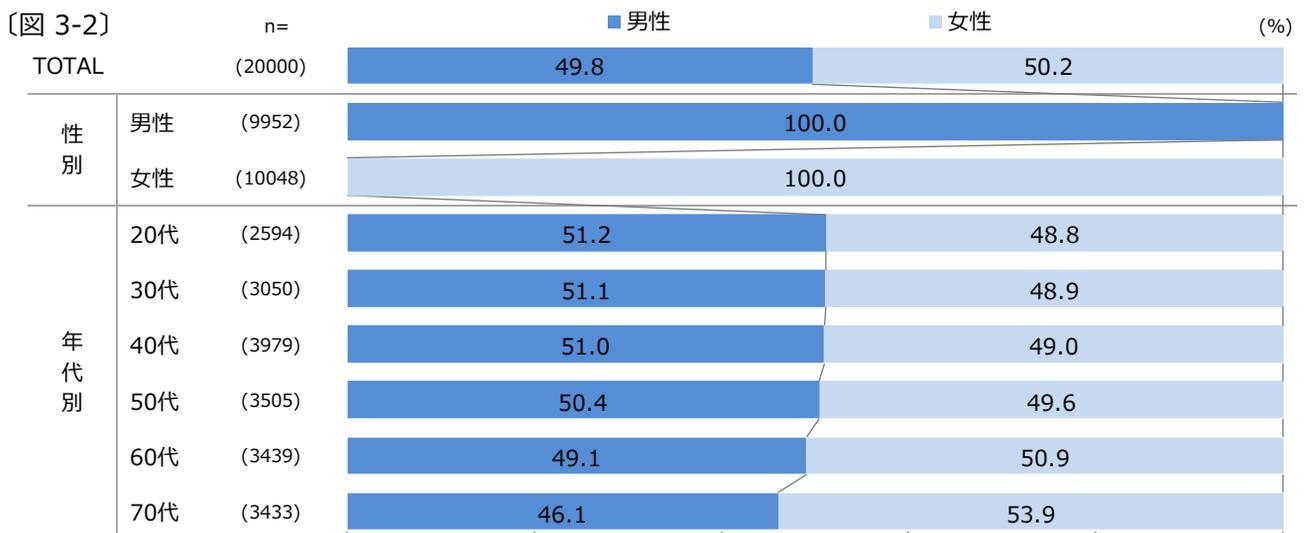
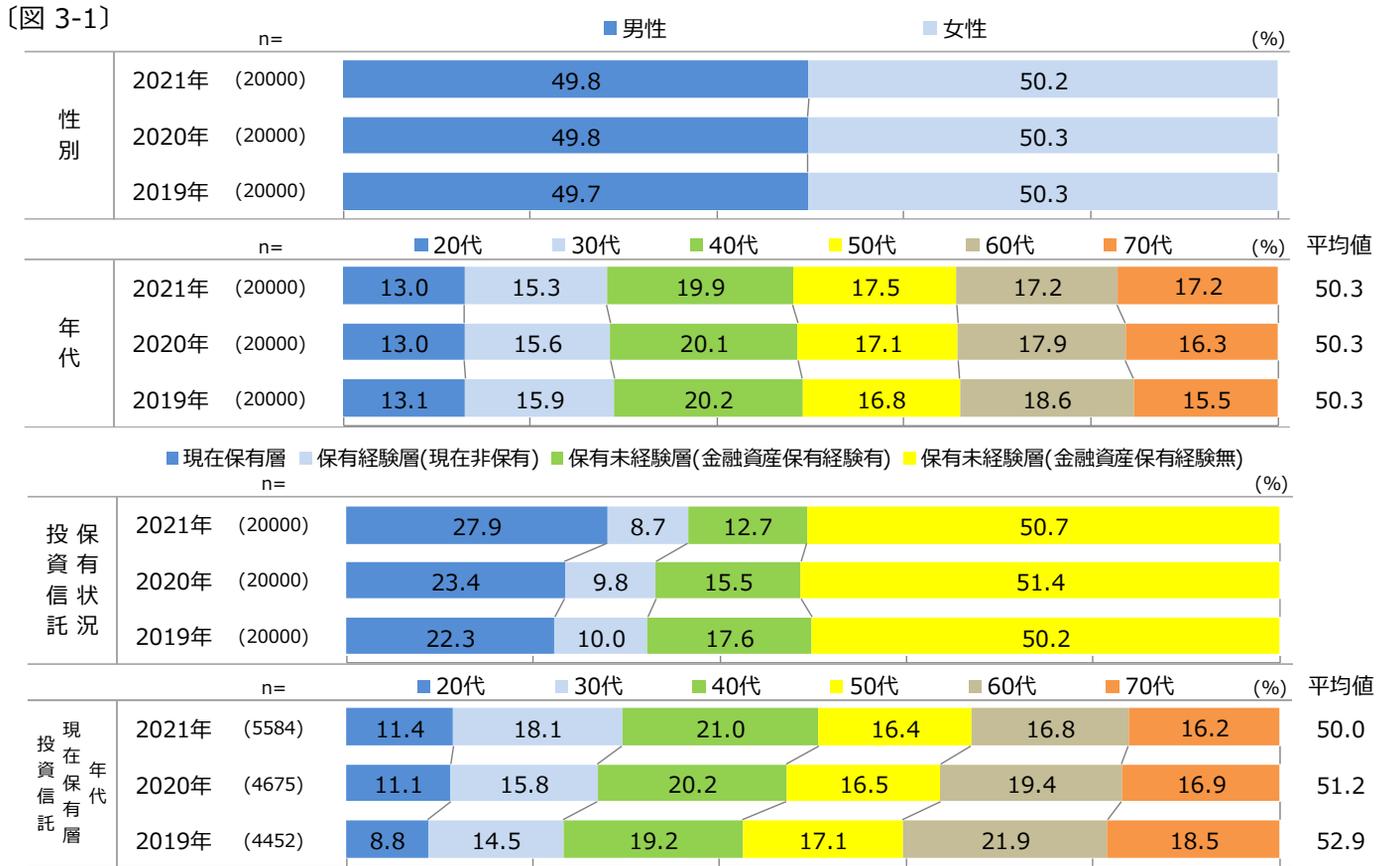
3. 回答者のプロフィール



3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q30:単数回答・Q31:自由記述回答〕

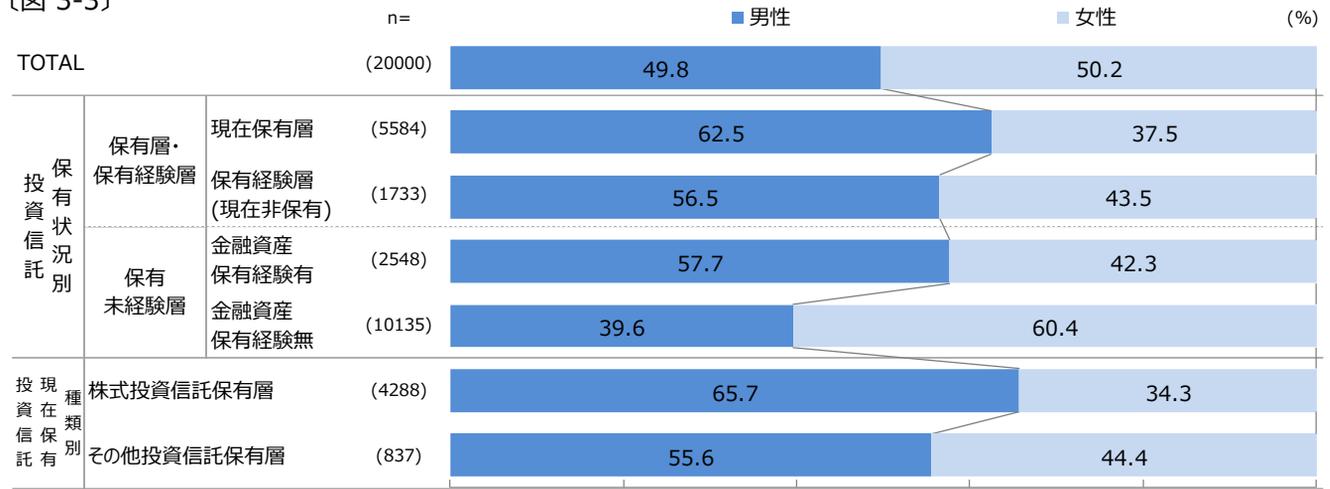
- 回答者の性別は「男性」が49.8%、「女性」が50.2%。年代では「40代」が19.9%で最も高く、平均年齢は50.3歳となる。
- また、投信現在保有層の年代構成をみると、「40代」が21.0%で最も高く、次いで「30代」が18.1%となる。前回に比べると20～40代の保有率が僅かずつ増えて、投信現在保有層の平均年齢は50.0歳に低下した。〔図3-1〕



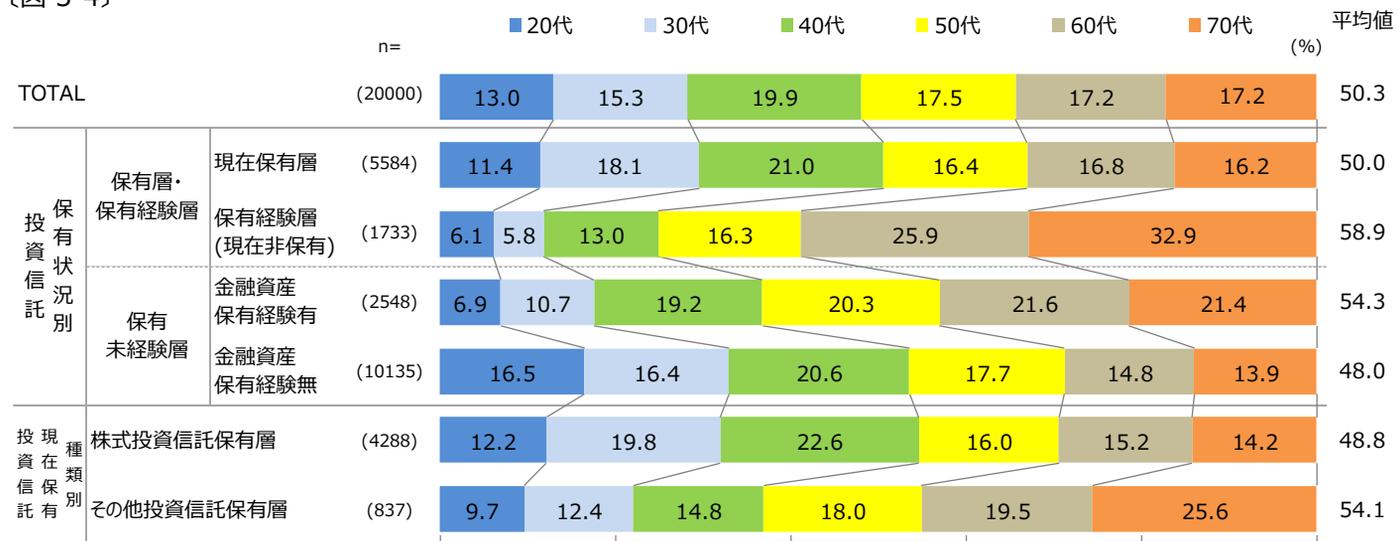
3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q30:単数回答・Q31:自由記述回答〕

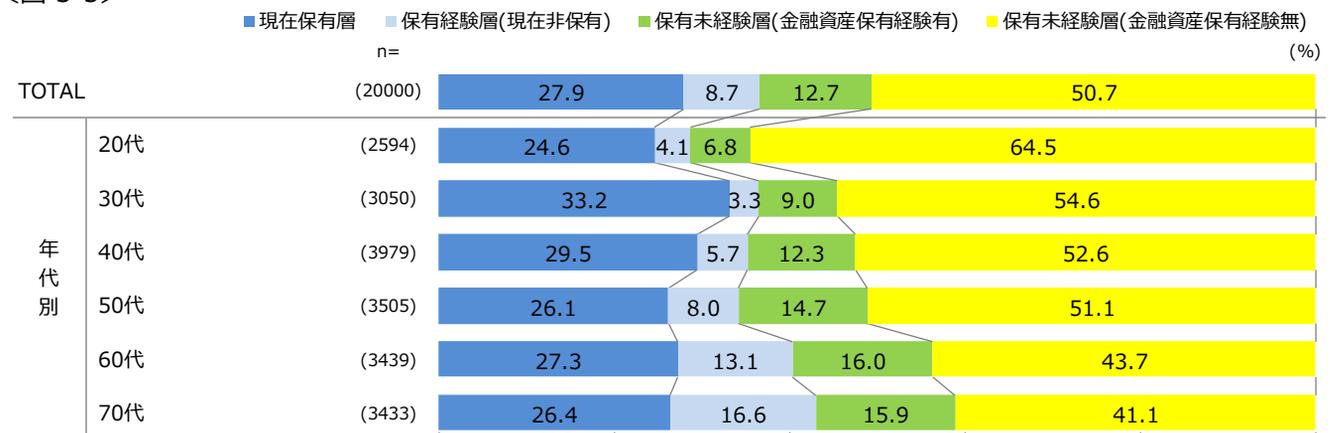
〔図 3-3〕



〔図 3-4〕



〔図 3-5〕

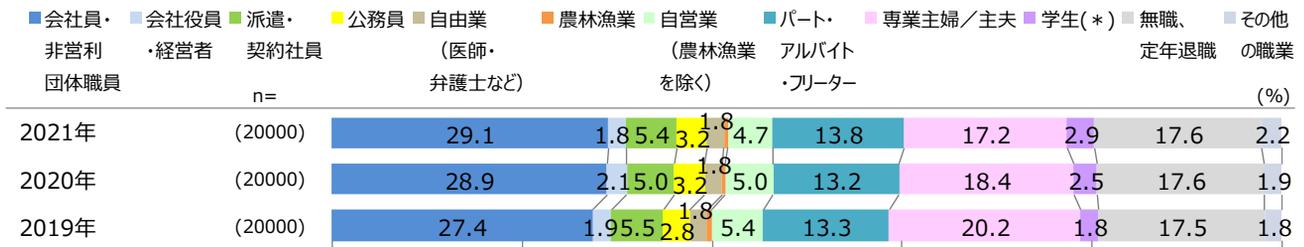


3. 回答者のプロフィール

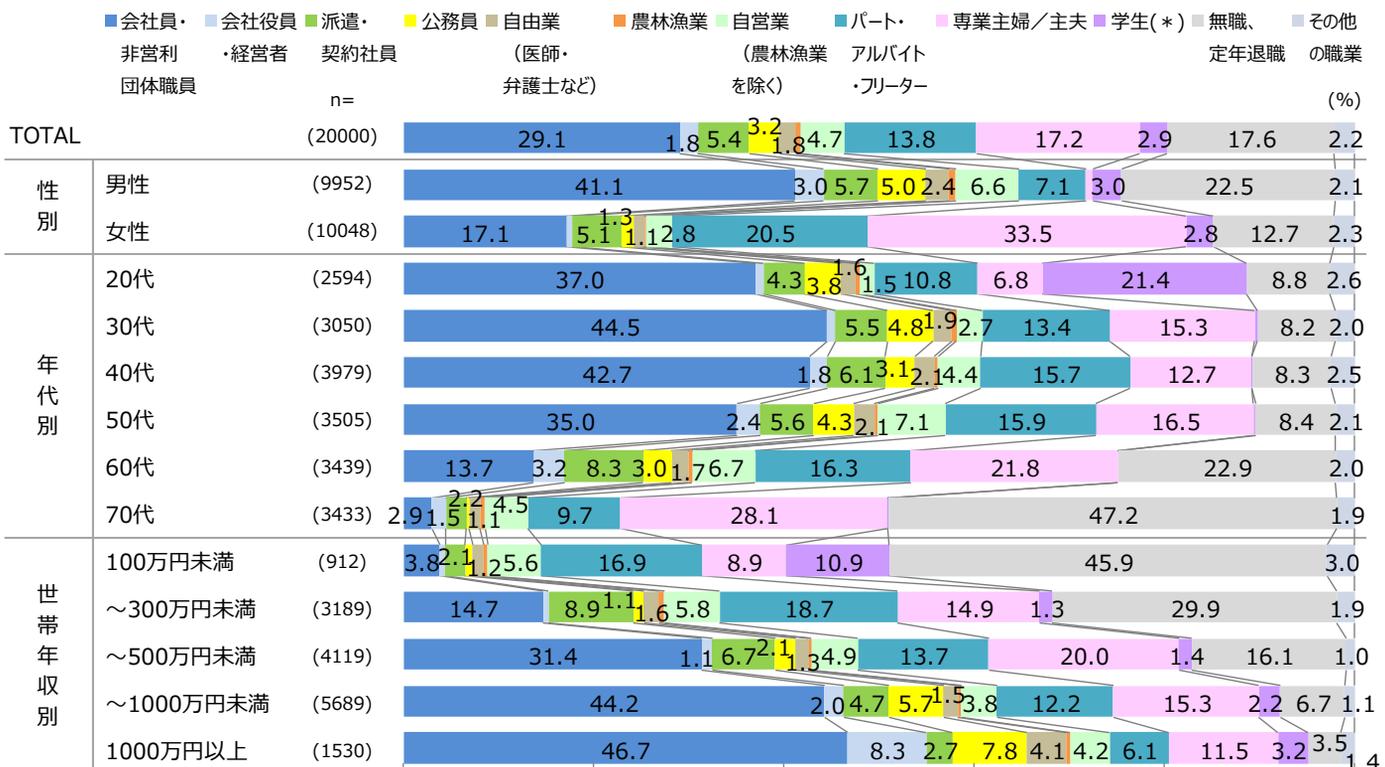
(2) 職業〔Q32:単数回答〕

- 回答者の職業は、前回と同様に「会社員・非営利団体職員」(29.1%)が最も高く、〔図3-6〕世帯年収が高くなるにつれて増加する。〔図3-7〕
また年収1,000万円以上の世帯では、「会社役員・経営者」(8.3%)がやや高い。〔図3-7〕
- 投信保有状況別でみると、投信保有経験層では、「無職・定年退職」が、投信現在保有層や投信保有未経験層に比べてやや多い。また、投信現在保有種類別では、株式投信保有層はその他投信保有層に比べて「会社員・非営利団体職員」が多く、「専業主婦／主夫」「無職・定年退職」がやや少ない。〔図3-8〕

〔図 3-6〕



〔図 3-7〕



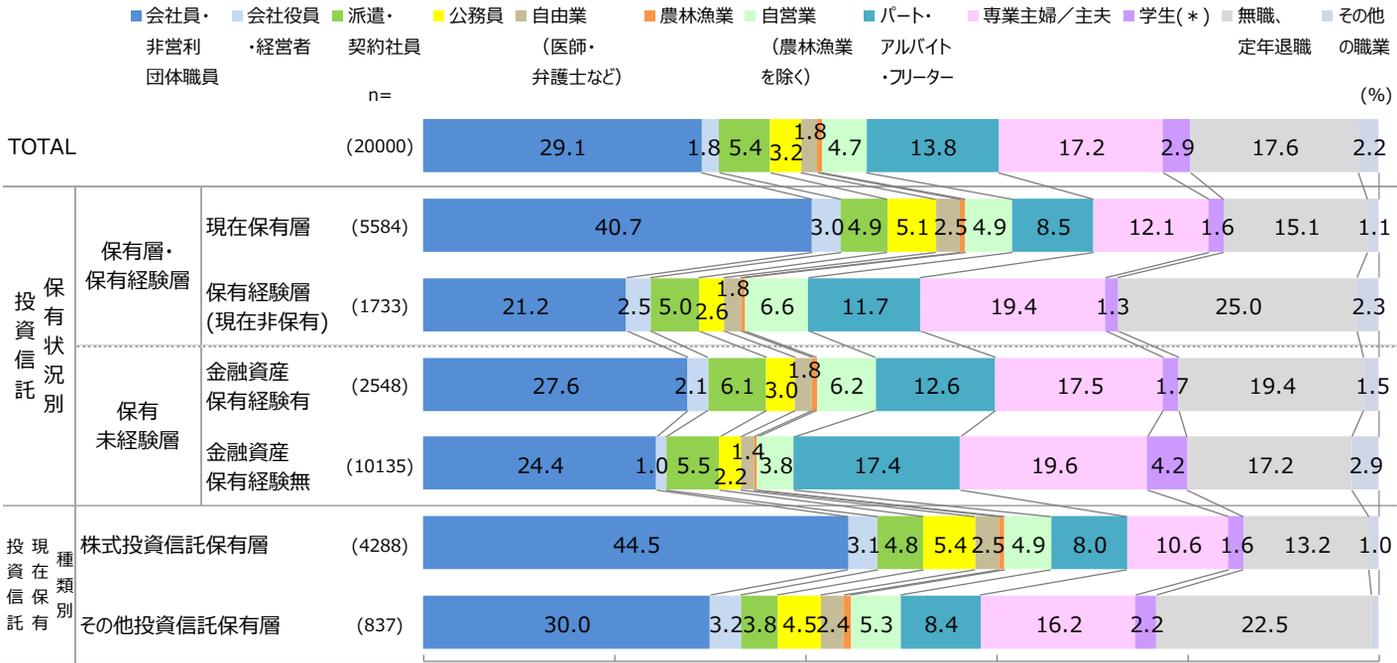
※1%未満は非表示

* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

3. 回答者のプロフィール

(2) 職業〔Q32:単数回答〕

〔図 3-8〕



※1%未満は非表示

* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

3. 回答者のプロフィール

(3) 金融資産の保有経験〔Q1:単数回答〕

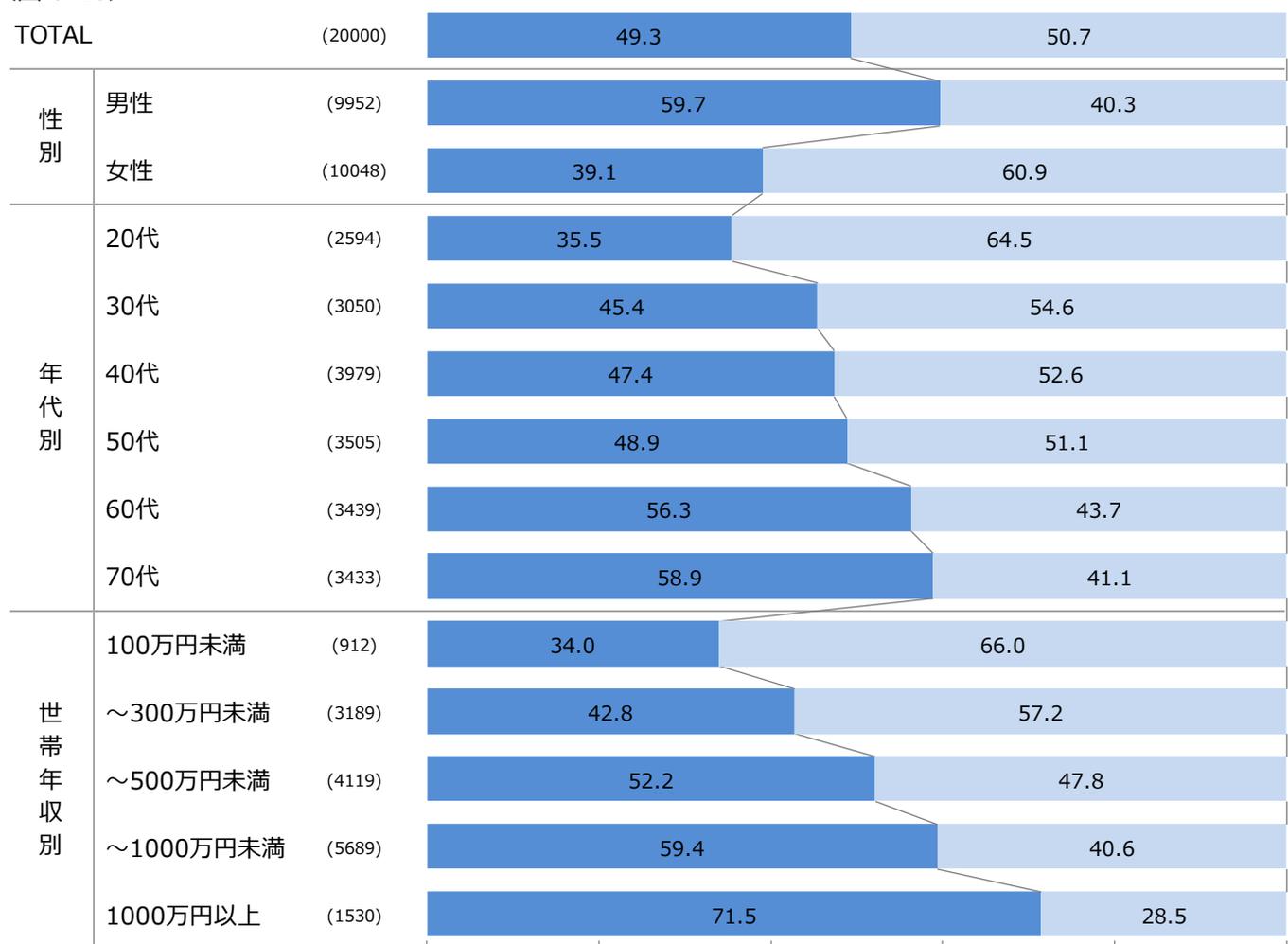
- 金融資産（※）の保有経験率は49.3%と約半数で、前回と同程度。〔図3-9〕
- 性別では男性(59.7%)の方が高く、また年代や世帯年収が高くなるにつれて保有経験率も高くなる。〔図3-10〕

※ 金融資産・・・外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、FX、ETF、REITなど。現金や円での預貯金、土地や不動産、保険は除く。

〔図 3-9〕



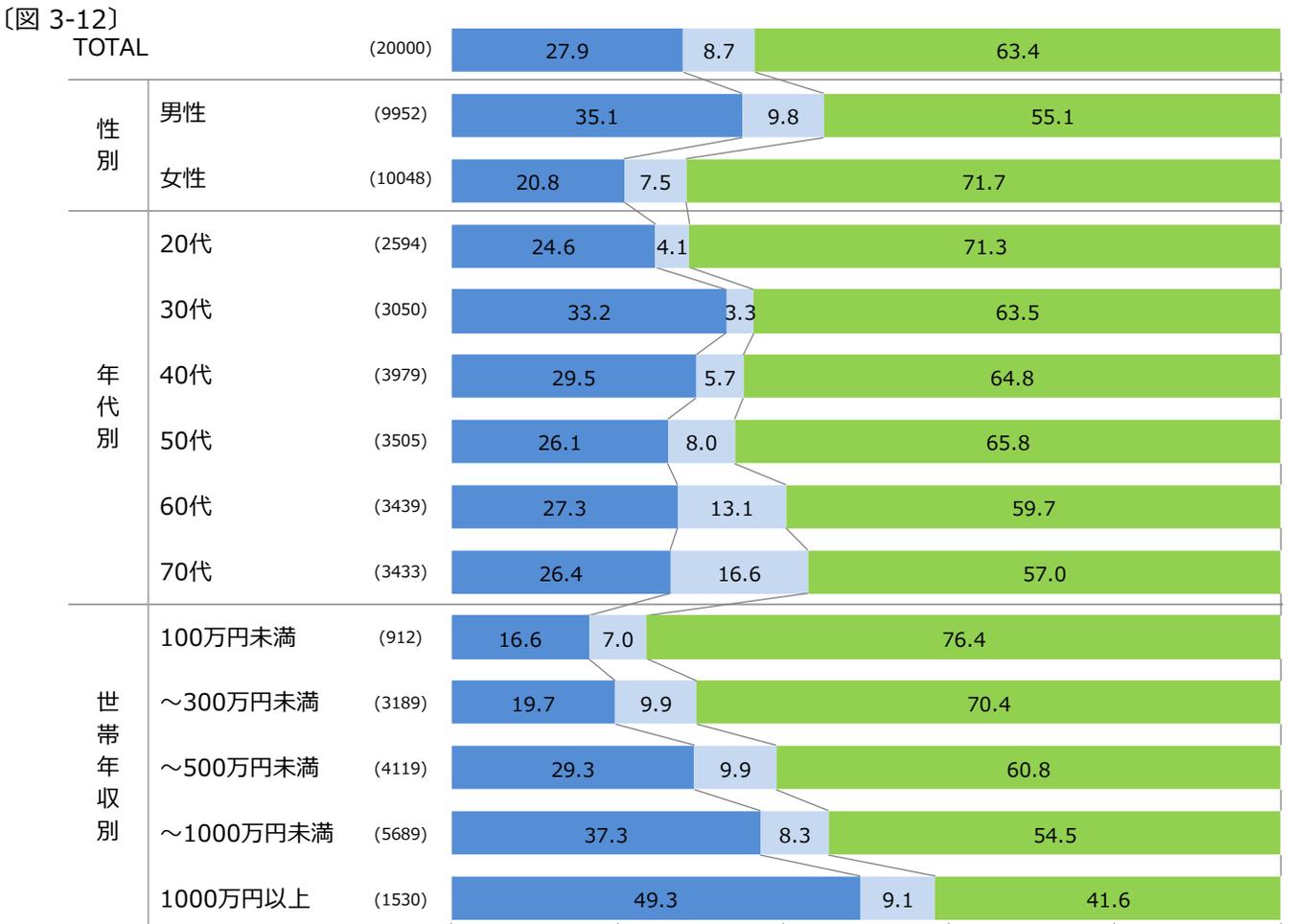
〔図 3-10〕



3. 回答者のプロフィール

(4) 投資信託の保有状況〔Q2:単数回答〕

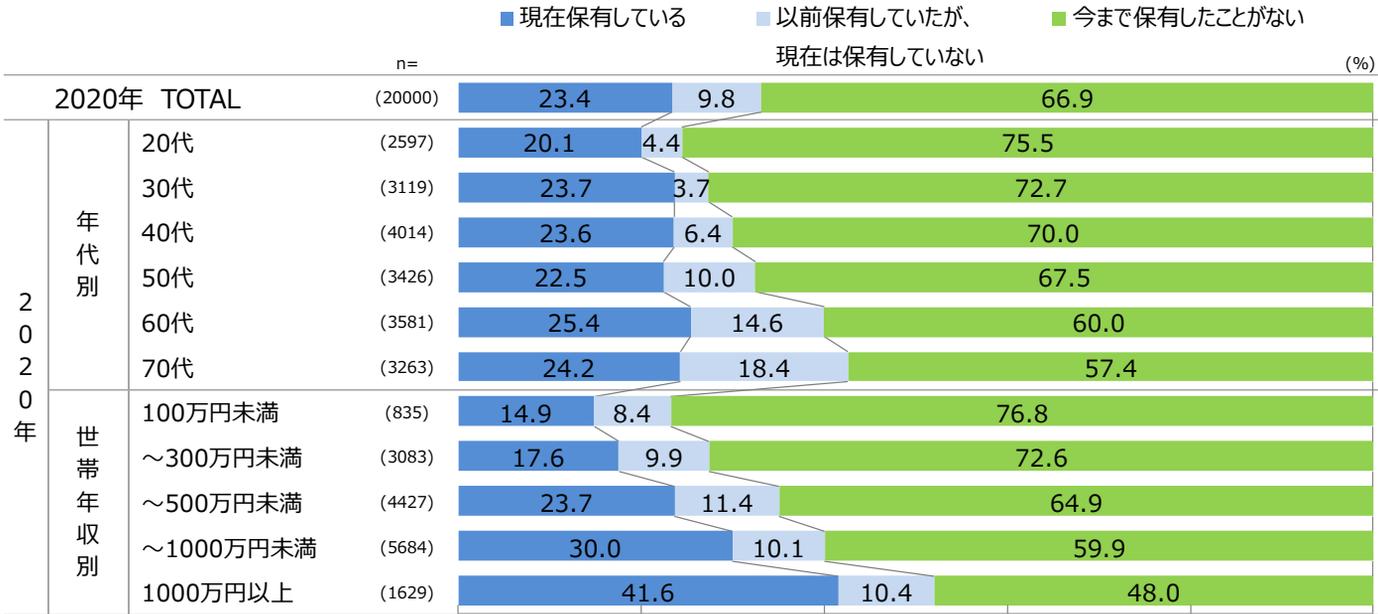
- 投資信託の保有状況は、「現在保有している」という“投信現在保有層”が27.9%、「以前保有していたが、現在は保有していない」との“投信保有経験層”が8.7%、「今まで保有したことがない」という“投信保有未経験層”63.4%で、“投信現在保有層”が前回より増加。〔図3-11〕
- 世帯年収が高いほど、“投信現在保有層”が増加する。〔図3-12〕
前回と比べて、全年代で“投信現在保有層”が増加。特に30代は、9.5ポイント増加している。〔図3-12・図3-13〕
“投信現在保有層”の年代構成比は、40代(21.0%)が最も高く、ついで30代(18.1%)が続く。20～40代の比率が前回より増加。特に30代は2.3ポイント増加。〔図3-15〕



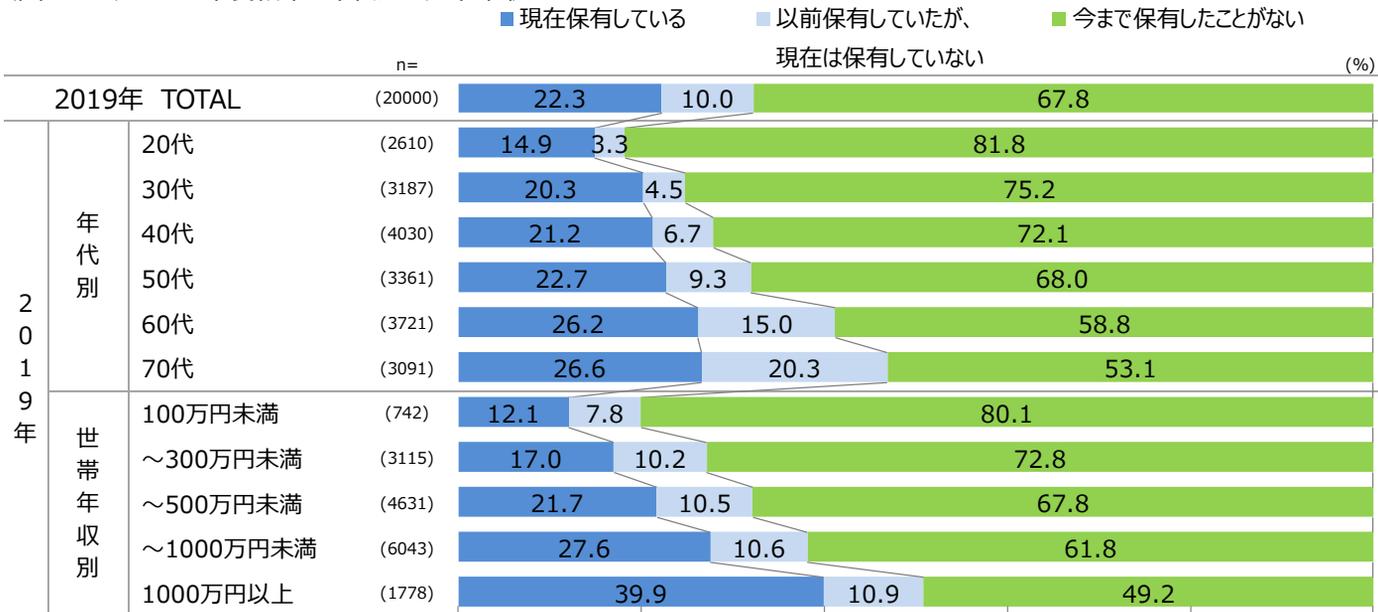
3. 回答者のプロフィール

(4) 投資信託の保有状況〔Q2:単数回答〕

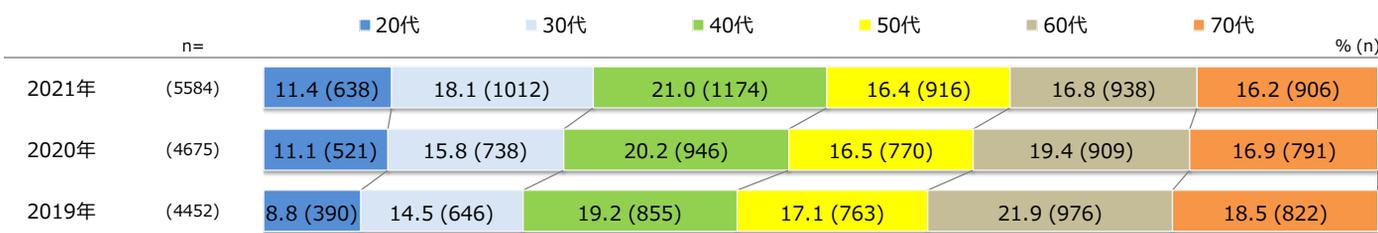
〔図 3-13〕 2020年度結果 年代別、世帯年収別



〔図 3-14〕 2019年度結果 年代別、世帯年収別



〔図 3-15〕 投信現在保有層の年代構成比（投資信託現在保有者）



3. 回答者のプロフィール

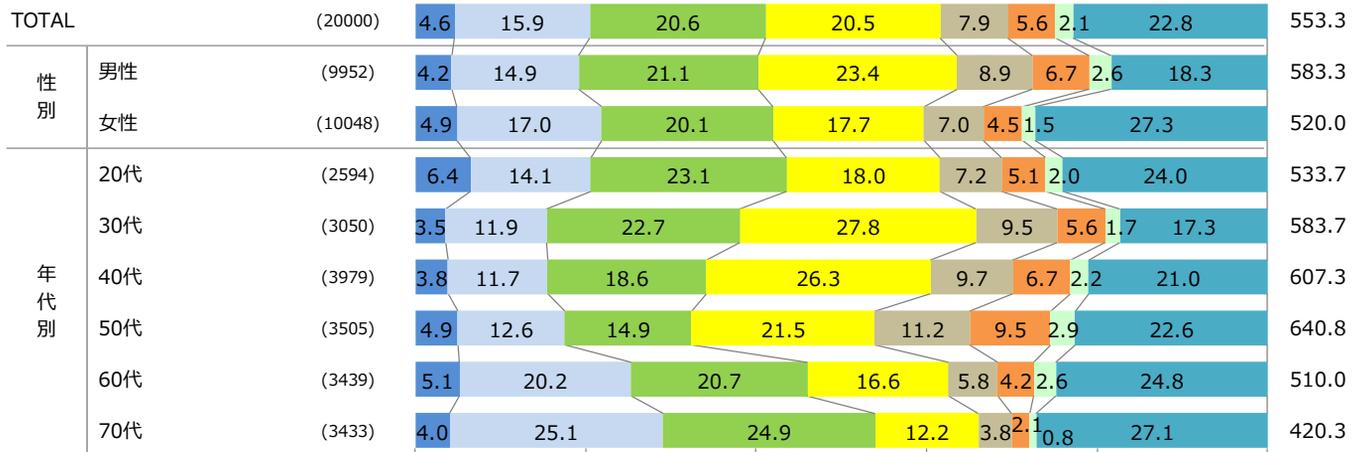
(5) 世帯年収〔Q33①：単数回答〕

- 世帯年収は「300～500万円未満」(20.6%)、「500～800万円未満」(20.5%)が高く、『800万円未満』合計で61.6%を占める。また、平均値は「553.3万円」と前回より9.3万円低い。〔図3-16〕
- 投信保有状況別や投信現在保有種類別で世帯年収の平均をみると、投信現在保有層、特に株式投信保有層で高い。〔図3-18〕

〔図 3-16〕



〔図 3-17〕



〔図 3-18〕



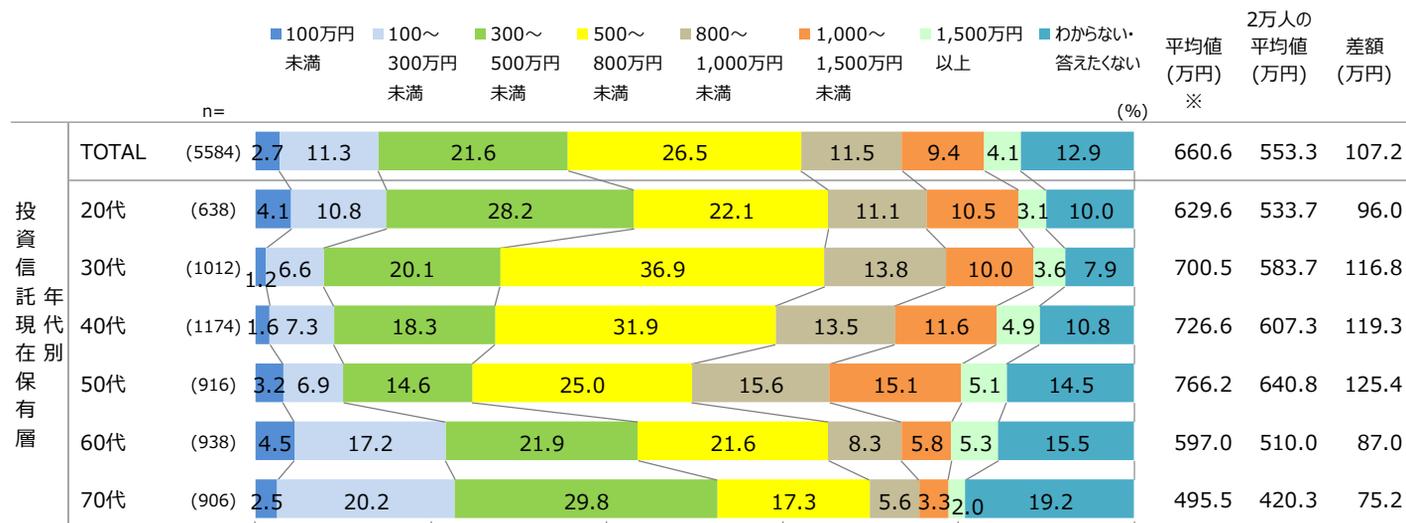
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

(5) 世帯年収〔Q33①：単数回答〕

〔図 3-19〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

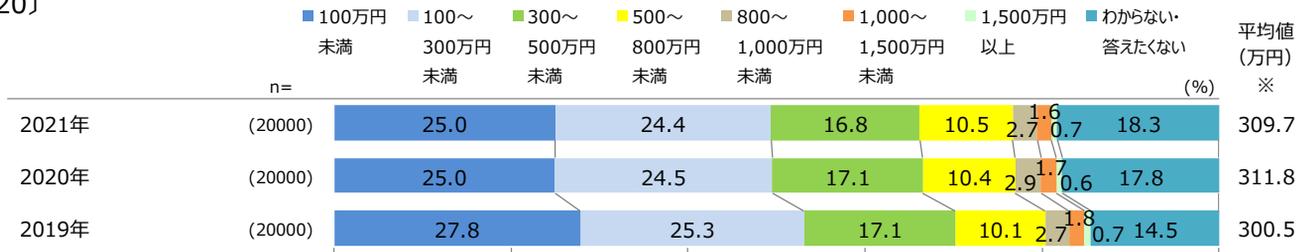
100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

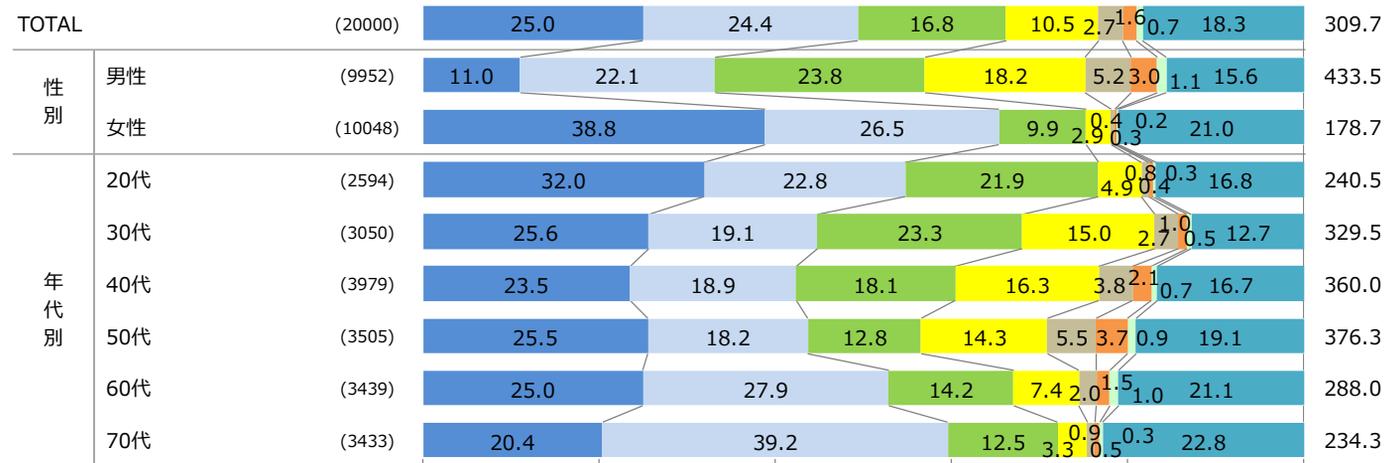
(6) 個人年収〔Q33②：単数回答〕

- 個人年収は「100万円未満」が25.0%、「100～300万円未満」が24.4%とやや高く、『500万円未満』合計で66.2%を占める。平均は「309.7万円」と前回に比べてやや低い。〔図3-20〕
- 投信保有状況別や投信現在保有種類別で個人年収の平均をみると、世帯年収と同様に、投信現在保有層、株式投信保有層で高い。〔図3-22〕

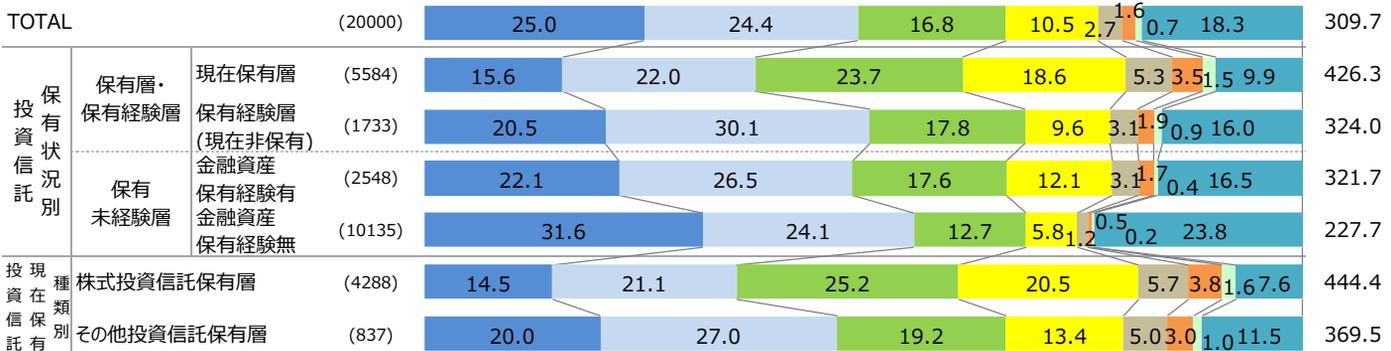
〔図 3-20〕



〔図 3-21〕



〔図 3-22〕

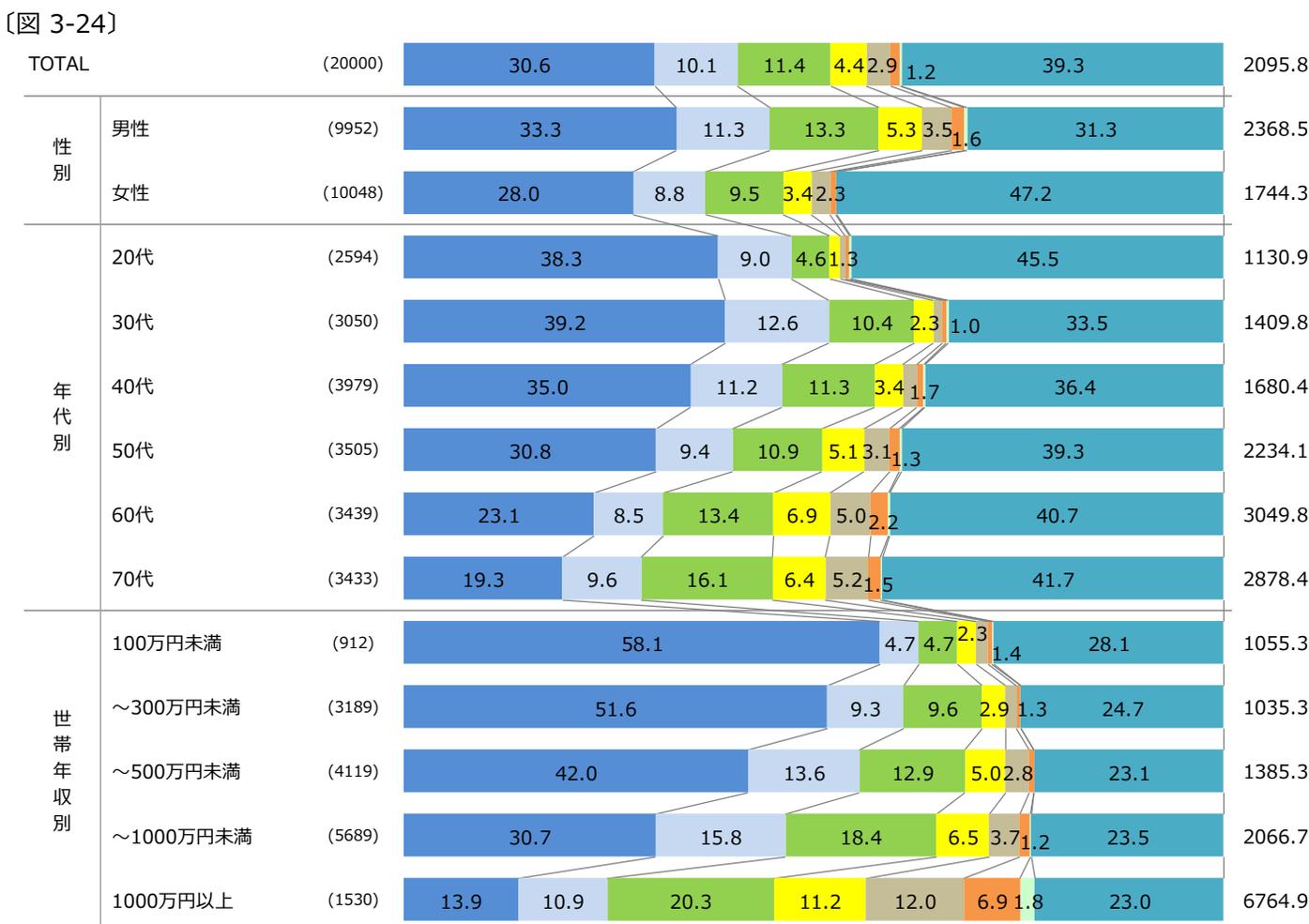


※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあつてのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

(7) 保有金融資産額〔Q34:単数回答〕

- 保有金融資産額は「500万円未満」が30.6%と多く、『3,000万円未満』合計で52.1%を占める。また、平均値は「2095.8万円」で前回より46.6万円減少。〔図3-23〕
- 投信保有状況別や投信現在保有種類別で保有金融資産額の平均をみると、投信現在保有層、株式投信保有層が高い。〔図3-25〕

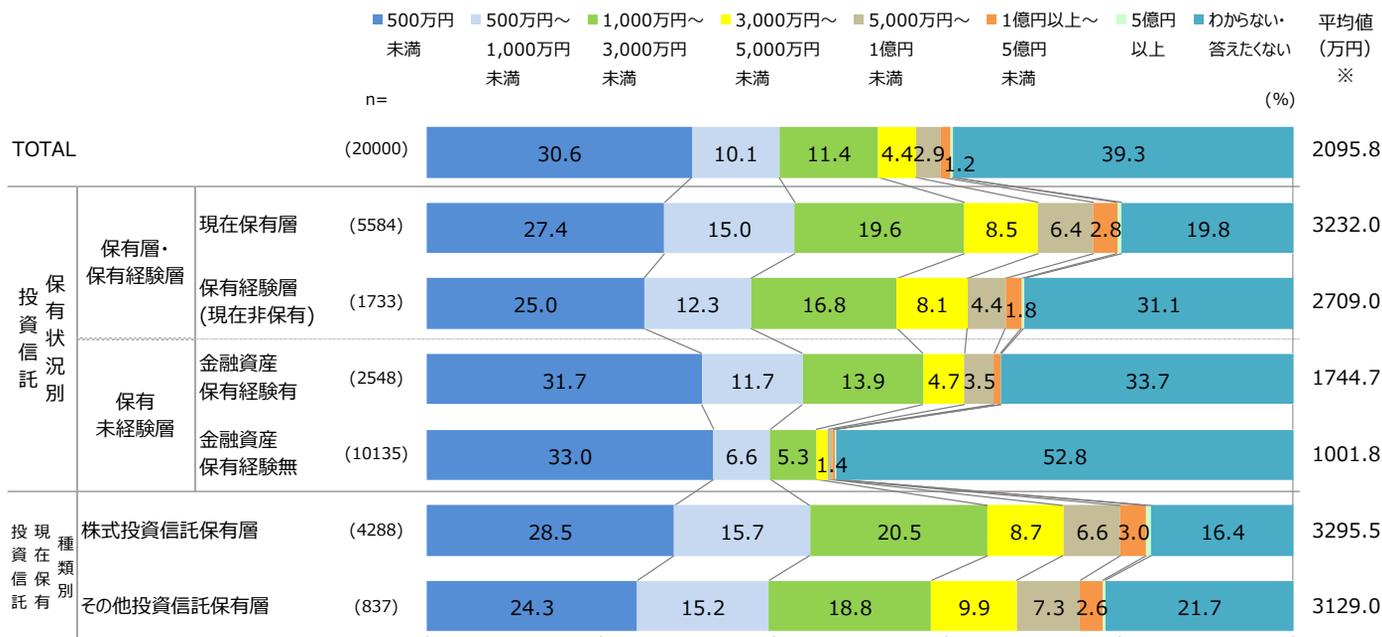


※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 500万円未満：250万円 / 500～1000万円未満：750万円 / 1000～3000万円未満：2000万円 / 3000～5000万円未満：4000万円
 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円 / 5億円以上：7億円

3. 回答者のプロフィール

(7) 保有金融資産額〔Q34:単数回答〕

〔図 3-25〕



※1%未満は非表示

※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあつてのウエイト値は以下の通り

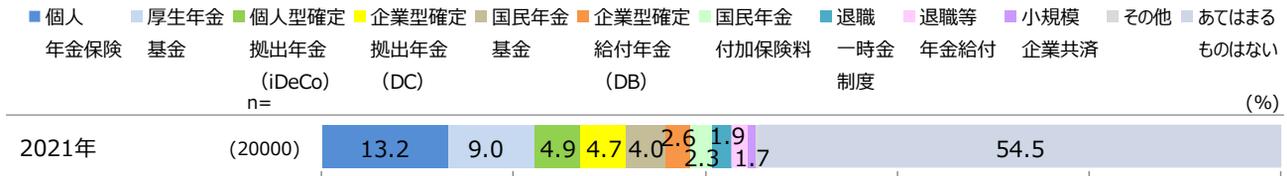
500万円未満：250万円 / 500～1000万円未満：750万円 / 1000～3000万円未満：2000万円 / 3000～5000万円未満：4000万円
 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円 / 5億円以上：7億円

3. 回答者のプロフィール

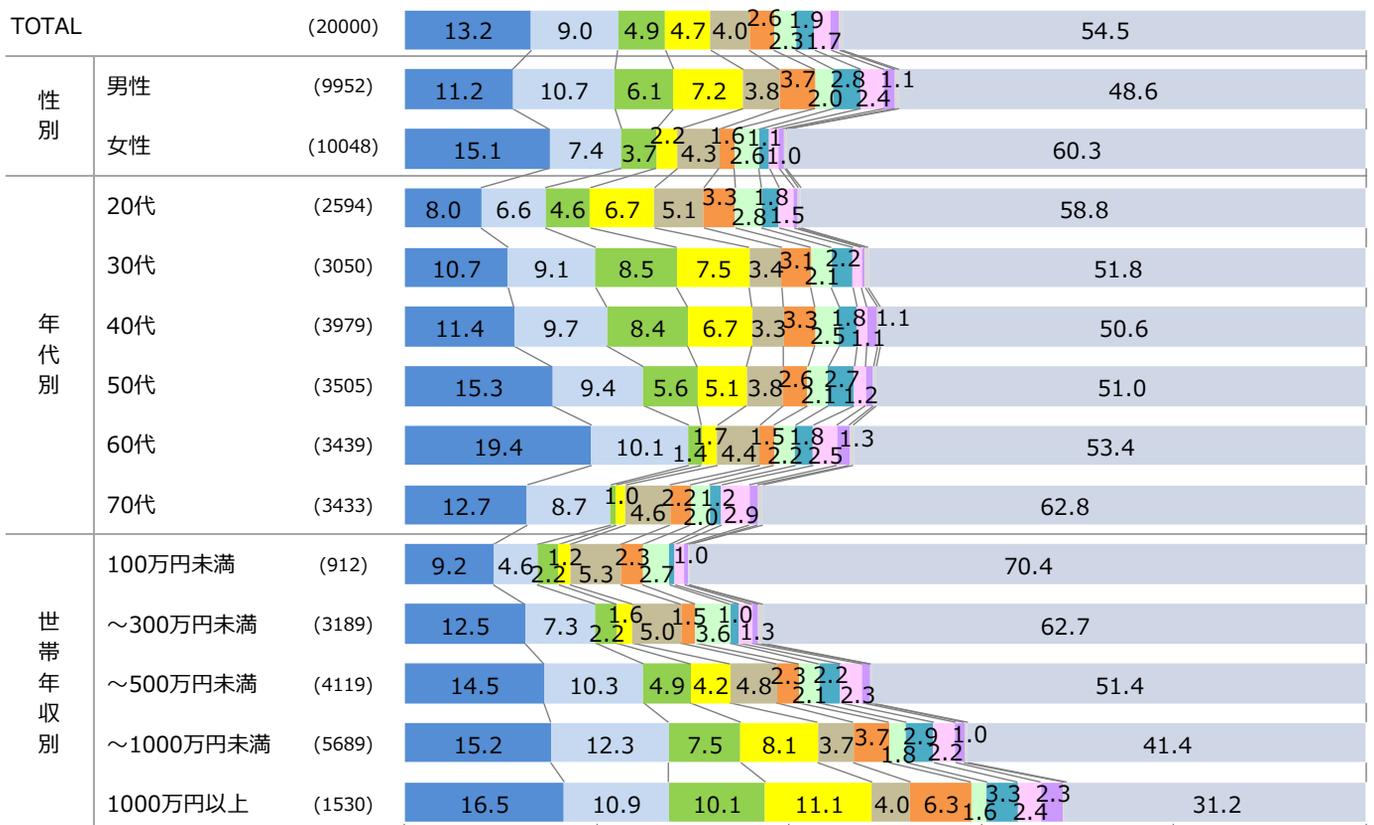
(8) 老後の資産形成〔Q35:単数回答〕

- 老後の資産形成では、「個人年金保険」(13.2%)、「厚生年金基金」(9.0%)、「個人型確定拠出年金(iDeCo)」(4.9%)、「企業型確定拠出年金(DC)」(4.7%)の順に高い。〔図3-26〕
- 「個人年金保険」は20～60代以下において、年代が上がることに増加。「個人型確定拠出年金(iDeCo)」と「企業型確定拠出年金(DC)」は、30～50代において、年代が下がることに増加。〔図3-27〕
- 投信現在保有層、株式投信保有層は、「個人型確定拠出年金(iDeCo)」と「企業型確定拠出年金(DC)」が高い。〔図3-28〕

〔図 3-26〕



〔図 3-27〕



※1%未満は非表示

4. 投資信託保有狀況（現在保有層）



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

（1）投資信託の保有口座〔Q3:重複回答〕

- 投資信託の保有口座は、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」が62.4%と最も高く、「つみたてNISA」(35.2%)、「NISA」(35.1%)が続く。「ポイント投資/運用口座」(17.5%)と「iDeCo（個人型確定拠出年金）」(16.6%)は10%台となっている。前回より「つみたてNISA」が10.8ポイント増加し、「NISA」は5.3ポイント減少。〔図4-1〕
- 「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」「NISA」は高齢層ほど保有率が増加傾向にあり、「つみたてNISA」は若年層ほど保有率が高い。〔図4-2〕
「つみたてNISA」は、前回に比べて20～50代では8.4～14.9ポイント増加。〔図4-2・図4-3〕
「ポイント投資/運用口座」は20～40代が20%台となっている。〔図4-2〕

※選択肢「企業型DC（企業型確定拠出年金）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

〔図 4-1〕

	n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	つみたて NISA	NISA	ポイント投資/ 運用の口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
2021年	(5584)	62.4	35.2	35.1	17.5	16.6	9.8	0.8	1.7	
2020年	(4675)	65.1	24.4	40.4	—	13.5	9.6	1.0	3.4	
2019年	(4452)	69.7	17.4	43.2	—	11.8	7.1	0.7	2.4	

※選択肢「ポイント投資/運用の口座」は2021年より聴取

〔図 4-2〕

		n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	つみたて NISA	NISA	ポイント投資/ 運用の口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた
TOTAL		(5584)	62.4	35.2	35.1	17.5	16.6	9.8	0.8	1.7
性別	男性	(3491)	66.2	35.2	35.8	19.5	18.1	12.4	0.7	1.4
	女性	(2093)	56.0	35.2	34.0	14.0	14.1	5.3	1.0	2.2
年代別	20代	(638)	47.0	61.3	22.4	22.3	16.0	14.4	0.5	1.6
	30代	(1012)	56.1	54.5	27.4	28.3	24.7	15.7	0.7	1.2
	40代	(1174)	60.4	44.8	28.6	23.3	25.6	13.1	0.4	1.2
	50代	(916)	62.2	27.2	35.5	16.5	22.1	9.5	1.3	1.4
	60代	(938)	69.7	16.3	45.9	9.1	5.9	4.4	0.9	2.3
	70代	(906)	75.4	10.6	49.6	4.1	2.0	1.3	1.0	2.6
世帯年収別	100万円未満	(151)	62.9	24.5	38.4	11.9	15.9	4.6	0.0	1.3
	～300万円未満	(629)	63.1	25.9	36.7	12.4	7.2	1.7	1.3	2.2
	～500万円未満	(1207)	60.4	37.6	32.8	15.8	14.1	6.2	0.8	1.8
	～1000万円未満	(2120)	62.1	39.7	33.6	20.0	20.6	12.7	0.8	0.6
	1000万円以上	(754)	68.8	36.1	39.9	21.4	23.6	19.9	0.7	1.1

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(1) 投資信託の保有口座〔Q3:重複回答〕

※選択肢「企業型DC（企業型確定拠出年金）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

〔図 4-3〕2020年度結果 性別、年代別、世帯年収別

		n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	つみたてNISA	NISA	iDeCo （個人型 確定拠出 年金）	企業型DC （企業型 確定拠出 年金）	その他	わからない・ 忘れた	(%)
TOTAL		(4675)	65.1	24.4	40.4	13.5	9.6	1.0	3.4	
性別	男性	(2910)	67.2	24.3	40.3	15.5	12.9	0.9	2.7	
	女性	(1765)	61.6	24.4	40.6	10.3	4.3	1.1	4.5	
年代別	20代	(521)	48.2	48.0	32.8	18.6	15.5	1.7	4.4	
	30代	(738)	55.0	39.8	34.0	21.5	16.1	1.1	3.4	
	40代	(946)	61.0	29.9	36.0	22.4	13.0	0.7	2.7	
	50代	(770)	66.2	18.8	38.2	16.8	11.3	1.6	2.6	
	60代	(909)	74.3	11.7	50.3	3.0	3.9	0.7	3.4	
	70代	(791)	78.8	7.7	47.4	1.1	0.8	0.5	4.3	
世帯 年収別	100万円未満	(124)	60.5	21.8	44.4	12.1	4.8	0.0	3.2	
	～300万円未満	(542)	68.3	17.5	42.8	7.0	2.6	1.1	4.1	
	～500万円未満	(1049)	65.3	24.7	39.7	10.5	5.1	0.8	2.7	
	～1000万円未満	(1705)	63.4	27.9	40.0	16.7	13.0	1.0	2.4	
	1000万円以上	(677)	69.3	25.0	43.0	20.5	18.3	1.5	1.9	

〔図 4-4〕2019年度結果 性別、年代別、世帯年収別

		n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	つみたてNISA	NISA	iDeCo （個人型 確定拠出 年金）	企業型DC （企業型 確定拠出 年金）	その他	わからない・ 忘れた	(%)
TOTAL		(4452)	69.7	17.4	43.2	11.8	7.1	0.7	2.4	
性別	男性	(2661)	72.2	17.6	42.1	14.1	10.0	0.6	2.4	
	女性	(1791)	66.0	17.1	44.8	8.4	2.8	0.9	2.4	
年代別	20代	(390)	51.3	39.2	33.6	18.2	14.1	0.5	4.6	
	30代	(646)	59.1	32.7	36.1	20.6	9.3	0.6	2.3	
	40代	(855)	66.9	20.2	40.0	20.5	9.8	0.6	2.1	
	50代	(763)	72.1	14.8	41.5	15.6	11.9	1.0	2.9	
	60代	(976)	74.9	7.0	49.7	2.0	2.4	1.0	1.9	
	70代	(822)	81.3	6.8	50.6	0.7	0.6	0.4	1.9	
世帯 年収別	100万円未満	(90)	70.0	10.0	42.2	11.1	3.3	0.0	6.7	
	～300万円未満	(529)	67.5	15.7	45.6	4.9	2.3	0.8	3.4	
	～500万円未満	(1006)	68.3	19.0	42.5	9.4	3.3	0.8	2.6	
	～1000万円未満	(1667)	69.3	17.3	43.1	12.7	8.4	0.7	1.2	
	1000万円以上	(710)	75.6	19.2	45.2	20.3	16.5	1.0	1.8	

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(2) 投資信託の保有種類〔Q6:重複回答〕

- 現在保有している投資信託の種類は、「外国株式投資信託」が53.9%で最も高い。次いで「国内株式投資信託」(50.2%)、「分散型投資信託」(22.8%)、「国内債券投資信託」(15.1%)、「外国債券投資信託」(14.9%)が続く。前回より「外国株式投資信託」が10.3ポイント増加。〔図4-5〕
- 年代別で保有率をみると、30～60代において「外国株式投資信託」「ETF」は、若年層ほど高くなる傾向。〔図4-6〕
- 投資信託の平均保有数は2.09種類となっている。前回の2.17種類に比べて若干減少。〔図4-7〕

〔図 4-5〕

	n=	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託	国内債券投資信託	外国債券投資信託	ETF	国内不動産投信(リート)に投資する投資信託	外国の不動産投信に投資する投資信託	国内不動産投信(リート)	その他	不明・回答拒否 (%)
2021年	(5584)	53.9	50.2	22.8	15.1	14.9	11.6	9.8	7.8	5.4	0.6	8.0
2020年	(4675)	43.6	54.4	25.6	18.4	17.7	9.5	12.4	9.2	5.8	0.4	9.2
2019年	(4452)	37.2	58.1	27.8	19.6	20.1	8.5	15.5	10.9	6.8	0.5	8.7

〔図 4-6〕

	n=	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託	国内債券投資信託	外国債券投資信託	ETF	国内不動産投信(リート)に投資する投資信託	外国の不動産投信に投資する投資信託	国内不動産投信(リート)	その他	不明・回答拒否 (%)
TOTAL	(5584)	53.9	50.2	22.8	15.1	14.9	11.6	9.8	7.8	5.4	0.6	8.0
性別												
男性	(3491)	58.7	52.9	22.5	16.4	16.0	15.1	10.8	8.4	6.3	0.6	5.7
女性	(2093)	46.0	45.8	23.2	12.8	13.0	5.8	8.1	6.8	4.0	0.5	11.7
年代別												
20代	(638)	61.6	48.4	17.9	17.7	13.8	13.6	8.0	5.8	4.4	0.0	5.6
30代	(1012)	66.8	49.7	19.2	14.3	12.4	16.6	8.9	7.2	4.7	0.7	5.3
40代	(1174)	63.6	50.0	19.3	15.1	14.4	15.9	9.3	7.2	4.9	0.7	6.8
50代	(916)	50.4	52.8	26.9	13.6	15.2	11.1	10.2	7.8	5.1	0.5	8.3
60代	(938)	42.5	51.4	28.3	15.0	14.6	6.9	9.7	8.5	6.7	0.9	12.5
70代	(906)	37.0	48.3	25.2	15.5	19.2	4.5	12.5	9.8	6.5	0.3	8.9
世帯年収別												
100万円未満	(151)	47.7	46.4	20.5	15.9	15.9	10.6	5.3	6.0	4.0	1.3	7.9
～300万円未満	(629)	45.9	44.8	21.9	12.9	14.1	7.8	7.9	7.9	3.0	0.5	7.9
～500万円未満	(1207)	54.2	47.5	23.1	12.9	13.8	9.4	9.1	6.7	4.6	0.4	7.5
～1000万円未満	(2120)	59.1	54.2	23.1	16.2	15.0	13.6	10.7	7.5	6.4	0.6	5.0
1000万円以上	(754)	62.2	58.0	26.9	21.9	21.6	17.8	14.1	12.5	8.5	0.4	3.8

〔図 4-7〕【投資信託の保有種類別回答者数と、平均保有数】

	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託	国内債券投資信託	外国債券投資信託	ETF	国内不動産投信(リート)に投資する投資信託	外国の不動産投信に投資する投資信託	国内不動産投信(リート)	その他	平均保有数(種類) ※2
2021年 TOTAL(n=5140) ※1	3012	2803	1273	841	832	650	547	434	303	31	2.09
2020年 TOTAL(n=4247) ※1	2039	2541	1195	861	827	443	581	430	273	20	2.17
2019年 TOTAL(n=4064) ※1	1656	2587	1238	873	894	379	690	484	304	22	2.25

(2021年/2020年/2019年)

※1 投信保有者(n=5584/4675/4452)から「種類不明・回答拒否」(n=444/428/388)を控除。

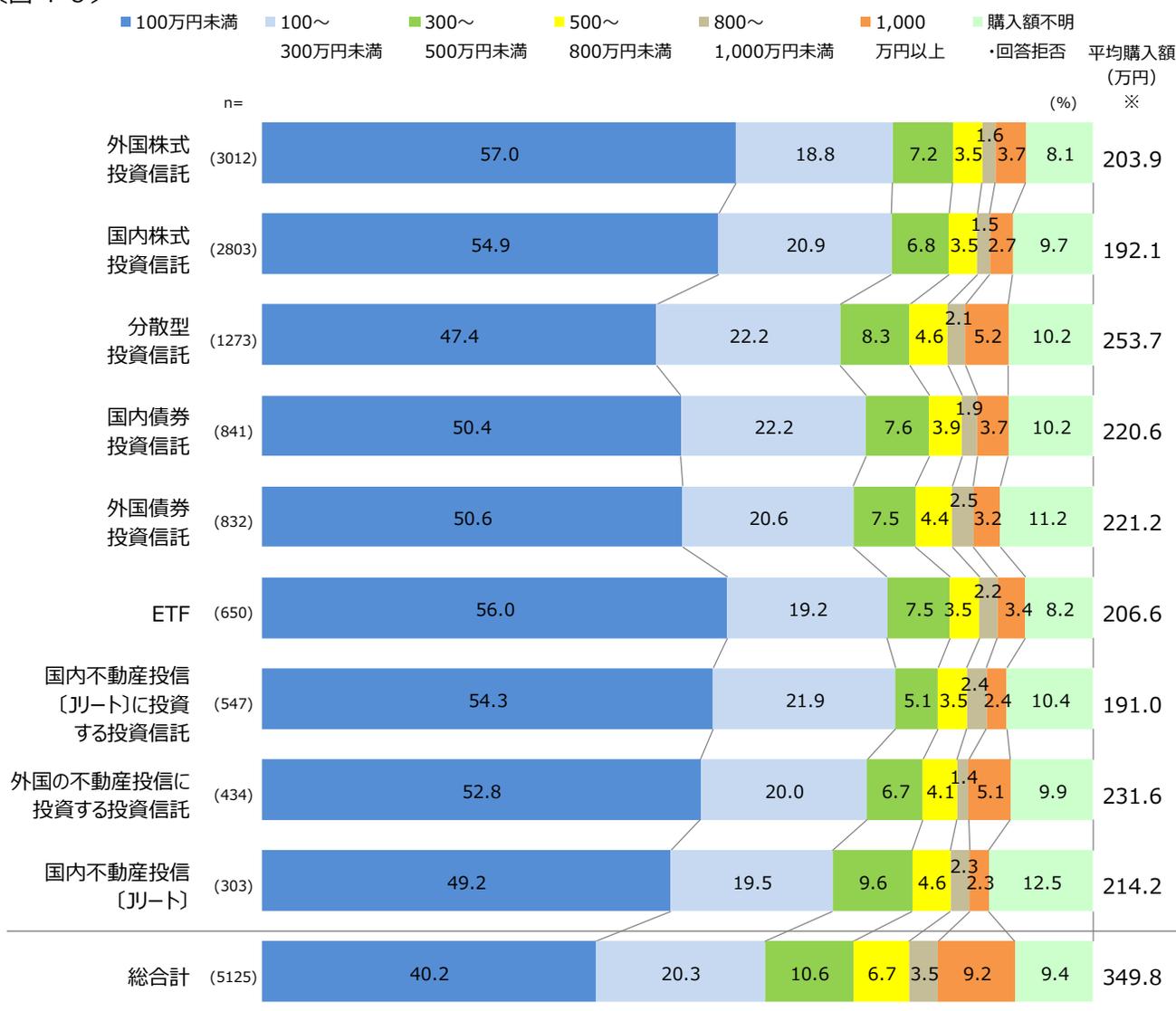
※2 平均保有数は、保有種類別回答者数の延べの総数を、(n=5140/4247/4064)で割って算出。

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(3) 投資信託の購入額〔Q7:単数回答-各種類現在保有層ベース〕

- 現在保有している投資信託の平均購入額は、総合計では「349.8万円」となる。種類別に平均購入額をみると、「分散型投資信託」が253.7万円で最も高く、次いで「外国の不動産投信に投資する投資信託」が231.6万円、「外国債券投資信託」が221.2万円、「国内債券投資信託」が220.6万円、「国内不動産投信」が214.2万円が続く。〔図4-8〕

〔図4-8〕



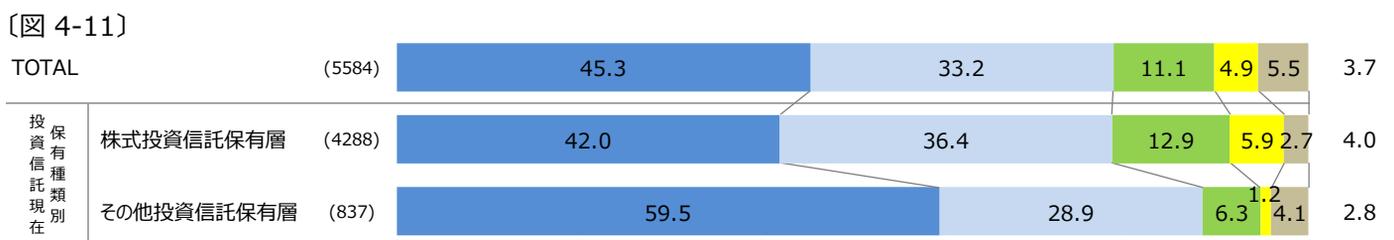
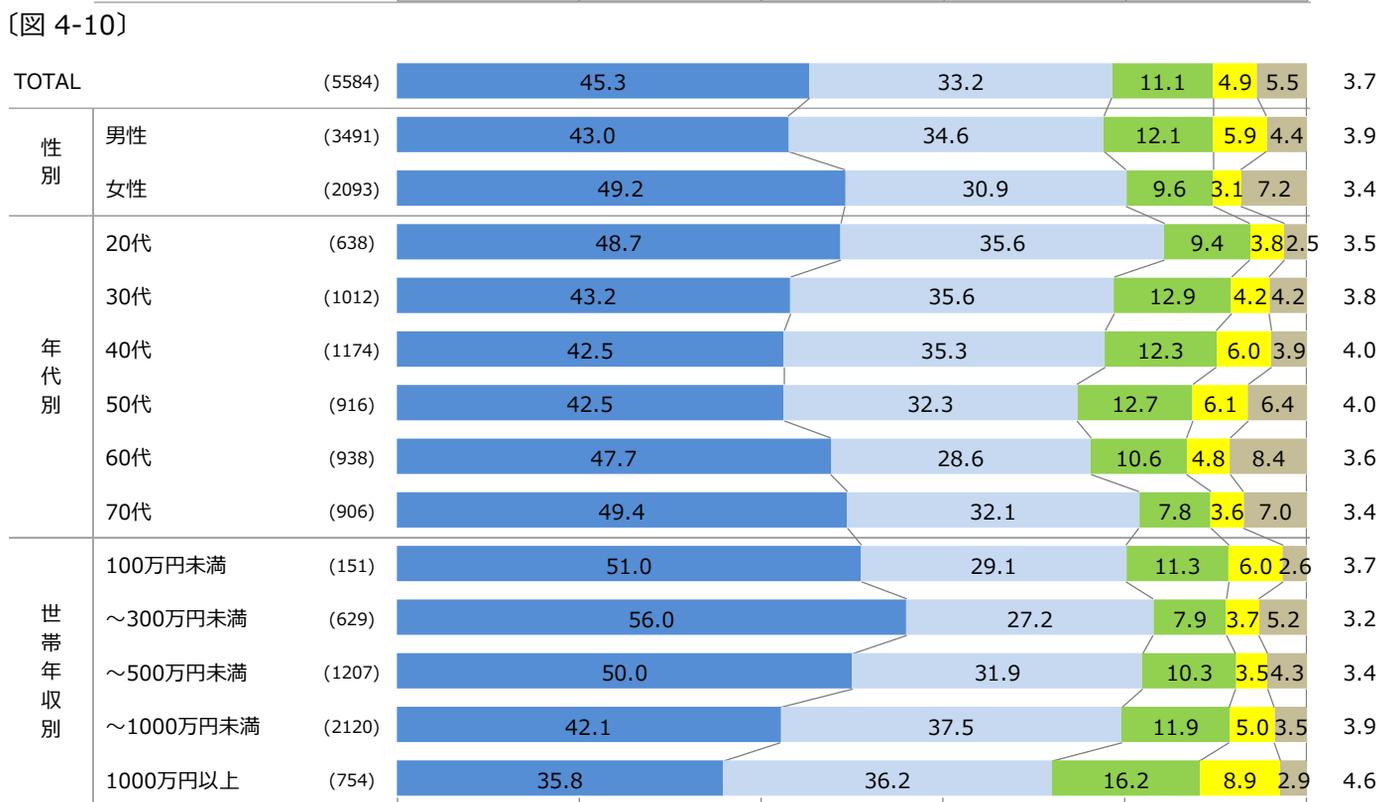
※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円
800~1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

（4）現在保有している投資信託の本数〔Q4:単数回答〕

- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1～2本」(45.3%)が半数弱を占める。平均は3.7本で前回より、やや増加。〔図4-9〕
- 年代別では40～50代の平均保有本数がやや多い。また、世帯年収が高いほど多くなる傾向があり、1,000万円以上は平均保有本数(4.6本)となっている。〔図4-10〕
- 投信現在保有種類別では、株式投信保有層で平均保有本数(4.0本)が多い。〔図4-11〕



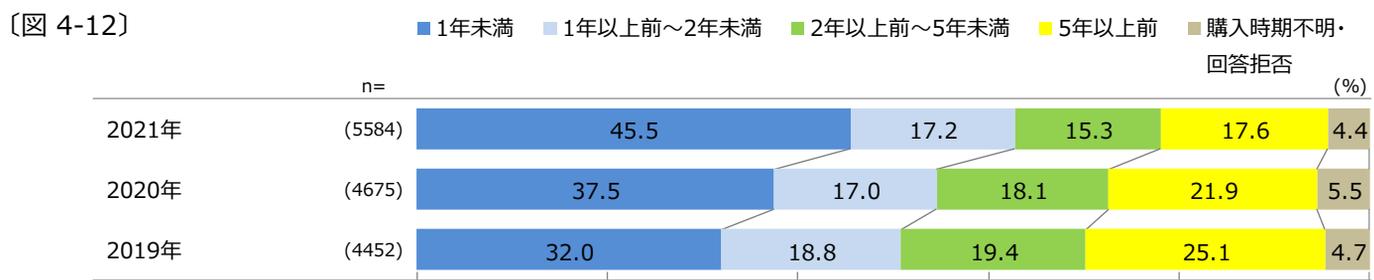
※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

1～2本：1.5本 / 3～5本：4本 / 6～10本：8本 / 11本以上：13本

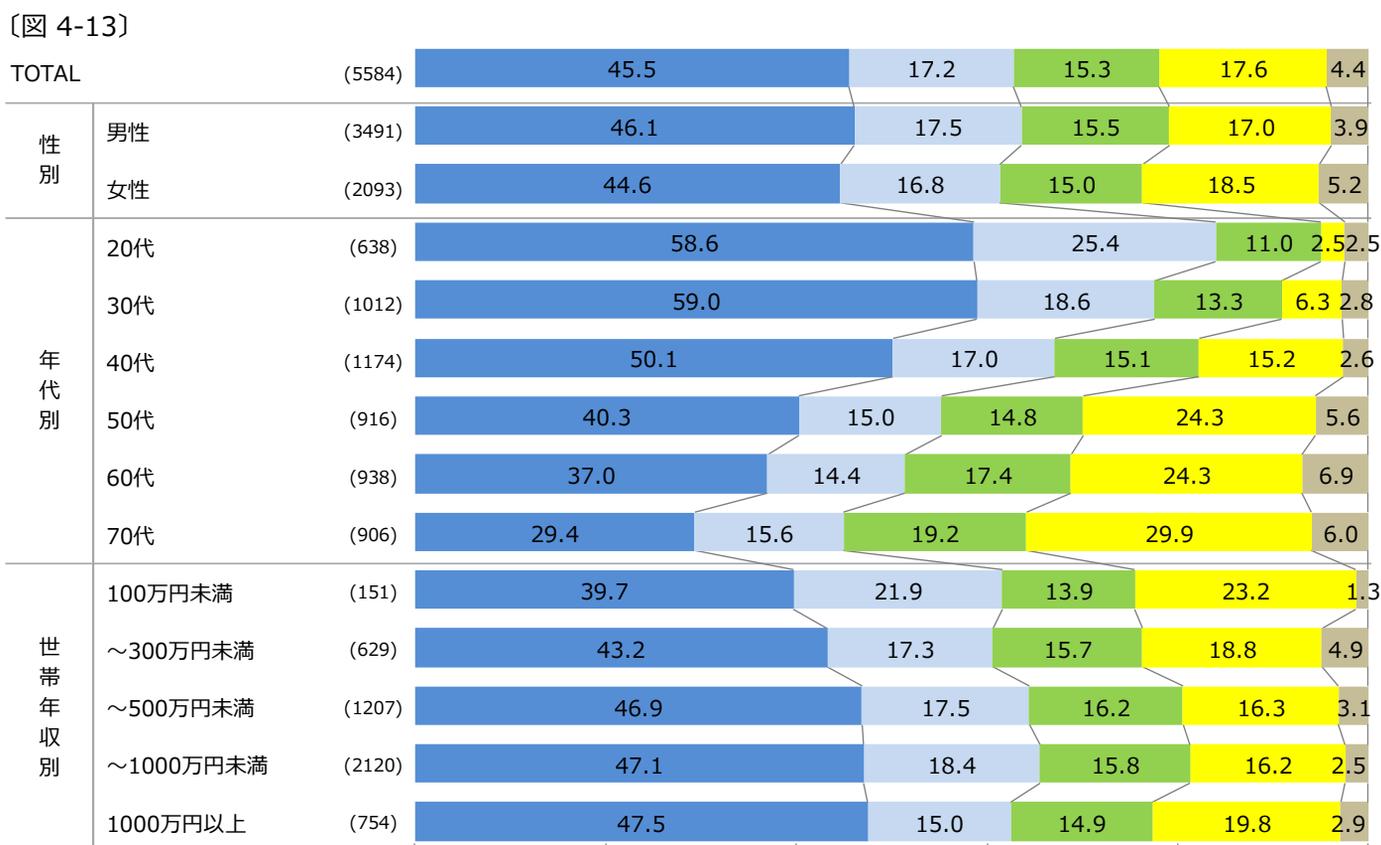
4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(5) 投資信託商品の直近購入時期〔Q5:単数回答〕

- 直近の購入時期は「1年未満」(45.5%)が最も高く、前回より8.0ポイント増加。〔図4-12〕
- 「1年未満」の購入率は、20～30代が6割弱で高い。〔図4-13〕
- 投信現在保有種類別では、株式投信保有層で「1年未満」(49.7%)が高い。〔図4-14〕



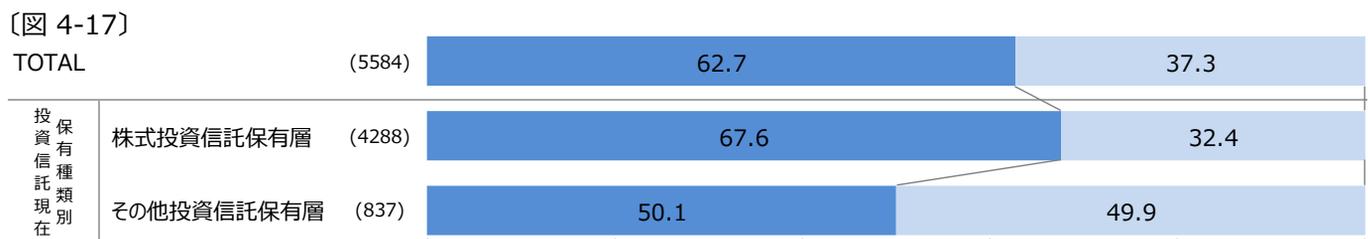
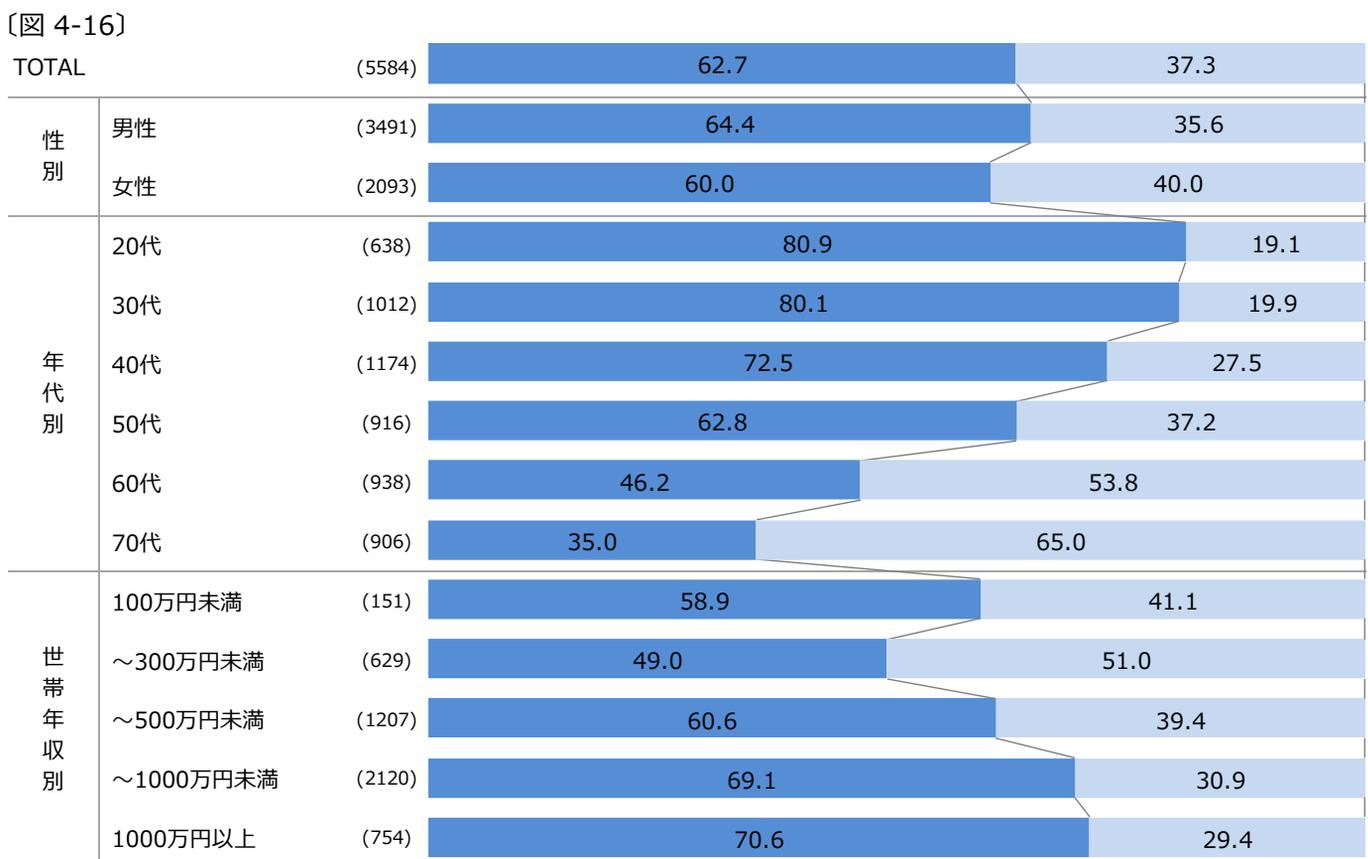
※選択肢「1年以上前～2年未満」「2年以上前～5年未満」は、2020年まで「1年以上～2年未満」「2年以上～5年未満」で聴取



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

（6）投資信託の積立投資の利用状況〔Q18:単数回答〕

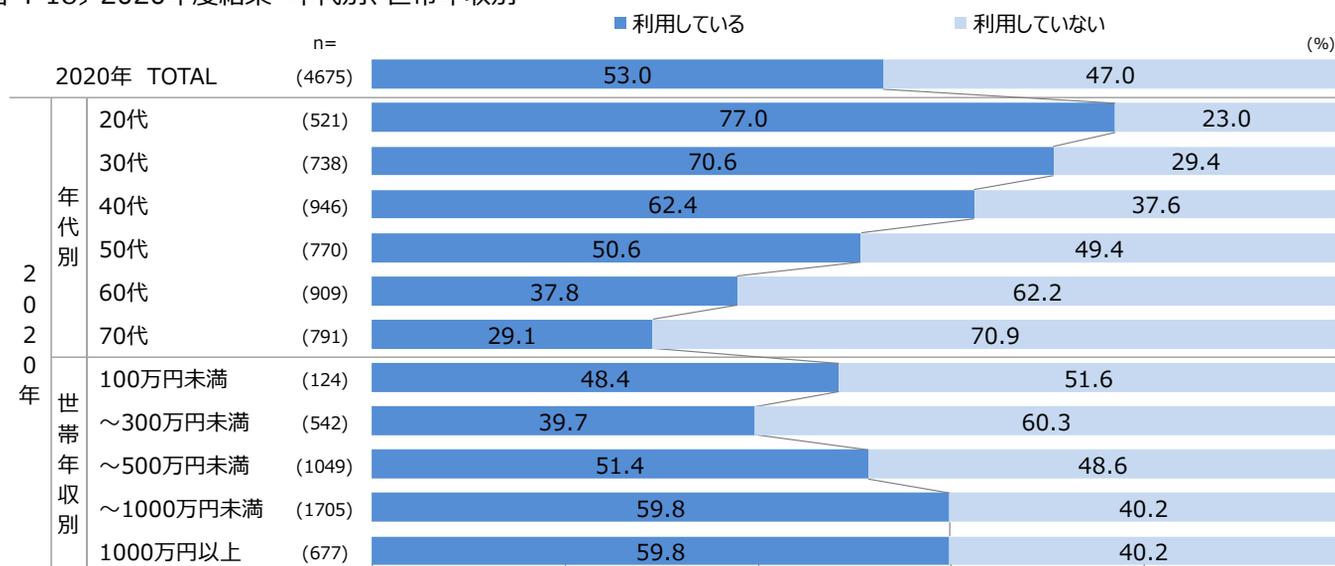
- 積立投資利用率は62.7%。前回と比べて9.7ポイント増加。〔図4-15〕
- 若年層ほど積立投資利用率は高く、特に20・30代は80%以上と高い。〔図4-16〕
また、全ての年代で利用率が増加している。〔図4-16・図4-18〕
なお、年代構成比では、前回と比べて30～50代の比率がやや増加。全体としては40代以下が6割以上を占める。〔図4-20〕
- 投信現在保有種類別では、株式投信保有層で積立投資利用率が高い。〔図4-17〕



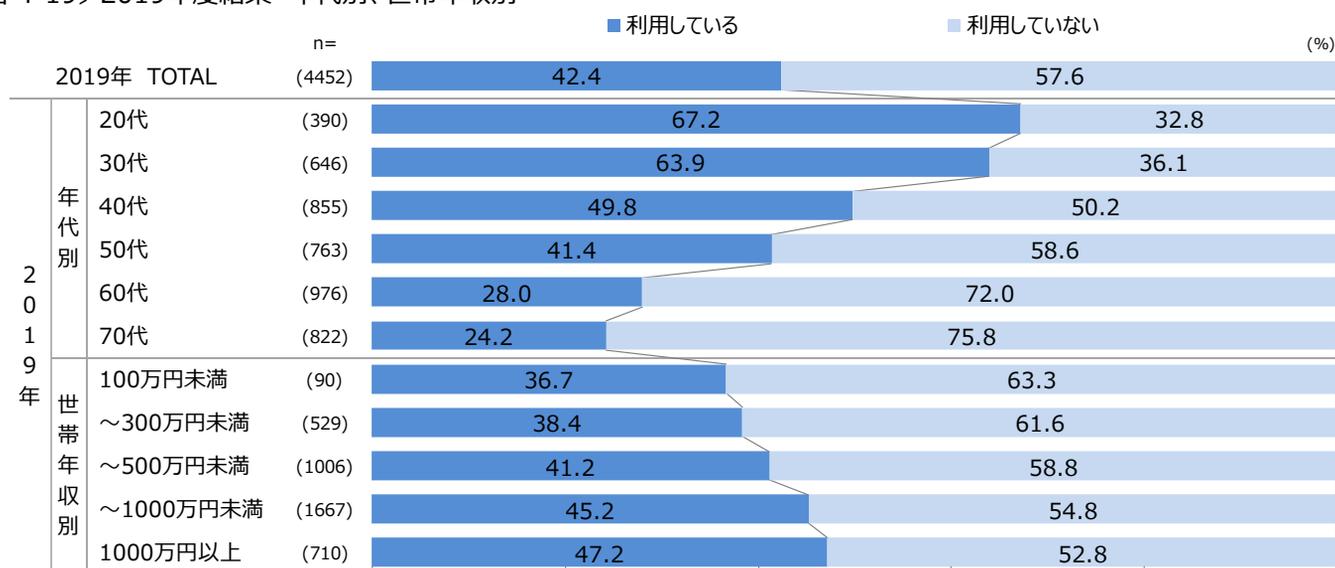
4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(6) 投資信託の積立投資の利用状況〔Q18:単数回答〕

〔図 4-18〕 2020年度結果 年代別、世帯年収別



〔図 4-19〕 2019年度結果 年代別、世帯年収別



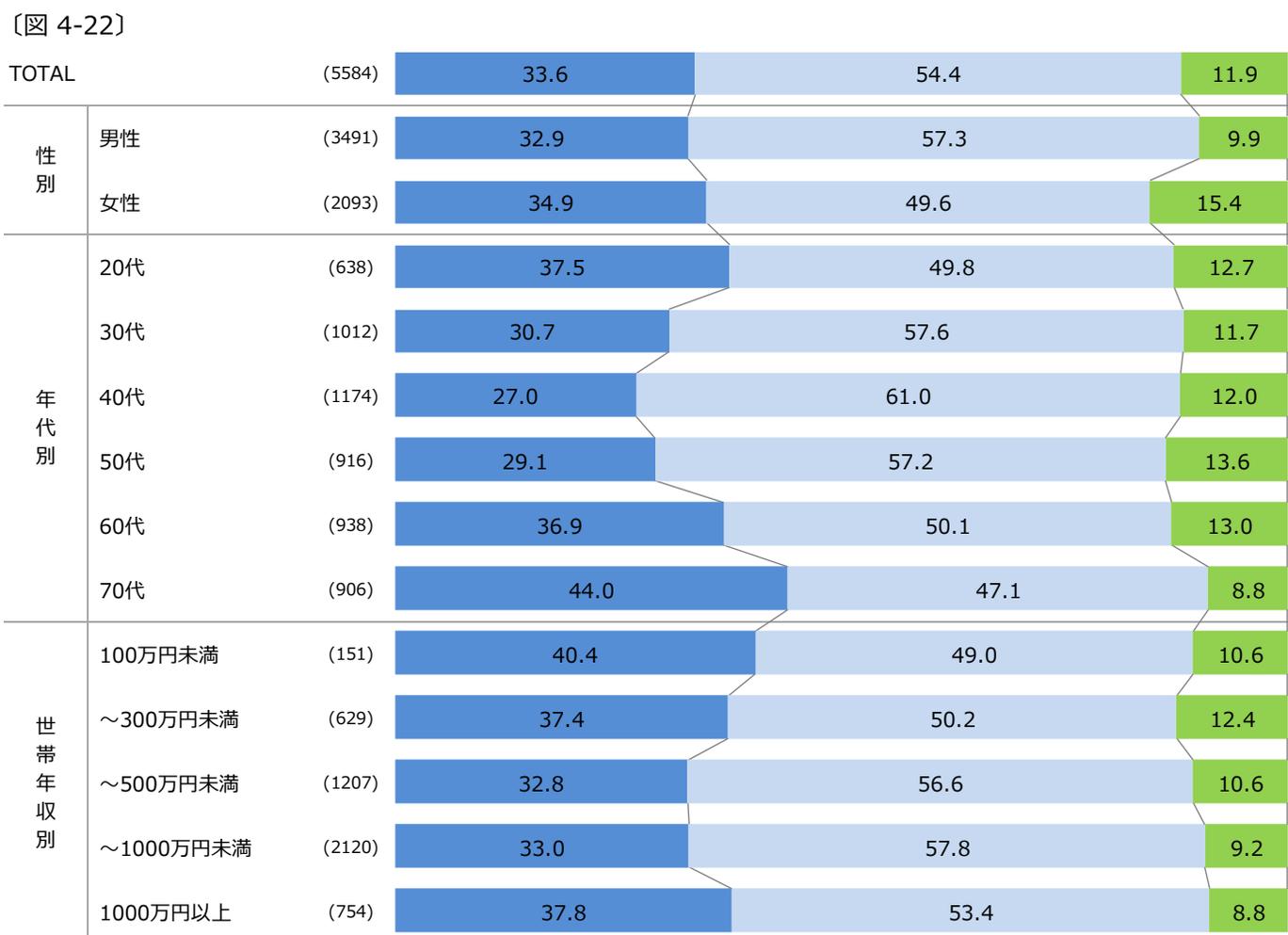
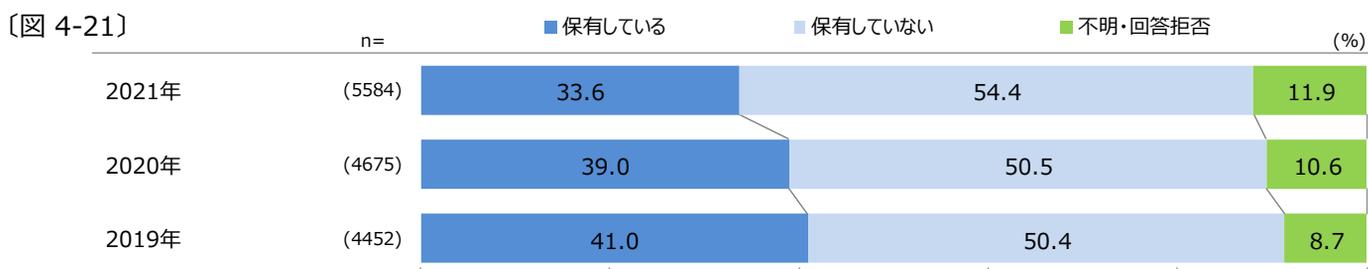
〔図 4-20〕 積立投資利用者の年代構成比（投資信託現在保有者で積立投資利用者）



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

（7）毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20:単数回答〕

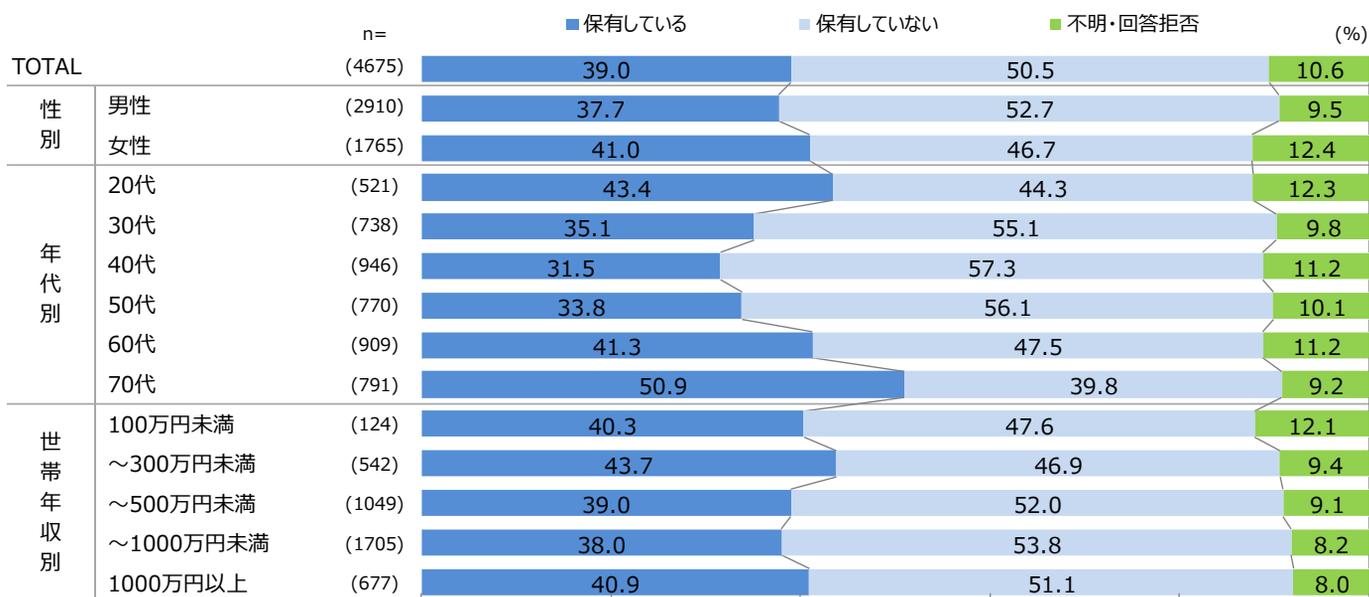
- 現在投資信託保有層のうち、毎月分配型投資信託（1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する分配方針のもの）の保有率は33.6%と、前回より5.4ポイント減少。〔図4-21〕
- 属性別では、40代以上から年代が上がるにつれ保有率が増加。〔図4-22〕
毎月分配型投信保有者の年代構成比は、前回と比べて30代比率がやや増加し、高齢層比率が若干減少しているものの、引き続き50代以上が半数以上占める。〔図4-25〕



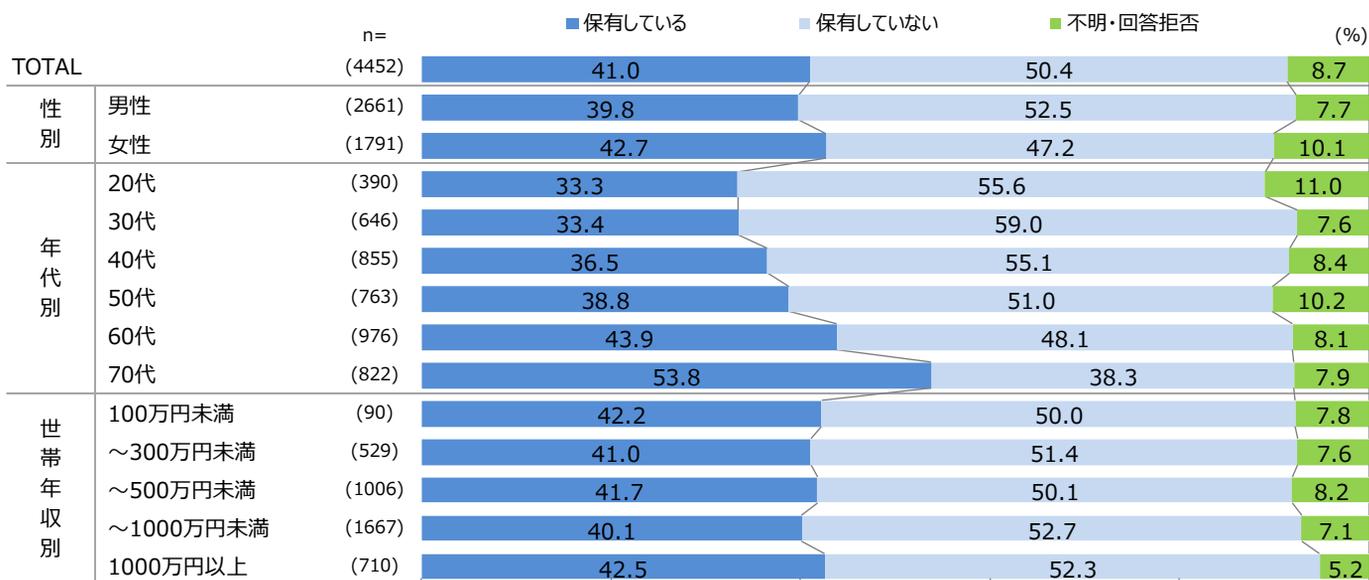
4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(7) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20:単数回答〕

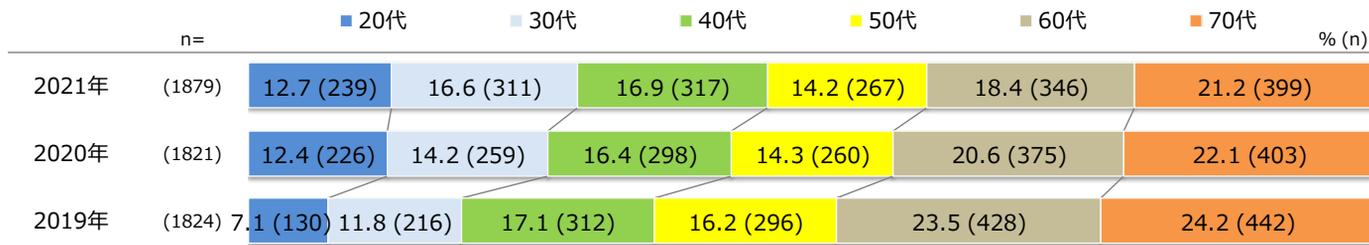
〔図 4-23〕 2020年度結果 性別、年代別、世帯年収別



〔図 4-24〕 2019年度結果 性別、年代別、世帯年収別



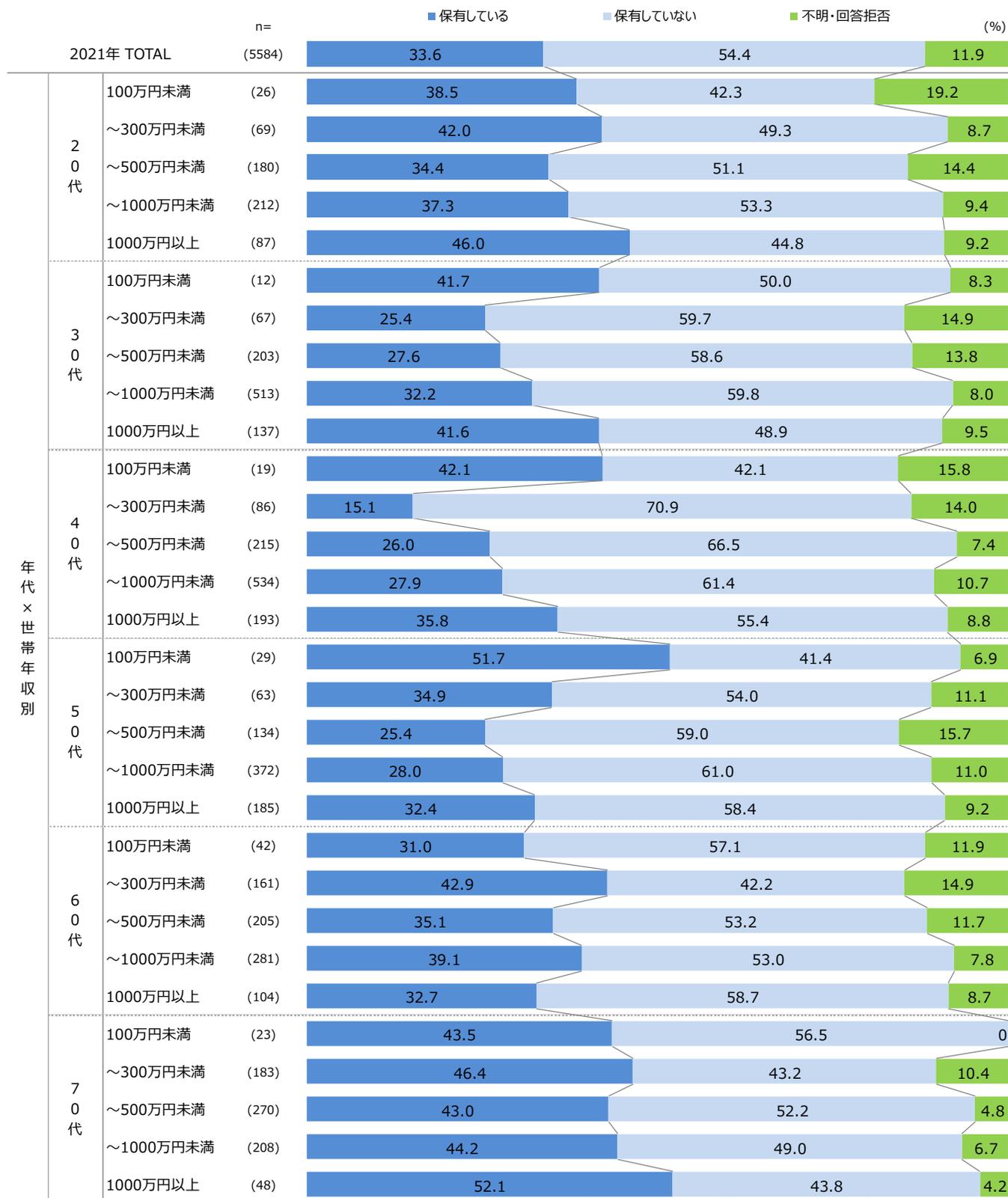
〔図 4-25〕 分配型投資信託保有者の年代構成比（投資信託現在保有者で毎月分配型投資利用者）



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(7) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20:単数回答〕

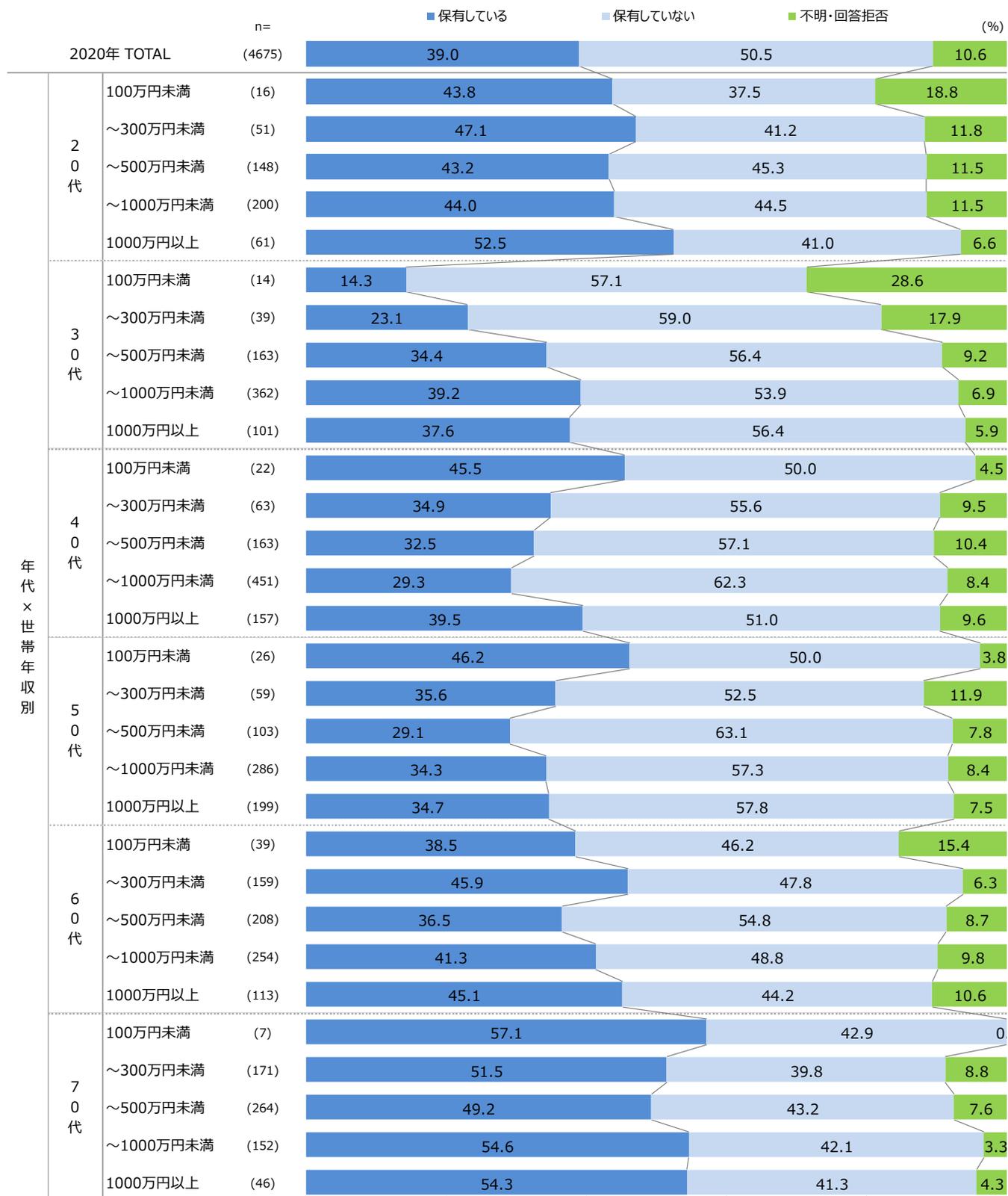
〔図 4-26〕 2021年度結果 年代×世帯年収別



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(7) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20:単数回答〕

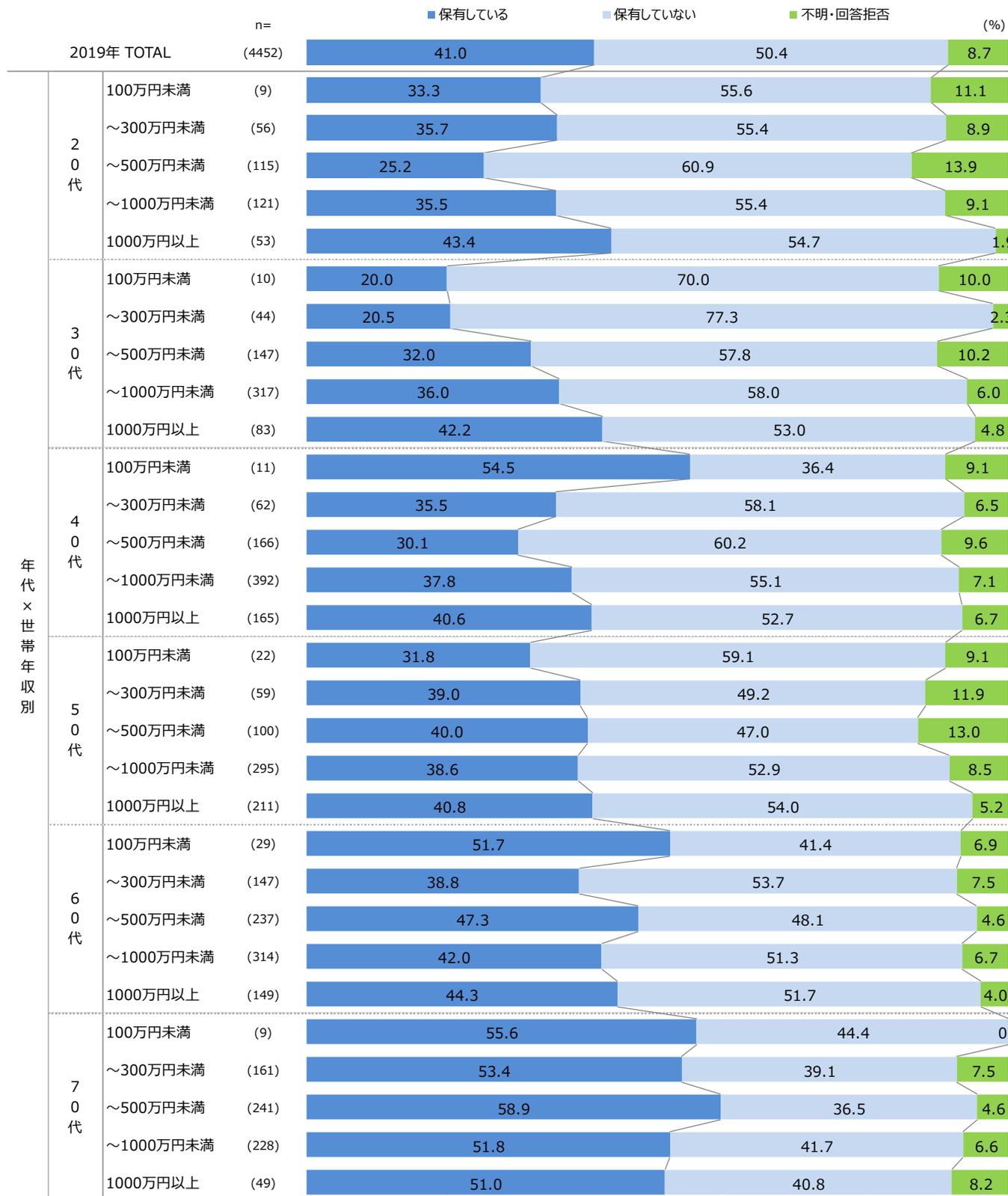
〔図 4-27〕 2020年度結果 年代×世帯年収別



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(7) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q20:単数回答〕

〔図 4-28〕 2019年度結果 年代×世帯年収別



5. 投資信託購入状況 (現在保有層・保有経験層)



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（1）投資信託の興味・関心・購入のきっかけ〔Q8：重複回答〕

- 興味・関心・購入のきっかけは、「金融機関の人に勧められて」(34.3%)が最も高い。次いで「インターネットで見たり調べたりして」(28.1%)、「少額投資非課税制度があるから」(17.1%)が続く。前回より「金融機関の人に勧められて」が5.7ポイント減少。「少額投資非課税制度があるから」は5.7ポイント増加。〔図5-1〕
- 年代別でみると、「金融機関の人に勧められて」は年代が上がるほど高くなる傾向。また、「インターネットで見たり調べたりして」「少額投資非課税制度があるから」「投資信託に関する本を読んで」「ポイントで投資/運用ができることを知って」は年代が下がるほど高くなる傾向。「YouTube等の動画配信を観て」「SNSからの情報を通じて」は20・30代で高い傾向。〔図5-2〕
- 投信現在保有層は、保有経験層に比べて「インターネットで見たり調べたりして」「少額投資非課税制度があるから」「投資信託に関する本を読んで」「ポイントで投資/運用ができることを知って」「YouTube等の動画配信を観て」などが高く、「金融機関の人に勧められて」は低い。〔図5-3〕

〔図 5-1〕

	n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本を読んで	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	YouTube等の動画配信を観て	経済的に余裕がきたので	景気や市場の状況を見て	DMを見た電話案内を聞いて	新聞、雑誌などの投資信託の記事を見て	友人・知人から話を聞いて	家族などから話を聞いて	老後2000万円に関する各種報道を受けて	確定拠出年金やセミナーなどで話を聞いて	SNSからの情報を通じて	確定拠出年金で投資信託を選択して良かったので	その他	
2021年	(7317)	34.3	28.1	17.1	12.5	10.7	9.4	8.8	8.4	8.0	7.7	7.6	7.5	7.2	6.8	6.4	6.1	6.1	2.6	2.3
2020年	(6626)	40.0	25.0	11.4	12.5	-	10.8	-	10.2	8.6	8.5	8.3	10.1	10.1	4.8	6.6	6.7	3.8	2.2	2.9
2019年	(6449)	42.6	23.0	9.6	11.3	-	11.2	-	10.2	8.2	9.1	9.9	10.5	10.5	2.7	5.3	6.5	2.4	2.2	2.9

※選択肢「YouTube等の動画配信を観て」「ポイントで投資/運用ができることを知って」は2021年より聴取

※「家族などから、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて」「友人・知人から、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて」は2020年までの「家族や友人などから話を聞いて」を分割して聴取

※「少額投資非課税制度（NISA、ジュニアNISA、つみたてNISA）があるから」は2020年まで「少額投資非課税制度が始まったので」聴取

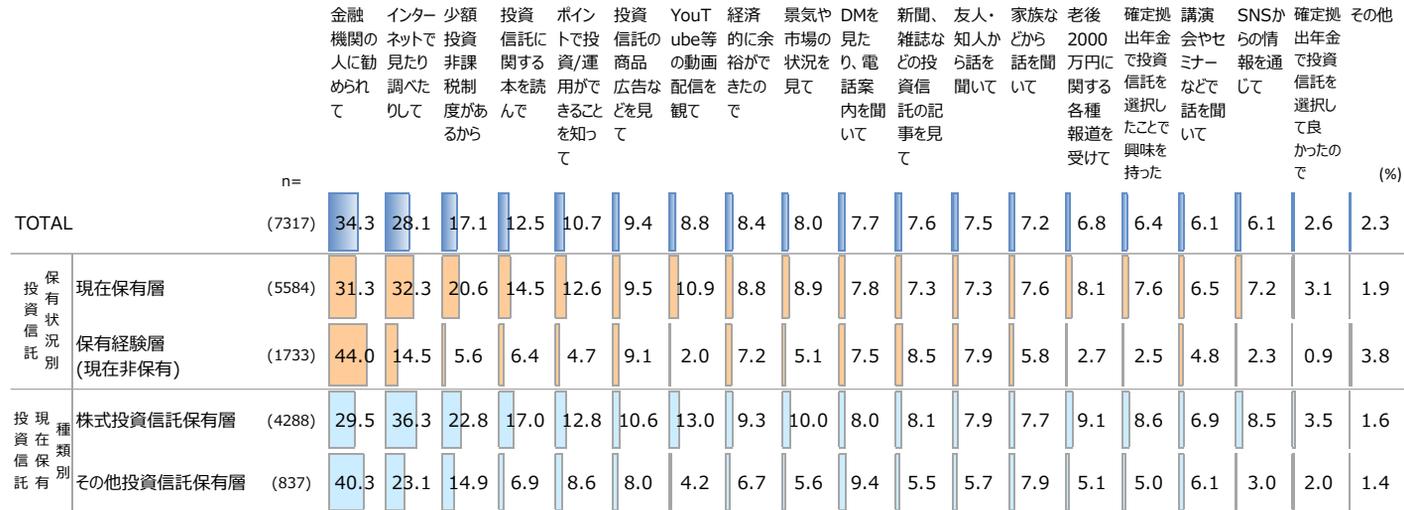
〔図 5-2〕

		n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本を読んで	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	YouTube等の動画配信を観て	経済的に余裕がきたので	景気や市場の状況を見て	DMを見た電話案内を聞いて	新聞、雑誌などの投資信託の記事を見て	友人・知人から話を聞いて	家族などから話を聞いて	老後2000万円に関する各種報道を受けて	確定拠出年金やセミナーなどで話を聞いて	SNSからの情報を通じて	確定拠出年金で投資信託を選択して良かったので	その他	
TOTAL		(7317)	34.3	28.1	17.1	12.5	10.7	9.4	8.8	8.4	8.0	7.7	7.6	7.5	7.2	6.8	6.4	6.1	6.1	2.6	2.3
性別	男性	(4470)	28.8	33.3	17.1	15.1	11.7	10.9	11.1	9.0	9.7	8.5	8.5	6.3	4.1	7.3	8.2	6.9	5.6	3.4	2.2
	女性	(2847)	43.0	20.0	17.0	8.5	9.2	7.0	5.3	7.5	5.5	6.5	6.3	9.2	12.0	6.1	3.5	4.8	6.8	1.3	2.5
年代別	20代	(744)	17.9	33.2	20.0	14.9	14.2	8.3	16.4	9.0	9.0	12.0	5.1	8.3	9.0	9.7	6.2	10.8	19.5	4.4	1.2
	30代	(1112)	15.8	44.4	26.5	21.3	17.9	9.4	18.4	8.7	10.0	7.9	5.7	10.2	8.9	12.1	9.0	5.9	15.3	4.0	1.6
	40代	(1400)	19.3	42.1	22.0	17.4	16.9	10.1	12.9	7.2	8.2	6.6	9.2	7.4	7.1	10.2	10.4	6.4	6.6	4.2	1.6
	50代	(1198)	30.8	29.0	14.0	11.7	11.2	10.9	7.0	7.6	8.1	6.1	8.4	6.3	7.3	6.3	8.5	4.3	2.2	2.3	3.2
	60代	(1387)	48.7	15.8	11.6	7.8	5.6	9.4	2.9	8.4	6.6	8.5	8.1	5.4	6.2	3.1	3.9	5.0	0.6	1.2	3.1
	70代	(1476)	60.2	10.6	11.4	5.4	2.3	7.9	0.9	9.6	7.2	7.0	7.6	7.9	5.9	2.2	1.4	6.0	0.1	0.5	2.7
世帯年収別	100万円未満	(215)	33.0	26.0	13.0	10.2	10.7	8.8	9.3	6.5	5.6	11.6	6.0	5.1	7.9	4.2	5.1	6.0	4.7	2.3	1.9
	～300万円未満	(944)	42.5	23.4	12.2	9.4	8.4	8.9	6.1	6.0	6.1	7.4	7.0	6.0	5.7	5.3	2.2	5.1	3.4	1.0	2.9
	～500万円未満	(1613)	37.6	28.5	17.8	12.6	10.7	8.4	9.3	7.4	7.3	7.7	7.8	7.7	6.4	6.5	4.9	6.8	6.9	2.0	2.0
	～1000万円未満	(2590)	29.4	32.0	19.7	15.4	11.2	10.6	10.7	9.2	8.6	7.6	8.1	8.3	7.6	8.6	8.5	6.4	7.6	3.4	2.4
	1000万円以上	(893)	30.3	32.5	19.0	13.8	10.8	11.4	10.1	13.3	12.2	10.8	10.2	7.3	10.3	7.7	11.4	8.0	7.1	5.2	1.1

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(1) 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ〔Q8：重複回答〕

〔図 5-3〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(2) 投資信託の購入目的〔Q9：重複回答〕

- 投資信託の購入目的は、「老後の生活資金」(54.5%)が最も高く、前回より3.2ポイント増加。次いで「資産のリスク分散」(24.1%)、「金銭的に余裕ある生活をするため」(21.9%)、「金融・経済・投資の勉強のため」(16.0%)が多く、それぞれ前回と同程度。〔図5-4〕
- 年代別では、30～70代で「老後の生活資金」が50%以上と高い。「金融・経済・投資の勉強のため」「子供又は孫のための教育などの資金」「FIREのため」は若年層ほど高い傾向。〔図5-5〕
- 投信現在保有層、株式投資信託保有層は「老後の生活資金」「資産のリスク分散」が高い。〔図5-6〕

〔図 5-4〕

	n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金銭的に余裕ある生活をするため	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	住宅資金	FIREのため	子供や孫に十分な資産を残したいため	高額商品の購入	結婚資金	投資で社会を良くすることができるため	事業用資金	その他	目的はないが資金を増やしたい	(%)
2021年	(7317)	54.5	24.1	21.9	16.0	9.2	8.2	7.7	5.7	5.7	5.7	3.2	2.7	2.1	1.8	1.0	14.6	
2020年	(6626)	51.3	24.6	20.8	15.1	9.3	7.6	7.1	4.9	-	5.1	3.7	3.0	-	1.6	1.2	16.4	
2019年	(6449)	50.1	24.8	19.9	14.0	9.8	6.4	7.8	4.6	-	5.0	3.5	2.3	-	1.4	1.0	18.0	

※選択肢「投資で社会を良くすることができるため（ESG投資）」「FIRE（経済的自立・早期リタイア）のため」は2021年より聴取

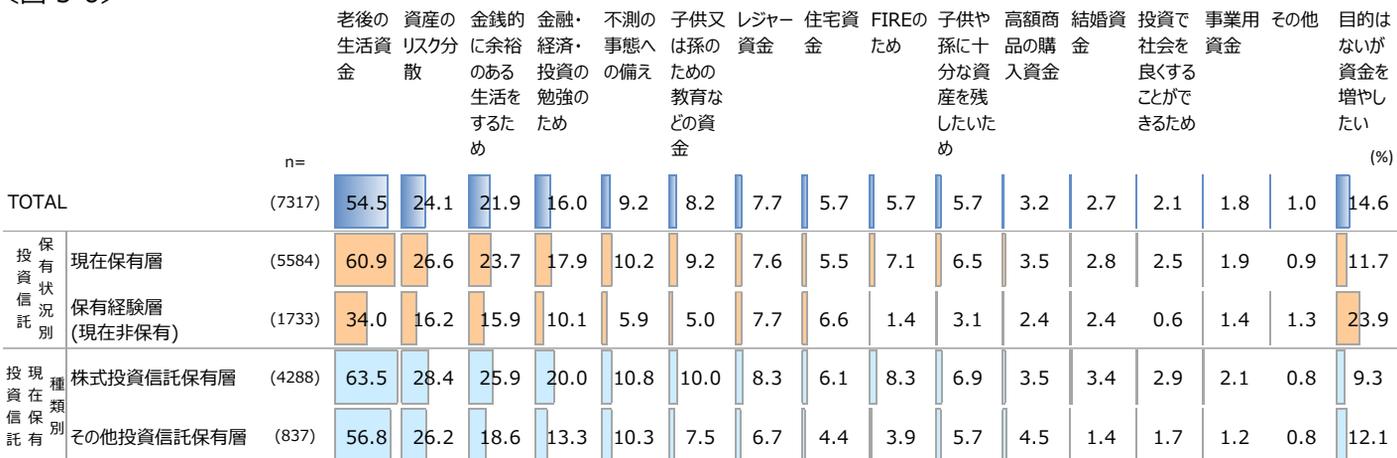
〔図 5-5〕

	n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金銭的に余裕ある生活をするため	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	住宅資金	FIREのため	子供や孫に十分な資産を残したいため	高額商品の購入	結婚資金	投資で社会を良くすることができるため	事業用資金	その他	目的はないが資金を増やしたい	(%)
TOTAL	(7317)	54.5	24.1	21.9	16.0	9.2	8.2	7.7	5.7	5.7	5.7	3.2	2.7	2.1	1.8	1.0	14.6	
性別	男性 (4470)	54.3	27.3	23.4	17.9	9.6	8.1	8.6	6.6	7.9	5.6	3.8	3.2	2.6	2.4	0.9	13.1	
	女性 (2847)	54.8	19.1	19.4	13.1	8.5	8.3	6.2	4.4	2.4	5.8	2.2	2.1	1.3	0.9	1.3	16.9	
年代別	20代 (744)	38.8	21.1	26.6	22.7	8.6	11.0	13.7	11.6	10.8	5.4	9.1	10.8	5.4	4.3	0.9	10.5	
	30代 (1112)	56.4	29.6	33.6	25.6	12.9	17.0	9.4	9.8	13.8	6.9	5.8	4.8	2.3	3.5	0.4	8.7	
	40代 (1400)	57.6	26.8	23.1	21.4	11.1	11.4	9.1	6.4	8.7	5.4	3.7	2.1	2.7	2.0	0.8	11.6	
	50代 (1198)	56.3	23.1	16.9	13.7	8.6	5.1	5.5	3.2	3.3	4.1	1.8	1.3	1.3	1.4	1.4	17.9	
	60代 (1387)	56.6	21.7	17.7	9.2	7.5	2.8	4.7	3.6	1.2	5.8	0.8	0.9	0.9	0.6	1.0	18.3	
	70代 (1476)	54.7	22.1	17.3	8.7	7.0	4.7	6.4	3.3	0.6	6.4	1.3	0.6	1.4	0.4	1.5	17.8	
世帯年収別	100万円未満 (215)	47.4	20.9	20.5	15.8	8.4	5.1	9.3	2.3	4.2	2.8	5.6	5.6	2.8	3.7	1.9	17.2	
	～300万円未満 (944)	54.0	19.1	17.8	12.7	7.9	3.4	5.8	4.8	4.6	2.9	2.1	2.1	1.2	1.1	1.4	16.9	
	～500万円未満 (1613)	56.9	23.2	21.9	15.8	9.6	7.1	7.9	5.5	6.0	4.6	3.5	2.9	1.7	1.9	1.0	12.6	
	～1000万円未満 (2590)	59.0	26.5	24.3	17.5	10.6	11.6	8.7	6.5	6.9	7.0	3.5	2.6	2.2	1.9	0.8	10.8	
	1000万円以上 (893)	52.9	32.6	27.4	20.9	10.4	10.6	8.7	7.8	6.9	9.7	4.7	3.9	4.0	2.7	0.8	12.1	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(2) 投資信託の購入目的〔Q9：重複回答〕

〔図 5-6〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（3）投資信託購入時参考情報〔Q11：重複回答〕

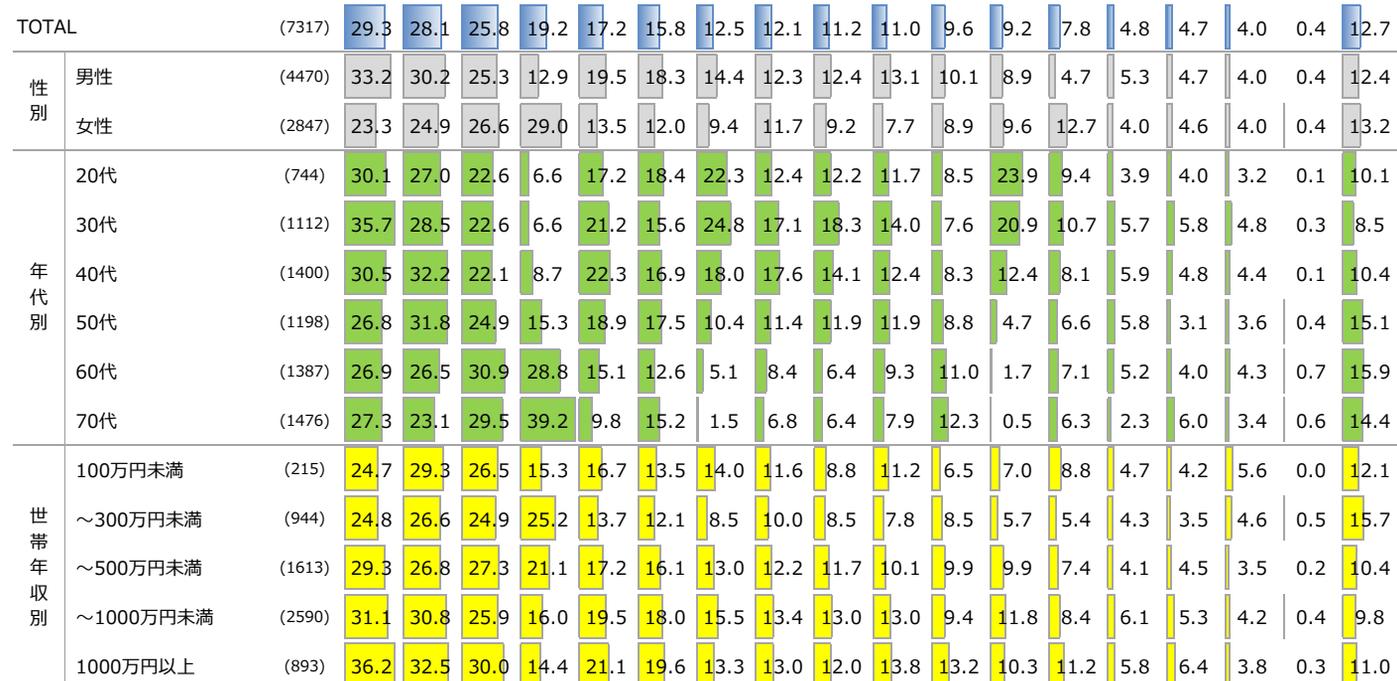
- 購入時参考情報は、「目論見書・運用報告書」(29.3%)、「投資信託を販売している会社のHP」(28.1%)、「販売用資料」(25.8%)が上位。前回より「販売用資料」が4.6ポイント減少。〔図5-7〕
- 若年層は、インターネット経由や動画、SNSからの情報が高い。一方、「金融機関の担当者の話」は高齢層ほど高い。〔図5-8〕
- 投信現在保有種類別では、株式投信保有層で「目論見書・運用報告書」が全体より5.7ポイント、その他投信保有層で「金融機関の担当者の話」が全体より9.2ポイント高い。〔図5-9〕

〔図 5-7〕



※選択肢「YouTube等の動画配信」は2021年より聴取

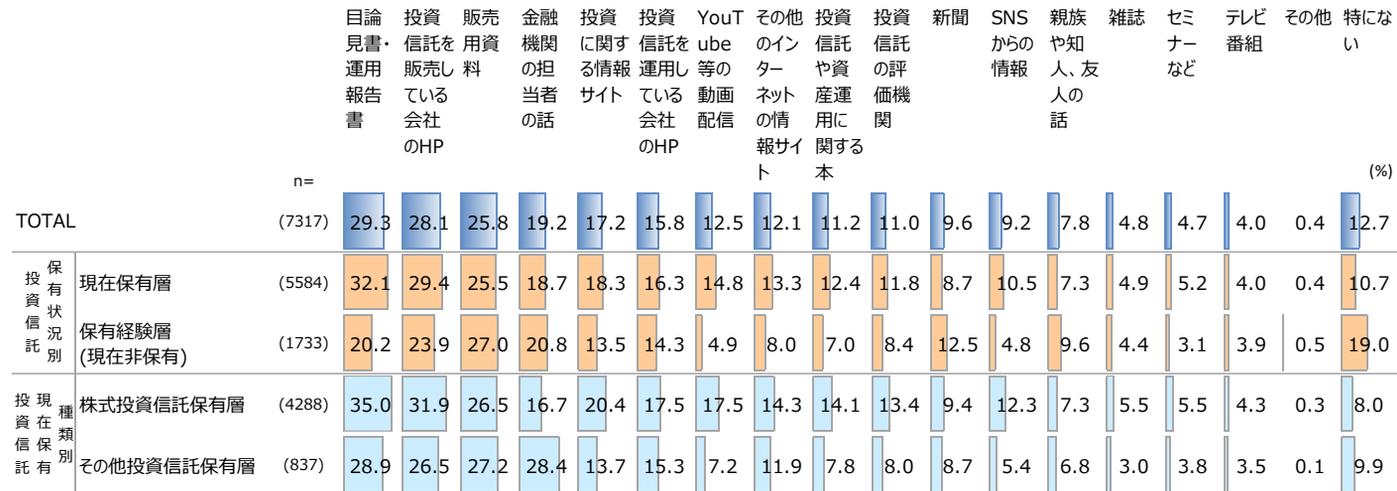
〔図 5-8〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(3) 投資信託購入時参考情報〔Q11：重複回答〕

〔図 5-9〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託購入の際の重視点〔Q10①：最大3項目回答〕

- 購入時重視点は、「過去の運用実績」(38.5%)が最も高く、次いで「値上がりへの期待」(35.1%)、「手数料や運用管理費用の水準」(26.9%)で、いずれも前回より増加。〔図5-10〕
- 年代別で見ると、「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」「少額から投資できる」は若年層ほど重視率が高い傾向。高齢層は「換金のしやすさ」「過去の分配金額」「分配頻度」が高い傾向。〔図5-11〕
- 投信保有経験層では「値下がりへの不安が少ない」が高い。また、株式投信保有層では「過去の運用実績」「値上がりへの期待」「手数料や運用管理費用の水準」が他層に比べて高い。〔図5-12〕

〔図 5-10〕

	n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	手数料や運用管理費用の水準	値下がりへの不安が少ない	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	純資産の大きさ	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない	(%)
2021年	(7317)	38.5	35.1	26.9	25.4	18.7	9.5	9.0	8.8	7.7	6.9	5.7	4.0	3.5	0.5	11.5	
2020年	(6626)	37.1	32.9	23.7	26.6	18.7	11.0	10.6	10.6	7.1	8.2	5.9	4.7	3.5	0.7	11.9	
2019年	(6449)	35.2	33.8	22.6	26.5	17.6	10.8	11.4	10.4	6.2	10.1	5.6	4.7	2.9	0.4	12.8	

〔図 5-11〕

		n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	手数料や運用管理費用の水準	値下がりへの不安が少ない	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	純資産の大きさ	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(7317)	38.5	35.1	26.9	25.4	18.7	9.5	9.0	8.8	7.7	6.9	5.7	4.0	3.5	0.5	11.5	
性別	男性	(4470)	42.9	36.6	28.3	22.6	16.6	9.4	8.4	8.5	8.6	6.8	6.5	3.9	2.9	0.4	10.6	
	女性	(2847)	31.5	32.7	24.6	29.9	22.1	9.5	9.8	9.3	6.3	7.1	4.4	4.2	4.5	0.6	12.9	
年代別	20代	(744)	45.3	32.8	26.5	23.7	17.2	10.1	6.6	7.1	6.2	4.7	5.1	2.6	3.2	0.1	9.8	
	30代	(1112)	45.2	36.6	37.9	23.9	21.7	6.8	7.6	5.8	10.3	4.3	5.2	4.3	2.3	0.1	7.3	
	40代	(1400)	39.4	33.4	35.0	25.3	20.4	7.6	7.9	6.1	10.1	5.8	5.6	3.0	2.8	0.4	9.1	
	50代	(1198)	35.4	34.1	30.1	24.0	19.9	8.0	10.8	8.1	7.3	5.9	5.5	4.5	2.2	0.5	14.1	
	60代	(1387)	36.1	34.5	18.8	27.8	17.2	10.0	11.1	11.1	6.6	7.6	7.2	4.7	4.3	0.8	13.8	
	70代	(1476)	33.7	38.1	16.1	26.6	16.1	13.5	8.7	12.8	5.6	11.0	5.3	4.6	5.4	0.7	13.6	
世帯年収別	100万円未満	(215)	40.0	27.9	13.0	27.9	14.4	11.2	7.0	6.0	4.7	6.5	5.1	2.8	3.3	1.9	15.3	
	～300万円未満	(944)	35.4	35.1	21.0	27.3	19.6	11.7	9.5	9.2	6.3	8.7	5.3	4.4	3.0	0.5	12.5	
	～500万円未満	(1613)	36.1	37.3	27.8	25.5	20.6	11.0	8.7	9.7	7.7	7.8	5.8	3.7	4.4	0.6	9.2	
	～1000万円未満	(2590)	42.0	36.3	29.9	25.9	20.1	8.5	9.2	8.5	9.3	6.3	5.6	4.0	2.9	0.4	8.9	
	1000万円以上	(893)	45.2	38.4	32.1	23.6	13.7	7.3	8.4	9.1	8.4	6.6	7.5	5.3	4.0	0.3	8.7	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託購入の際の重視点〔Q10①：最大3項目回答〕

〔図 5-12〕

		n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	手数料や運用管理費用の水準	値下がりの不安が少ない	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	純資産の大きさ	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL		(7317)	38.5	35.1	26.9	25.4	18.7	9.5	9.0	8.8	7.7	6.9	5.7	4.0	3.5	0.5	11.5
投資信託 保有状況別	現在保有層	(5584)	39.7	36.3	30.2	23.6	19.5	8.3	8.8	8.5	9.3	7.0	6.3	4.2	3.6	0.4	9.7
	保有経験層 (現在非保有)	(1733)	34.5	31.2	16.2	31.2	16.0	13.3	9.3	9.8	2.6	6.3	3.8	3.4	3.1	0.7	17.3
投資信託 種類別	株式投資信託保有層	(4288)	43.1	39.1	33.4	22.7	20.1	8.1	8.8	8.1	10.4	6.5	6.8	4.5	3.6	0.3	6.7
	その他投資信託保有層	(837)	35.1	30.8	23.7	29.4	17.9	9.1	10.5	11.9	7.4	10.6	5.6	3.9	4.5	0.4	10.2

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）今後、投資信託購入の際に重視したい点 〔Q10②：最大3項目回答〕

- 今後の重視点では、「値上がりへの期待」(31.0%)、「過去の運用実績」(29.2%)、「手数料や運用管理費用の水準」(23.6%) が続く。
購入時重視点（〔図5-10〕）と比べて、「値上がりへの期待」の順位が上がる。
- 年代別でみると、若年層ほど「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」「少額から投資できる」が高くなる傾向。〔図5-14〕
- 株式投信保有層では、「値上がりへの期待」「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」が他層より高い。〔図5-15〕

〔図 5-13〕

	n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	値下がり不安が少くない	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	純資産額の大きさ	過去の分配金額	商品コンセプト	分配頻度	社会性が高い企業が投資先	評価会社による評価	その他	わからない・特にない	(%)
2021年	(7317)	31.0	29.2	23.6	22.1	12.6	7.3	7.0	6.3	6.2	5.6	4.7	4.3	3.2	0.4	14.9	
2020年	(6626)	26.4	26.9	19.8	23.2	12.4	8.1	8.3	5.8	6.6	5.5	5.6	4.2	4.2	0.7	15.5	
2019年	(6449)	26.5	24.7	19.3	23.2	11.4	8.0	8.3	5.0	6.8	5.4	6.3	3.2	3.6	0.5	17.4	

〔図 5-14〕

		n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	値下がり不安が少くない	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	純資産額の大きさ	過去の分配金額	商品コンセプト	分配頻度	社会性が高い企業が投資先	評価会社による評価	その他	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(7317)	31.0	29.2	23.6	22.1	12.6	7.3	7.0	6.3	6.2	5.6	4.7	4.3	3.2	0.4	14.9	
性別	男性	(4470)	32.3	32.3	24.8	19.4	11.1	6.8	6.4	6.9	6.0	6.6	4.8	3.8	3.2	0.3	13.8	
	女性	(2847)	29.1	24.4	21.7	26.2	15.1	8.0	7.9	5.3	6.6	4.1	4.5	5.0	3.3	0.5	16.7	
年代別	20代	(744)	29.3	35.3	23.3	20.0	13.0	8.6	4.3	6.0	5.4	5.2	4.2	5.0	1.9	0.0	10.8	
	30代	(1112)	35.1	34.5	33.0	20.1	14.2	5.4	5.6	9.0	4.9	5.9	3.7	4.0	3.8	0.1	8.4	
	40代	(1400)	31.4	32.0	31.4	20.9	14.4	5.9	7.0	8.1	4.5	5.6	3.4	3.6	2.6	0.3	10.5	
	50代	(1198)	30.6	27.5	25.0	21.3	13.9	6.3	8.5	5.6	5.9	5.2	4.2	2.9	3.5	0.5	16.3	
	60代	(1387)	28.7	26.1	17.3	23.9	11.2	7.8	7.9	4.8	7.9	5.8	4.3	5.3	3.7	0.4	18.7	
	70代	(1476)	31.1	23.8	14.0	24.5	10.0	9.8	7.3	4.5	7.8	5.7	7.7	4.9	3.3	0.8	21.5	
世帯年収別	100万円未満	(215)	19.5	33.5	14.4	27.9	12.1	8.4	5.6	3.3	5.1	3.7	2.8	2.3	0.9	0.9	20.9	
	～300万円未満	(944)	29.3	25.4	18.9	24.0	14.9	9.7	7.3	4.8	5.8	5.5	5.7	3.8	3.3	0.3	19.2	
	～500万円未満	(1613)	30.8	28.5	25.2	22.9	13.1	8.0	7.6	6.7	6.9	5.3	5.2	4.0	3.0	0.3	13.4	
	～1000万円未満	(2590)	33.6	31.8	25.2	21.7	13.2	6.9	7.3	7.1	6.1	5.6	4.8	4.4	3.2	0.4	10.7	
	1000万円以上	(893)	35.9	33.0	27.3	20.9	9.0	4.8	6.3	7.7	7.2	7.7	4.6	5.6	3.6	0.6	10.0	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(4) 今後、投資信託購入の際に重視したい点 〔Q10②：最大3項目回答〕

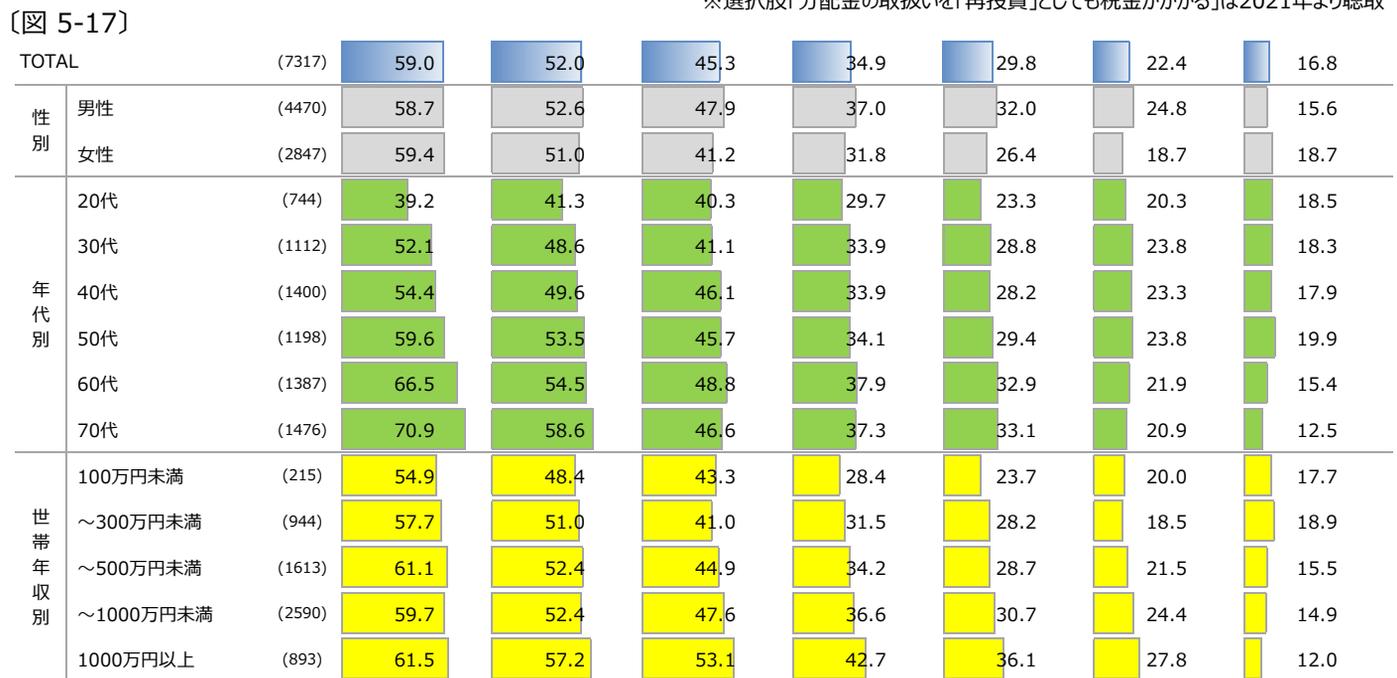
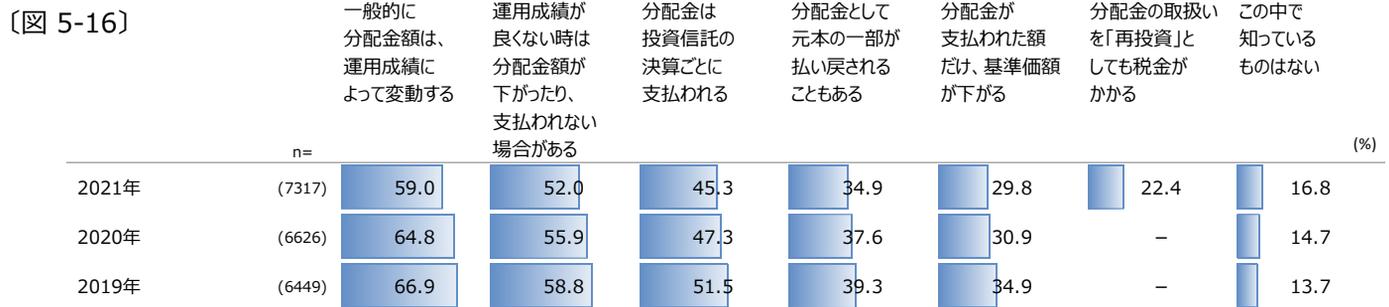
〔図 5-15〕

		n=	値上が りへの期 待	過去の 運用実 績	手数料 や運用 管理費 用の水 準	値下が りの不 安が少 ない	少額か ら投資 できる	換金の しやす さ	商品内 容のわ かりやす さ	純資産 額の 大き さ	過去の 分配金 額	商品コ ンセプ ト	分配頻 度	社会性 が高い 企業が 投資先	評価会 社による 評価	その他	わから ない・特 にない	(%)
TOTAL		(7317)	31.0	29.2	23.6	22.1	12.6	7.3	7.0	6.3	6.2	5.6	4.7	4.3	3.2	0.4	14.9	
投資 信託 保有 状況 別	現在保有層	(5584)	33.2	30.4	26.5	20.8	13.3	6.5	7.0	7.5	6.2	6.2	4.8	4.8	3.3	0.3	11.3	
	保有経験層 (現在非保有)	(1733)	24.1	25.4	14.1	26.1	10.7	9.9	6.9	2.4	6.2	3.7	4.3	2.7	2.9	0.6	26.4	
投資 信託 種類 別	株式投資信託保有層	(4288)	36.0	33.1	29.1	20.0	13.5	6.3	6.9	8.5	6.2	6.8	4.8	5.1	3.4	0.2	8.1	
	その他投資信託保有層	(837)	26.9	26.8	21.1	26.0	11.8	7.6	9.0	5.6	7.9	5.1	6.2	4.5	2.7	0.7	11.7	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(5) 分配金の特徴認知状況〔Q13:重複回答〕

- 分配金の特徴認知は、「運用成績によって変動する」(59.0%)が最も高く、次いで「運用成績が良くない時は分配金額が下がったり、支払われない場合がある」(52.0%)、「分配金は投資信託の決算ごとに支払われる」(45.3%)が続く。〔図5-16〕
- 「運用成績によって変動する」「運用成績が良くない時は分配金額が下がったり、支払われない場合がある」は年代が高いほど認知率が高い。〔図5-17〕
- 現在投信保有層と毎月分配型投信の現在保有層は、いずれの特徴でも認知率が高いが、「分配金の取扱いを「再投資」としても税金がかかる」は2割にとどまる。〔図5-18、図5-19〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(5) 分配金の特徴認知状況（毎月分配型保有者）〔Q13:重複回答〕

〔図 5-19〕

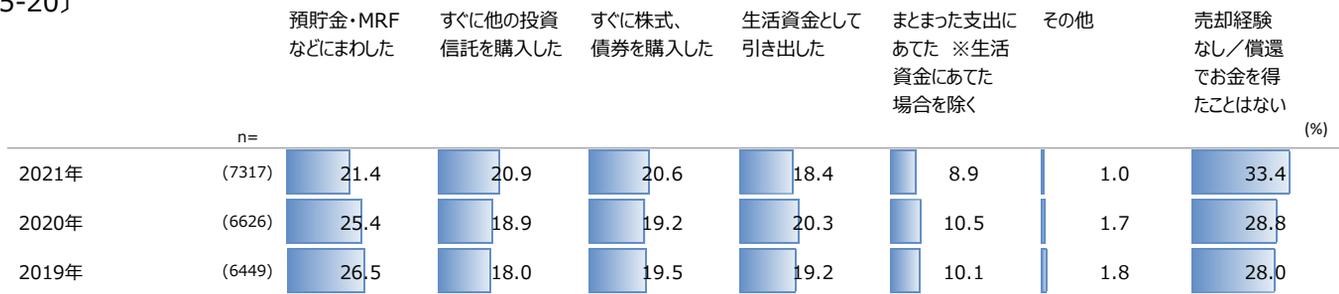


5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

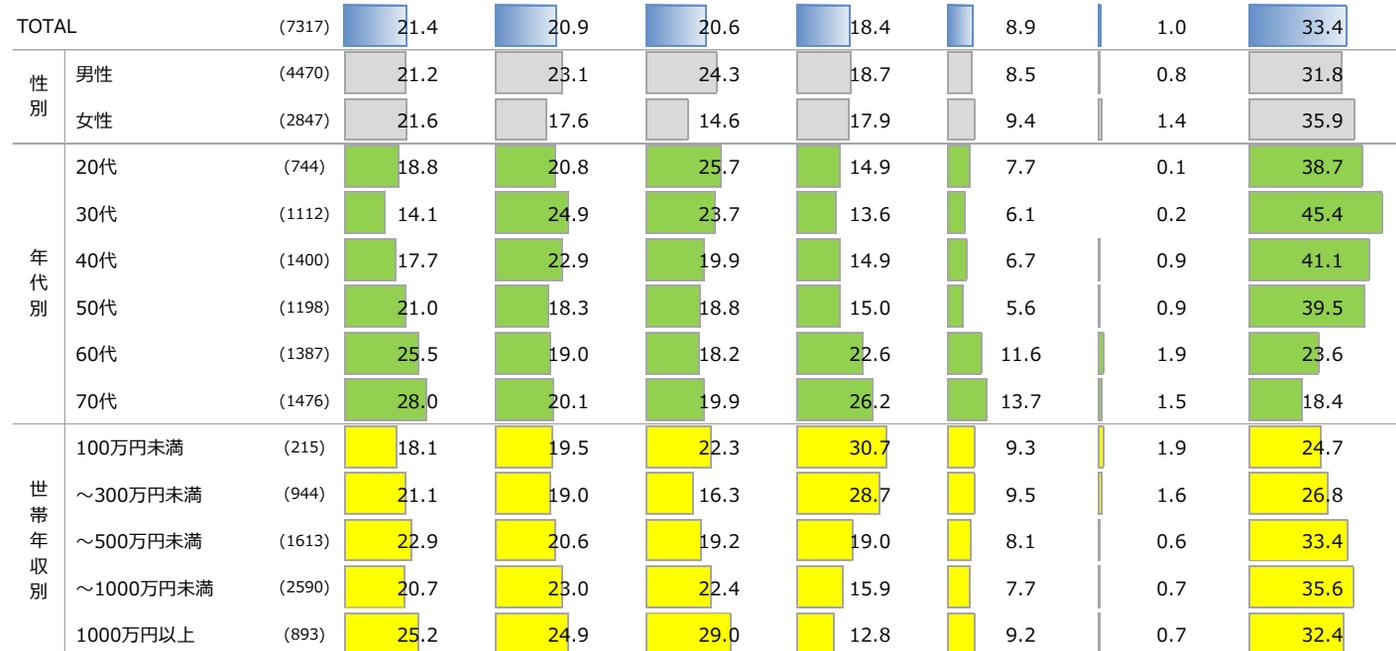
（6）償還・売却資金の流出先〔Q14:重複回答〕

- 投資信託の償還・売却資金流出先は、「預貯金・MRFなどにまわした」(21.4%)が最も高いが、「売却経験なし／償還でお金を得たことはない」も33.4%と高い。〔図5-20〕
- 年代別で見ると、高齢層ほど「預貯金・MRF」「生活資金」「まとまった支出」が増加する傾向。「すぐに他の投資信託購入」「すぐに株式・債券を購入」は若年層で高い傾向。〔図5-21〕
- 現在投信保有層は、「すぐに他の投資信託購入」が他層より高い。〔図5-22〕

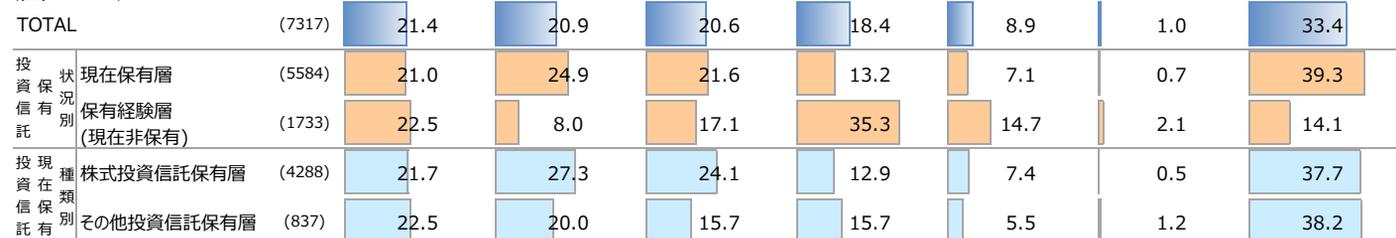
〔図 5-20〕



〔図 5-21〕



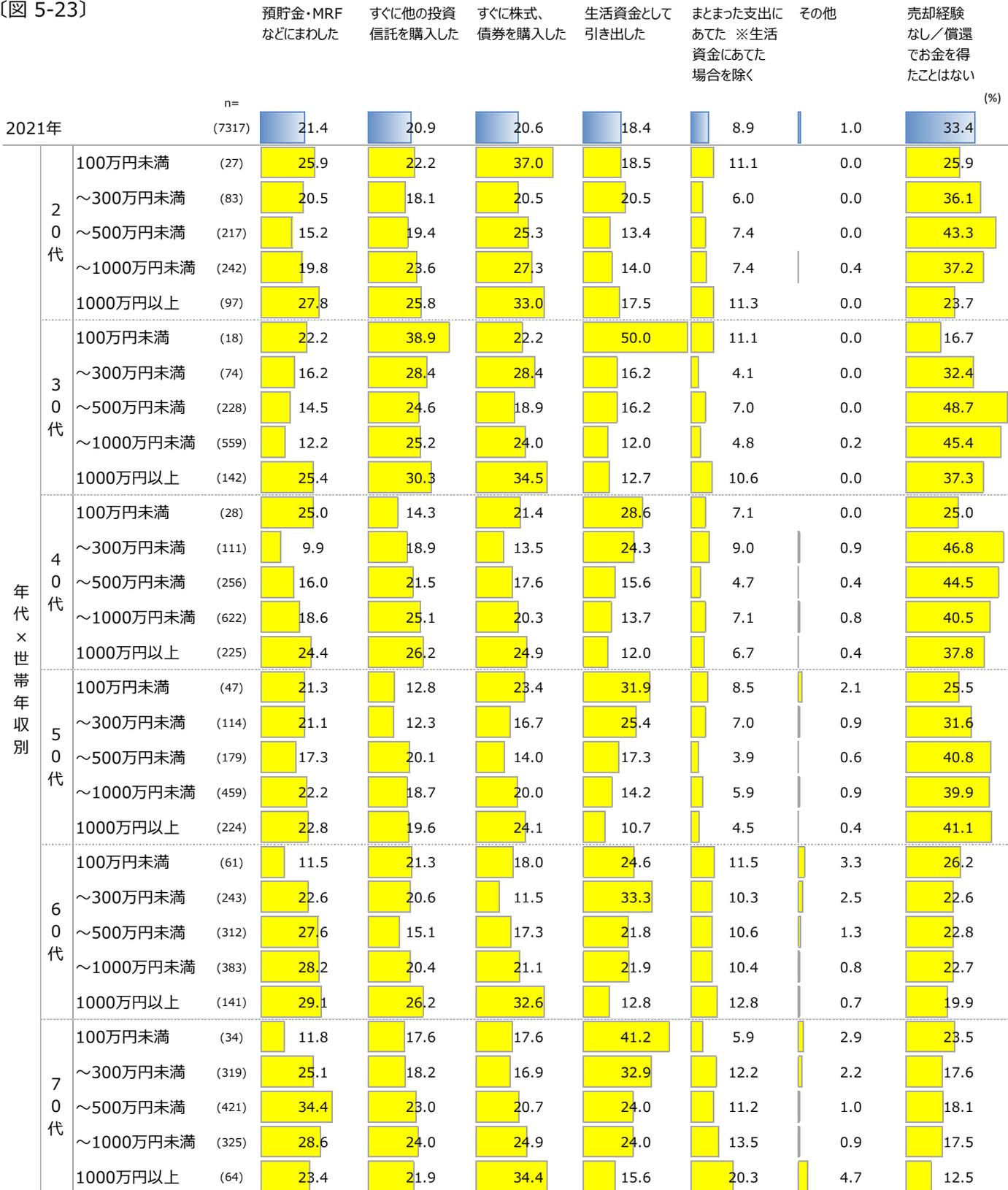
〔図 5-22〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(6) 償還・売却資金の流出先〔Q14:重複回答〕

〔図 5-23〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（7）投資信託の優れていると感じる点〔Q15①：重複回答〕

- 魅力点上位は前回と変わらず「少額でも分散投資ができる」(56.6%)、「専門知識や時間がなくても投資ができる」(37.0%)が続く。「積立投資ができる」(35.0%)は前回より4.4ポイント増加。〔図5-24〕
- 年代別で見ると、若年層ほど「少額でも分散投資ができる」「積立投資ができる」「少額でも投資の面白味がある」「手数料が比較的安い」が高い傾向がみられ、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる傾向。〔図5-25〕
- 投信現在保有層は投信保有経験層に比べて各項目で高いが、中でも「少額でも分散投資ができる」「専門知識がなくても投資ができる」「積立投資ができる」「分配金が自動的に再投資される商品がある」「外国への投資が手軽にできる」が10ポイント以上高い。〔図5-26〕

〔図 5-24〕

	n=	少額でも分散投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	少額でも投資の面白味がある	比較的高い利回り期待できる	定期的に分配金が受け取れる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が	その他	わからない・特にない	(%)
2021年	(7317)	56.6	37.0	35.0	25.0	23.8	23.3	21.7	20.8	20.8	19.2	17.2	7.9	0.2	14.4	
2020年	(6626)	53.0	35.0	30.6	22.5	22.9	23.1	22.1	20.3	19.8	14.4	13.7	7.7	0.2	16.5	
2019年	(6449)	49.2	32.0	26.3	22.2	21.9	22.8	25.2	19.3	18.9	11.1	11.6	7.0	0.2	18.6	

〔図 5-25〕

※選択肢「外国への投資が手軽にできる」、2019年は「海外投資が手軽にできる」で聴取

	n=	少額でも分散投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	少額でも投資の面白味がある	比較的高い利回り期待できる	定期的に分配金が受け取れる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が	その他	わからない・特にない	(%)
TOTAL	(7317)	56.6	37.0	35.0	25.0	23.8	23.3	21.7	20.8	20.8	19.2	17.2	7.9	0.2	14.4	
性別																
男性	(4470)	59.2	36.4	36.0	24.7	24.8	23.2	20.2	22.1	22.1	20.9	17.9	8.7	0.2	13.2	
女性	(2847)	52.6	37.9	33.5	25.4	22.2	23.5	24.1	18.8	18.8	16.4	16.0	6.8	0.1	16.2	
年代別																
20代	(744)	63.0	32.8	36.4	19.5	25.1	20.0	9.9	18.3	13.0	13.8	16.3	7.8	0.3	9.0	
30代	(1112)	68.3	37.9	47.5	27.4	28.1	22.9	14.1	21.4	20.7	21.9	24.1	7.6	0.4	7.9	
40代	(1400)	66.1	38.2	42.6	26.0	29.0	20.8	13.9	21.2	21.0	23.1	22.6	7.8	0.1	11.1	
50代	(1198)	58.1	36.4	34.6	25.5	22.3	23.3	17.2	22.2	22.1	21.0	19.2	8.1	0.1	15.1	
60代	(1387)	49.0	36.9	28.4	24.6	20.3	24.3	28.5	20.4	21.5	17.0	12.8	7.3	0.2	18.5	
70代	(1476)	41.6	37.7	24.3	24.8	19.4	26.6	38.1	20.5	22.8	16.7	9.7	8.8	0.1	20.7	
世帯年収別																
100万円未満	(215)	55.3	31.6	25.1	18.1	19.5	14.9	18.1	14.9	15.8	17.2	13.0	5.6	0.0	16.7	
～300万円未満	(944)	49.7	34.5	26.9	24.3	23.1	22.5	26.6	18.8	18.8	17.3	14.2	7.2	0.4	18.1	
～500万円未満	(1613)	56.4	40.0	36.0	26.0	22.8	22.5	23.8	22.0	21.7	20.1	18.0	8.7	0.1	12.3	
～1000万円未満	(2590)	62.5	39.0	40.8	27.4	27.4	26.3	20.3	21.6	21.7	20.9	19.6	8.3	0.3	9.9	
1000万円以上	(893)	61.0	39.2	39.6	26.3	25.0	25.4	19.0	25.9	24.3	22.8	18.3	9.7	0.0	10.6	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（7）投資信託の優れていると感じる点〔Q15①：重複回答〕

〔図 5-26〕

		n=	少額でも分散投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	少額でも投資の面白味がある	比較的高い利回りが期待できる	定期的に分配金を受け取れる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(7317)	56.6	37.0	35.0	25.0	23.8	23.3	21.7	20.8	20.8	19.2	17.2	7.9	0.2	14.4	
投資信託 保有状況別	現在保有層	(5584)	61.4	39.3	39.7	26.6	25.5	24.6	21.2	22.3	23.3	22.2	19.4	8.6	0.2	10.6	
	保有経験層 (現在非保有)	(1733)	41.3	29.3	20.1	19.7	18.2	19.1	23.3	16.0	12.6	9.4	10.0	5.8	0.1	26.7	
投資信託 種類別	株式投資信託保有層	(4288)	65.6	40.6	42.8	28.5	27.9	26.0	20.5	24.0	24.9	25.1	21.9	9.1	0.2	7.4	
	その他投資信託保有層	(837)	52.4	41.5	33.8	24.4	19.7	23.8	27.8	21.5	22.5	16.0	13.1	7.9	0.2	10.9	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（7）投資信託で特に魅力を感じる点〔Q15②：単数回答〕

- 投資信託で特に魅力を感じる点としては、「少額でも分散投資ができる」(25.5%)、「専門知識や時間がなくても投資できる」(13.9%)が上位にあがる。〔図5-27〕
- 年代別では、若年層ほど「少額でも分散投資ができる」「積立投資ができる」が高く、高齢層ほど「比較的高い利回りが期待できる」「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる傾向。〔図5-28〕
- 投信現在保有層、株式投信保有層では、「少額でも分散投資ができる」が高く、その他投信保有層では「専門知識や時間がなくても投資ができる」「定期的に分配金が受け取れる」が高い。〔図5-29〕

〔図 5-27〕

	n=	少額でも分散投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	積立投資ができる	比較的高い利回りが期待できる	定期的に分配金が受け取れる	少額でも投資の面白味がある	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	手数料が比較的安い	外国への投資が手軽にできる	分配金が自動的に再投資される商品がある	購入手続きが簡単である	購入後の運用に関する情報が多	その他	わからない・特にない	(%)
2021年	(7317)	25.5	13.9	9.5	8.6	6.4	5.1	4.0	3.5	2.7	2.4	2.1	0.7	0.1	15.4	
2020年	(6626)	24.3	12.9	8.4	9.4	7.4	5.9	3.7	2.6	1.9	2.7	2.3	0.9	0.2	17.6	
2019年	(6449)	23.2	12.3	6.9	9.4	9.2	6.1	3.2	2.5	1.6	2.1	2.3	0.8	0.2	20.0	

※「外国への投資が手軽にできる」、2019年は「海外投資が手軽にできる」で聴取

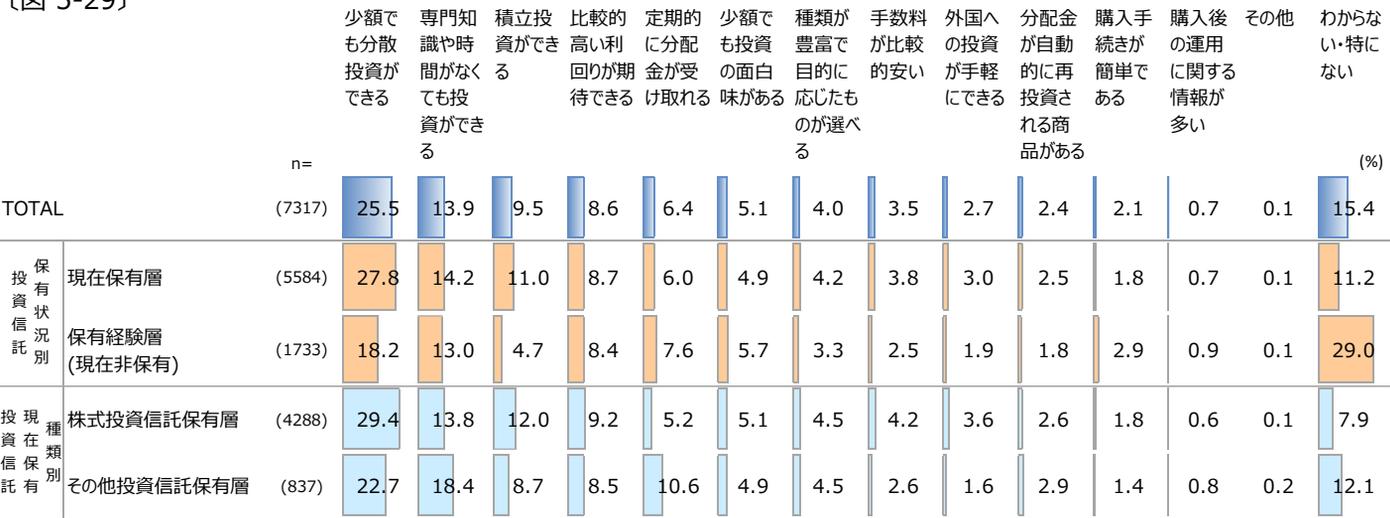
〔図 5-28〕

TOTAL	(7317)	25.5	13.9	9.5	8.6	6.4	5.1	4.0	3.5	2.7	2.4	2.1	0.7	0.1	15.4	
性別	男性	(4470)	27.9	13.0	9.7	8.3	5.2	5.5	4.4	3.7	3.2	2.4	1.9	0.8	0.1	14.0
	女性	(2847)	21.8	15.4	9.2	9.1	8.3	4.5	3.4	3.2	2.1	2.4	2.3	0.6	0.1	17.5
年代別	20代	(744)	35.5	14.1	11.7	6.7	2.0	5.8	3.5	4.0	1.5	2.0	2.6	1.3	0.1	9.1
	30代	(1112)	35.0	12.3	14.0	6.5	1.6	5.8	4.1	4.5	2.9	2.3	1.5	1.1	0.2	8.1
	40代	(1400)	30.4	13.4	13.4	5.9	3.5	6.0	3.1	5.0	3.6	1.9	2.1	0.4	0.1	11.3
	50代	(1198)	26.4	12.7	9.1	9.3	4.2	4.3	4.5	3.8	4.0	2.1	2.7	0.6	0.1	16.4
	60代	(1387)	19.3	15.9	6.9	11.0	8.3	4.5	4.1	2.5	2.3	2.8	1.5	0.5	0.2	20.1
	70代	(1476)	13.8	14.7	4.2	11.0	15.0	4.7	4.4	1.8	1.9	2.8	2.2	0.7	0.1	22.7
世帯年収別	100万円未満	(215)	36.7	11.6	4.7	3.7	6.5	6.0	0.9	1.9	5.6	0.5	1.4	0.5	0.0	20.0
	～300万円未満	(944)	22.4	14.6	6.0	10.1	8.2	5.7	3.3	2.9	2.5	2.0	1.9	0.8	0.3	19.3
	～500万円未満	(1613)	23.9	16.2	9.3	9.1	7.5	4.8	3.8	2.9	3.1	2.8	1.9	1.1	0.1	13.6
	～1000万円未満	(2590)	27.4	13.9	11.9	8.8	5.5	5.8	4.0	4.4	2.6	2.6	2.0	0.5	0.2	10.5
	1000万円以上	(893)	27.7	13.0	11.0	8.7	3.5	4.5	6.9	3.7	3.2	2.9	3.0	0.8	0.0	11.1

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（7）投資信託で特に魅力を感じる点〔Q15②：単数回答〕

〔図 5-29〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（8）投資信託で不満に感じる点〔Q16①：重複回答〕

- 不満点は、「仕組みや運用手法がわかりにくい」(24.4%)、「手数料が比較的高い」(24.2%)、「リターンが低い」(20.6%)、「専門知識がないと商品を選びにくい」(20.5%)が上位。〔図5-30〕
- 「手数料が比較的高い」「専門知識がないと商品を選びにくい」「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」「公社債に比べてリスクが高い」は高齢層ほど高い傾向。〔図5-31〕
- 株式投信保有層では、他層に比べて「株式に比べて面白さに欠ける」「金融機関によって取り扱っていない商品がある」がやや高い。〔図5-32〕

〔図 5-30〕

	n=	仕組みや運用手法がわかりにくい	手数料が比較的高い	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	公社債に比べてリスクが高い	金融機関によって取り扱っていない商品がある	購入後の運用に関する情報が少ない	クローズド期間がある	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな	(%)
2021年	(7317)	24.4	24.2	20.6	20.5	19.0	18.1	16.2	12.7	11.7	11.1	7.8	7.4	0.7	22.4	
2020年	(6626)	27.9	27.2	23.5	22.5	25.9	18.0	16.1	15.7	-	12.0	8.3	7.1	0.7	19.1	
2019年	(6449)	27.4	29.3	25.8	21.9	27.7	16.6	16.8	17.0	-	11.3	7.4	7.1	0.5	19.1	

※選択肢「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」は、2020年まで「元本保証がない」で聴取
 ※「金融機関によって取り扱っていない商品がある」は、2021年より聴取

〔図 5-31〕

	n=	仕組みや運用手法がわかりにくい	手数料が比較的高い	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	公社債に比べてリスクが高い	金融機関によって取り扱っていない商品がある	購入後の運用に関する情報が少ない	クローズド期間がある	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(7317)	24.4	24.2	20.6	20.5	19.0	18.1	16.2	12.7	11.7	11.1	7.8	7.4	0.7	22.4	
性別																
男性	(4470)	22.0	24.0	21.8	16.2	15.4	16.1	19.0	11.4	11.7	10.9	8.3	6.9	0.8	23.6	
女性	(2847)	28.1	24.6	18.6	27.2	24.7	21.3	11.7	14.6	11.8	11.3	7.2	8.1	0.5	20.5	
年代別																
20代	(744)	24.1	14.7	19.9	18.4	7.9	12.9	16.0	10.3	8.5	10.6	9.1	9.4	0.4	24.2	
30代	(1112)	20.9	16.6	20.0	16.8	10.7	16.1	18.5	7.3	13.1	10.6	8.0	7.3	0.7	23.7	
40代	(1400)	21.4	18.5	21.6	19.0	13.4	16.5	17.1	7.9	14.3	8.6	7.9	8.9	1.0	23.3	
50代	(1198)	23.5	24.9	20.4	18.9	18.4	19.2	12.6	12.3	11.8	9.5	7.8	8.1	1.1	24.2	
60代	(1387)	26.6	32.0	21.7	22.0	25.7	20.2	13.8	16.1	11.4	10.9	8.0	7.3	0.5	19.8	
70代	(1476)	28.7	32.5	19.5	25.6	30.2	20.9	18.8	19.5	10.2	15.3	6.9	4.4	0.5	20.6	
世帯年収別																
100万円未満	(215)	31.2	20.5	20.0	18.1	14.9	12.6	17.7	16.3	10.2	11.2	5.1	6.5	1.4	20.5	
～300万円未満	(944)	28.2	26.9	21.7	22.5	23.6	20.0	14.9	14.3	10.4	11.9	7.0	6.8	0.8	20.8	
～500万円未満	(1613)	25.2	25.1	20.1	21.7	22.5	20.1	16.5	13.0	13.0	12.2	8.1	7.3	0.6	19.7	
～1000万円未満	(2590)	24.1	23.5	20.8	20.8	17.1	17.8	18.1	11.5	11.6	11.5	8.5	8.3	0.8	20.6	
1000万円以上	(893)	20.5	24.2	23.5	16.7	14.9	15.0	16.3	14.3	12.7	9.4	8.7	7.4	0.8	22.6	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(8) 投資信託で不満に感じる点〔Q16①：重複回答〕

〔図 5-32〕

		仕組み や運用 手法が わかりに くい	手数料 が比較 的高い	リターン が低い	専門知 識がない と商品選 びにくい	高い利 回りを期 待できる 一方で 元本保 証がない	種類が 多く選択 に迷う	株式に 比べて 面白さに 欠ける	公社債 に比べて リスクが 高い	金融機 関によつ て取り扱 っていない 商品がある	購入後 の運用に 関する情 報が少な い	クローズ ド期間が ある	手続きが わずらわ しい	その他	わからな い・特に ない	(%)
TOTAL		(7317)	24.4	24.2	20.6	20.5	19.0	18.1	16.2	12.7	11.7	11.1	7.8	7.4	0.7	22.4
保有 状況 別 投資 信託	現在保有層	(5584)	23.5	23.2	19.4	19.5	18.3	18.8	16.1	11.2	13.4	10.7	7.6	7.0	0.8	22.7
	保有経験層 (現在非保有)	(1733)	27.1	27.6	24.5	23.7	21.2	15.8	16.5	17.4	6.3	12.2	8.7	8.5	0.3	21.4
現在 保有 種類 別 投資 信託	株式投資信託保有層	(4288)	23.0	23.3	20.5	19.1	17.6	19.0	17.8	10.9	14.6	10.9	8.1	7.1	0.9	21.4
	その他投資信託保有層	(837)	27.5	25.9	17.9	22.1	24.1	20.9	13.1	13.9	11.5	12.8	7.3	7.0	0.6	19.7

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（8）投資信託で特に不満を感じる点〔Q16②：単数回答〕

- 投信で特に不満を感じる点は、「手数料が比較的高い」(13.1%)、「仕組みや運用手法がわかりにくい」(10.6%)、「リターンが低い」(9.2%)が上位。〔図5-33〕
- 年代別で見ると、高齢層ほど「手数料が比較的高い」「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」が増加する。また、若年層では「リターンが低い」「金融機関によって取り扱っていない商品がある」が高い傾向。〔図5-34〕
- 株式投信保有層では、「株式に比べて面白さに欠ける」「金融機関によって取り扱っていない商品がある」「クローズが期間がある」が他層より高い。〔図5-35〕

〔図 5-33〕

	n=	手数料が比較的高い	仕組みや運用手法がわかりにくい	リターンが低い	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	公社債に比べてリスクが高い	金融機関によって取り扱っていない商品がある	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズ期間がある	その他	わからない・特にな	(%)
2021年	(7317)	13.1	10.6	9.2	8.7	7.4	6.1	5.8	4.2	3.5	3.1	2.5	1.7	0.6	23.5	
2020年	(6626)	14.1	10.6	10.4	14.0	7.4	6.0	5.0	4.6	—	3.2	2.1	2.2	0.7	19.8	
2019年	(6449)	14.7	9.7	11.0	15.2	6.8	6.1	4.4	5.6	—	2.8	1.8	1.5	0.4	19.7	

※選択肢「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」は、2020年まで「元本保証がない」で聴取
 ※「金融機関によって取り扱っていない商品がある」は、2021年より聴取

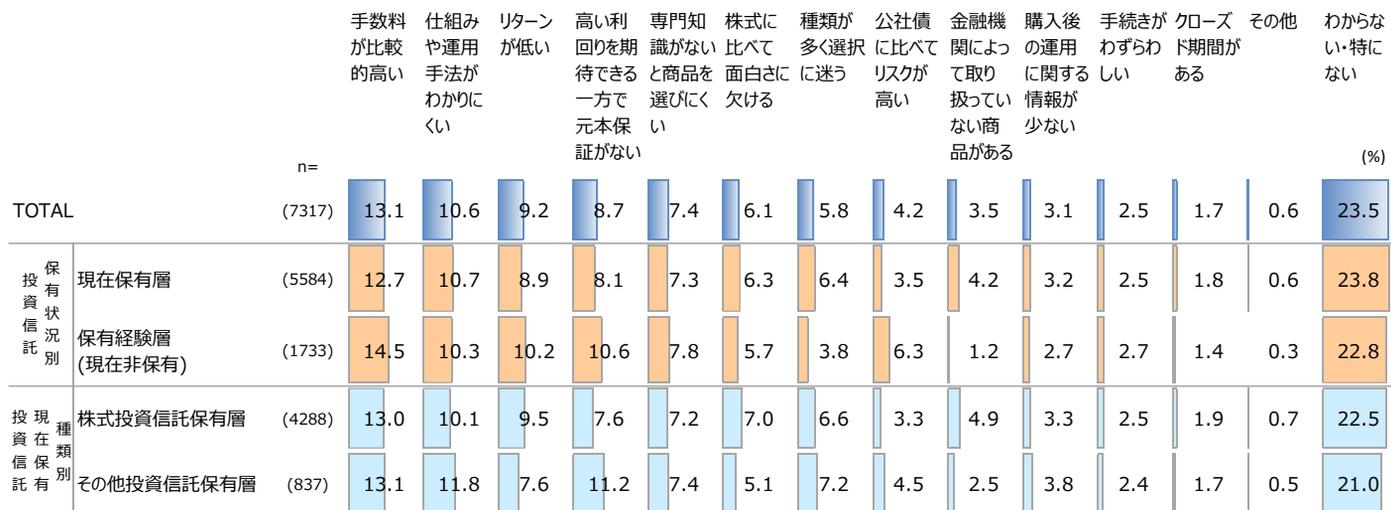
〔図 5-34〕

	n=	手数料が比較的高い	仕組みや運用手法がわかりにくい	リターンが低い	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	公社債に比べてリスクが高い	金融機関によって取り扱っていない商品がある	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズ期間がある	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(7317)	13.1	10.6	9.2	8.7	7.4	6.1	5.8	4.2	3.5	3.1	2.5	1.7	0.6	23.5	
性別																
男性	(4470)	13.8	10.0	10.4	6.6	6.0	7.6	5.5	3.6	3.7	3.1	2.7	1.9	0.6	24.6	
女性	(2847)	12.1	11.4	7.2	11.9	9.7	3.9	6.1	5.1	3.2	3.2	2.4	1.4	0.5	21.9	
年代別																
20代	(744)	7.3	16.0	10.3	3.4	6.6	6.7	6.2	4.4	3.6	4.2	4.2	2.4	0.3	24.5	
30代	(1112)	9.6	9.8	10.2	4.9	8.4	7.6	6.7	3.2	6.4	3.3	2.8	2.3	0.5	24.4	
40代	(1400)	9.6	11.0	11.6	6.1	7.9	7.5	5.6	2.9	4.8	3.0	3.3	1.7	0.8	24.2	
50代	(1198)	14.5	8.8	9.1	9.0	6.3	4.9	6.8	4.5	2.8	2.4	2.8	2.1	0.9	25.0	
60代	(1387)	17.2	10.2	8.1	11.8	7.7	4.3	5.8	5.0	2.5	2.3	2.0	1.2	0.4	21.4	
70代	(1476)	17.1	9.7	6.7	13.4	7.2	6.2	4.2	4.8	1.6	3.8	1.2	1.1	0.4	22.6	
世帯年収別																
100万円未満	(215)	11.6	18.6	9.3	5.1	6.5	7.4	2.8	7.0	2.8	4.7	0.9	0.5	0.9	21.9	
～300万円未満	(944)	14.4	10.7	8.5	12.1	8.4	5.6	4.7	4.0	2.1	3.3	2.1	1.9	0.7	21.5	
～500万円未満	(1613)	13.6	11.2	9.1	10.0	8.0	5.5	6.1	3.7	4.1	3.6	2.3	1.6	0.4	20.8	
～1000万円未満	(2590)	12.5	10.4	9.6	8.1	7.5	7.4	6.4	4.0	3.8	3.1	3.1	1.7	0.7	21.7	
1000万円以上	(893)	14.3	9.5	11.9	5.9	5.4	5.8	5.8	5.7	4.1	2.9	2.7	1.9	0.6	23.4	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(8) 投資信託で特に不満に感じる点〔Q16②：単数回答〕

〔図 5-35〕

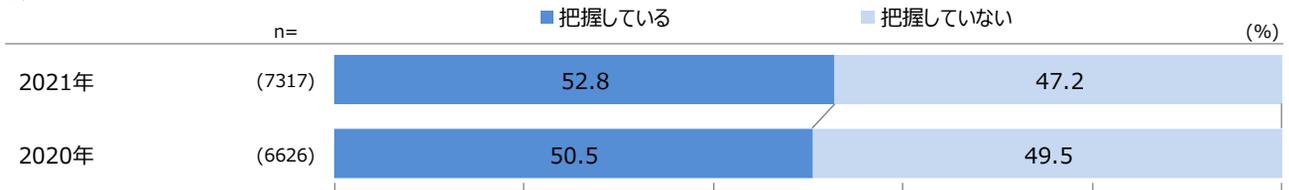


5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

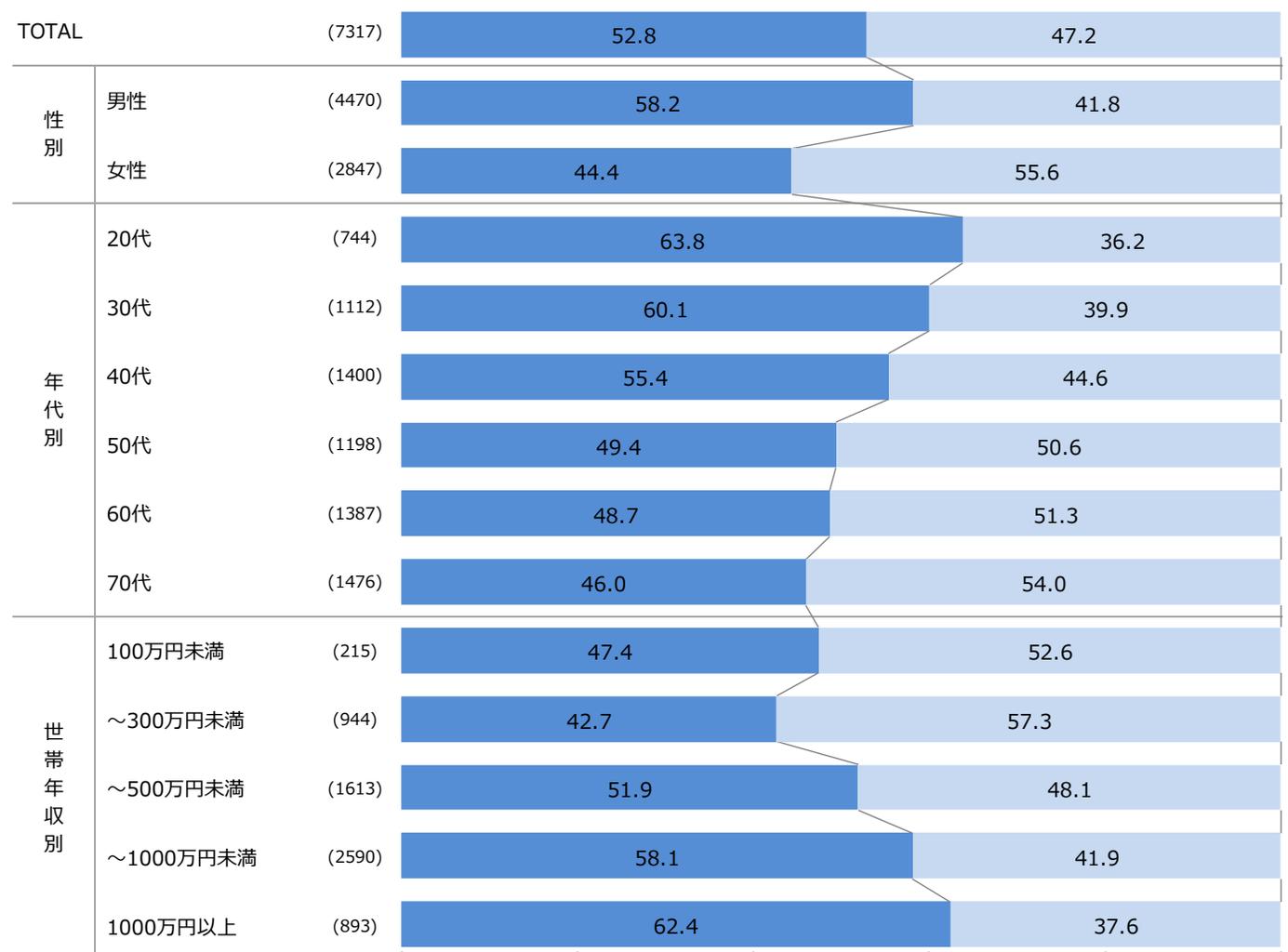
（9）トータルリターンの把握状況〔Q24:単数回答〕

- 現在、または過去に保有していた投資信託の「トータルリターン」は、現在投信保有層・保有経験層での把握率は52.8%で、半数が把握している。〔図5-36〕
- 年代別では若年層ほど把握率が高い。特に20～30代は6割を超える。また、世帯年収が高いほど把握率が高くなる傾向。〔図5-37〕
- 投信保有状況別では、投信現在保有層は、把握率が58.5%と投信保有経験層より23.9ポイント高い。投信株式投信保有層は、61.9%と6割が把握している。〔図5-38〕

〔図 5-36〕



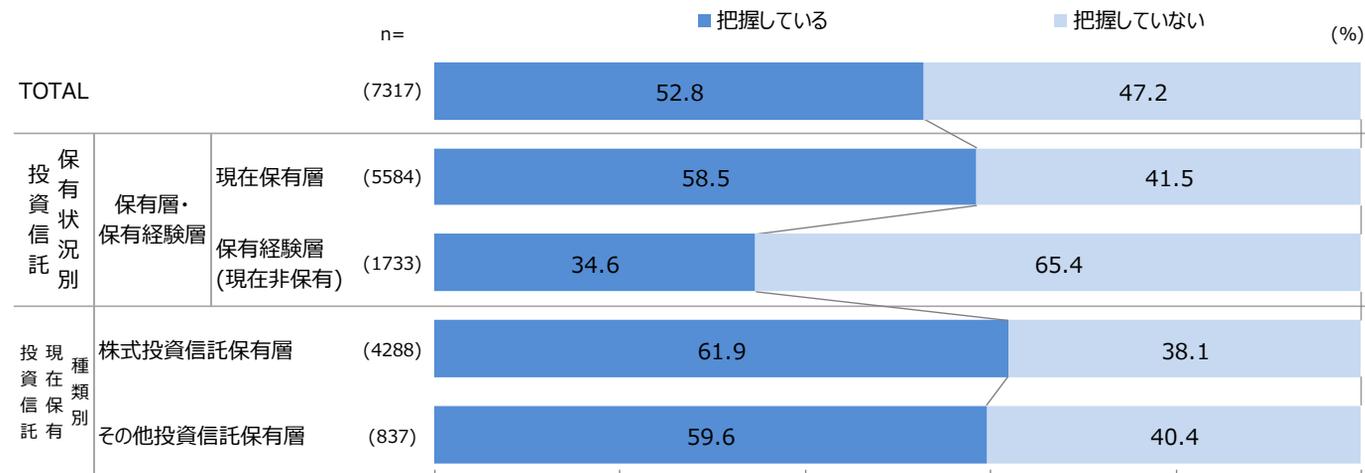
〔図 5-37〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（9）トータルリターンの把握状況〔Q24:単数回答〕

〔図 5-38〕



6. 投資信託保有未経験者の状況 (金融資産保有未経験層を含む)



6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（1）投資信託の非購入理由〔Q26:重複回答〕

- 投信保有未経験層の投信非購入理由は、「投資の知識がない」(39.9%)、「興味がない」(36.8%)、「損をしそうで怖い」(30.5%)が上位。〔図6-1〕
- 年代別で見ると、若年層ほど「投資の知識がない」「まとまった資金がない」「なんとなく機会がなかった」「投資信託の存在を知らなかった」が高くなり、「興味がない」「元本保証がない」は低くなる傾向。〔図6-2〕
- 投信保有状況別では、金融資産保有経験のある層では、「投資信託の仕組みがよくわからない」「元本保証がない」「手数料など費用が高い」「投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい」が高い。金融資産保有経験のない層では「興味がない」が高い。〔図6-3〕

〔図 6-1〕

	n=	投資の知識がない	そもそも興味が	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	投資信託の仕組みがよくわからない	元本保証がない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多すぎて自分で選ぶのが難しい	投資信託の存在を知らなかった	購入するに手間がかかる	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
2021年	(12683)	39.9	36.8	30.5	23.3	23.0	21.6	12.6	9.9	7.5	5.6	4.7	3.2	2.9	2.7	0.8
2020年	(13374)	39.5	36.8	31.4	24.4	22.8	22.6	12.6	9.2	7.7	5.6	5.1	-	3.6	-	0.8
2019年	(13551)	36.8	41.7	29.1	22.7	20.2	22.9	12.9	7.4	6.7	4.9	4.2	-	4.0	-	0.7

※選択肢「家族から投資について良い話を聞かないから」「友人・知人から投資について良い話を聞かないから」は2021年より聴取

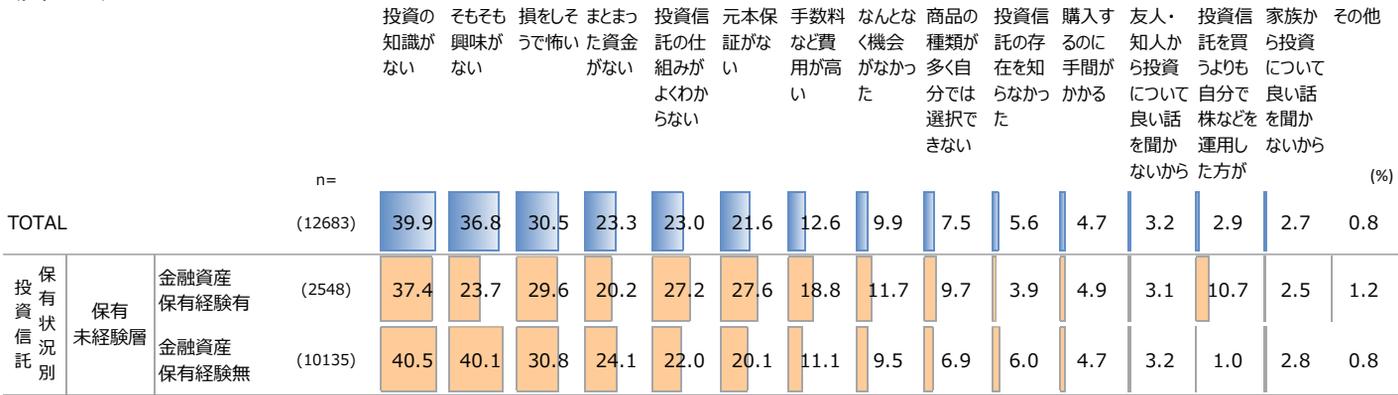
〔図 6-2〕

		n=	投資の知識がない	そもそも興味が	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	投資信託の仕組みがよくわからない	元本保証がない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多すぎて自分で選ぶのが難しい	投資信託の存在を知らなかった	購入するに手間がかかる	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
TOTAL		(12683)	39.9	36.8	30.5	23.3	23.0	21.6	12.6	9.9	7.5	5.6	4.7	3.2	2.9	2.7	0.8
性別	男性	(5482)	33.5	36.8	25.8	23.0	18.9	20.0	13.2	10.4	5.1	5.3	4.3	2.8	4.4	2.2	1.2
	女性	(7201)	44.7	36.7	34.1	23.6	26.2	22.8	12.2	9.5	9.3	5.7	5.1	3.5	1.9	3.1	0.6
年代別	20代	(1850)	43.5	32.5	27.9	25.1	23.8	9.5	7.8	13.7	5.4	8.5	5.4	2.9	1.9	2.7	0.6
	30代	(1938)	46.4	31.4	33.3	25.6	27.4	15.4	10.8	11.6	8.8	6.8	5.9	2.4	2.3	3.0	0.7
	40代	(2579)	40.8	31.8	32.4	25.5	23.1	20.6	13.6	11.2	7.7	5.5	5.9	2.6	2.6	2.7	1.0
	50代	(2307)	35.7	38.1	30.0	23.0	20.8	23.8	14.4	8.5	6.8	5.2	4.7	2.3	2.8	2.3	0.5
	60代	(2052)	36.8	41.5	31.9	20.5	21.1	30.0	14.8	7.8	8.7	4.6	3.6	4.1	3.3	2.4	1.2
	70代	(1957)	37.0	46.0	27.0	19.7	22.5	29.2	13.1	6.8	7.5	2.9	2.8	5.2	4.8	3.4	1.1
世帯年収別	100万円未満	(697)	36.0	44.2	28.6	28.6	22.2	18.8	14.1	9.2	7.6	7.6	6.6	3.6	2.9	3.4	1.1
	～300万円未満	(2245)	42.8	36.5	32.2	29.9	24.8	23.2	14.4	9.3	7.4	5.4	4.6	3.4	3.5	2.7	0.9
	～500万円未満	(2506)	45.7	30.5	33.9	25.9	26.3	23.9	12.1	9.9	8.6	6.0	4.9	3.6	3.3	2.8	0.7
	～1000万円未満	(3099)	43.0	28.3	34.8	22.7	25.4	23.9	13.6	11.3	8.9	6.0	5.1	3.4	3.2	3.2	0.7
	1000万円以上	(637)	37.5	28.1	30.6	17.9	22.8	22.8	13.8	11.0	6.3	4.4	4.1	2.8	4.6	2.5	0.6

6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（1）投資信託の非購入理由〔Q26:重複回答〕

〔図 6-3〕



6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

(2) 投資信託購入検討のきっかけ〔Q27:重複回答〕

- 投資信託購入検討のきっかけは、「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」(27.1%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(20.9%)、「手取り収入が増えたら」(17.5%)が上位。〔図6-4〕
- 年代別では、若年層ほど「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」「金融や投資方法を勉強して理解したら」「手取り収入が増えたら」「貯蓄が一定額に達したら」「家族に勧められたら」「知人・友人に勧められたら」が高くなる傾向。〔図6-5〕
- 投信保有状況別でみると、金融資産保有経験のある層では「手数料の低い投資信託商品が充実してきたら」「税制上の優遇措置がより拡大してきたら」が5ポイント以上高い。金融資産保有経験のない層では「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」が8.0ポイント高い。〔図6-6〕

〔図 6-4〕

	n=	保有しているポイントで投資/運用ができるなら	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	初心者向けセミナーなど、説明してもらえらる機会があれば	家族に勧められたら	金融機関などで、専門知識を身につけてもらえたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向き、値上がり期待できる様になったら	友人・知人に勧められたら	税制上の優遇措置がより拡大してきたら	退職金・相續などで臨時収入があったら	職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら	その他
2021年	(12683)	27.1	20.9	17.5	16.2	14.3	11.7	11.2	11.2	9.7	9.2	7.1	6.0	4.0	2.7	8.8
2020年	(13374)	-	22.1	20.5	17.6	16.7	13.4	20.1	12.4	11.5	11.7	20.1	8.9	5.1	10.0	9.3
2019年	(13551)	-	20.1	19.7	17.0	15.8	13.3	17.4	10.9	11.8	11.7	17.4	8.9	5.1	12.4	9.4

※選択肢「保有しているポイントで投資/運用ができるなら」は2021年より聴取

※「家族に勧められたら」「友人・知人に勧められたら」は、2020年までの「身近な人に勧められたら」を分割して聴取のため同じ数値

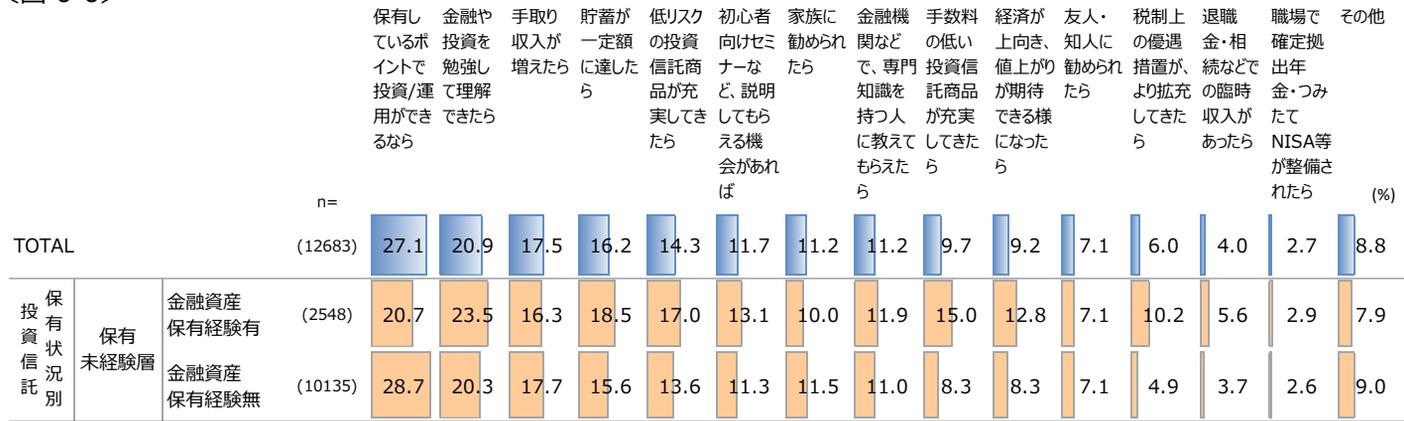
〔図 6-5〕

	n=	保有しているポイントで投資/運用ができるなら	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	貯蓄が一定額に達したら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	初心者向けセミナーなど、説明してもらえらる機会があれば	家族に勧められたら	金融機関などで、専門知識を身につけてもらえたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向き、値上がり期待できる様になったら	友人・知人に勧められたら	税制上の優遇措置がより拡大してきたら	退職金・相續などで臨時収入があったら	職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら	その他
TOTAL	(12683)	27.1	20.9	17.5	16.2	14.3	11.7	11.2	11.2	9.7	9.2	7.1	6.0	4.0	2.7	8.8
性別	男性 (5482)	27.9	18.6	18.4	17.9	12.7	10.2	7.4	10.0	9.6	9.2	7.0	7.0	4.7	2.7	9.1
	女性 (7201)	26.5	22.7	16.8	14.9	15.6	12.8	14.0	12.1	9.7	9.1	7.2	5.2	3.5	2.7	8.5
年代別	20代 (1850)	30.1	25.4	24.9	22.0	11.3	16.3	18.9	13.8	6.2	7.0	13.8	3.7	2.8	4.3	3.6
	30代 (1938)	31.6	23.9	24.1	20.3	13.4	13.9	16.5	14.3	7.7	9.3	11.0	5.2	4.2	3.2	3.9
	40代 (2579)	30.1	23.3	20.0	18.0	14.7	11.3	10.4	10.2	11.0	8.8	7.1	5.8	4.4	3.1	5.9
	50代 (2307)	28.2	16.8	16.3	13.8	13.5	8.5	8.2	8.8	11.1	8.5	4.6	5.6	4.3	2.1	9.9
	60代 (2052)	23.7	18.3	9.8	11.4	16.6	10.2	7.0	9.6	11.3	10.2	3.4	7.2	4.9	2.0	13.2
	70代 (1957)	18.0	18.4	9.8	12.1	16.2	10.9	7.6	11.1	9.8	11.3	3.6	8.2	3.4	1.4	16.4
世帯年収別	100万円未満 (697)	29.6	18.1	20.1	16.9	13.1	10.9	9.3	9.3	7.6	7.5	5.7	5.2	3.0	1.7	10.6
	～300万円未満 (2245)	26.2	20.5	20.0	18.7	15.1	11.6	8.8	10.2	9.9	9.7	6.6	5.1	4.6	2.3	9.9
	～500万円未満 (2506)	24.4	23.3	20.1	18.7	14.8	14.6	11.8	13.6	10.1	10.7	7.7	6.6	5.0	2.2	6.9
	～1000万円未満 (3099)	23.9	22.9	18.8	17.8	15.7	12.9	14.5	13.9	10.8	9.4	9.9	6.6	4.5	3.4	5.8
	1000万円以上 (637)	21.2	24.5	13.5	15.4	14.0	12.6	14.3	13.0	11.5	9.6	8.9	7.7	5.5	4.9	6.9

6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（2）投資信託購入検討のきっかけ〔Q27:重複回答〕

〔図 6-6〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（1）投資信託の商品特徴認知状況〔Q12:重複回答〕

- 投資信託の特徴認知では、「元本保証がない」(50.6%)が最も高く、「リスクとリターンは表裏一体の関係」(42.5%)、「価格変動と為替リスクがある」(36.3%)、「過去実績は将来のリターンを保証するものではない」(32.3%)、「証券会社以外でも購入できる」(31.2%) が上位。上位4項目は前回より増加。〔図7-1〕
- 年代が高くなるほど、商品特徴の認知率が高くなる傾向にあるが、「ポイントで投資信託に投資/運用できる」は若年層ほど高くなる。世帯年収が高くなるほど、いずれの商品特徴の認知率も高くなる。〔図7-2〕
- 投信現在保有種類別でみると、株式投信保有層はその他投信保有層に比べて、「ポイントで投資信託に投資/運用できる」「投信の評価を行う会社がある」「投信は信託銀行で分別管理」「インフレ率より収益率が高ければ1年後により多くのものが購入できる」の認知度が8.9ポイント以上高い。〔図7-4〕

〔図 7-1〕

	n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある	NISAやDCで投資信託に購入できる	ポイントで投資信託に投資/運用できる	投資信託は、運用会社が運用している	販売手数料は別に運用費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を複数買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	MRF投資信託商品である	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	基準価額は、新開や投資信託協会HPで見ることができる	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金の1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がる	この中で知っているものはない	(%)
2021年	(20000)	50.6	42.5	36.3	32.3	31.2	27.8	25.4	25.0	24.4	21.4	18.1	11.5	9.8	9.8	9.7	8.2	6.4	33.3	
2020年	(20000)	49.7	40.9	34.5	30.6	31.2	24.9	24.4	-	24.4	21.0	-	12.0	10.5	9.2	10.6	-	-	33.8	
2019年	(20000)	51.6	40.5	36.3	-	34.5	37.0	24.7	-	26.9	22.5	-	12.8	11.3	9.9	11.6	-	-	34.3	

※選択肢「ポイントで投資信託に投資/運用できる」「インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる」「1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる」「金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる」は、2021年より聴取
 ※「過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない」は2020年より聴取
 ※「国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある」は、2020年「国内籍の投資信託と外国籍の投資信託がある」、2019年「国内の投資信託と海外の投資信託」で聴取

〔図 7-2〕

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある	NISAやDCで投資信託に購入できる	ポイントで投資信託に投資/運用できる	投資信託は、運用会社が運用している	販売手数料は別に運用費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を複数買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	MRF投資信託商品である	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	基準価額は、新開や投資信託協会HPで見ることができる	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金の1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がる	この中で知っているものはない
TOTAL		(20000)	50.6	42.5	36.3	32.3	31.2	27.8	25.4	25.0	24.4	21.4	18.1	11.5	9.8	9.8	9.7	8.2	6.4	33.3
性別	男性	(9952)	53.9	45.7	40.9	37.3	33.2	31.7	28.6	26.6	30.1	26.1	22.3	15.0	12.7	13.2	12.0	11.7	8.5	29.1
	女性	(10048)	47.3	39.4	31.8	27.4	29.2	23.9	22.2	23.4	18.8	16.8	13.8	8.1	6.9	6.4	7.4	4.7	4.4	37.5
年代別	20代	(2594)	29.4	33.0	28.5	22.5	18.8	19.5	19.9	23.2	16.6	12.6	13.0	7.7	6.4	7.0	5.1	7.2	4.7	42.7
	30代	(3050)	44.4	42.5	34.2	32.0	26.3	24.5	26.3	32.6	25.5	21.3	19.4	10.8	7.3	10.8	8.8	9.5	5.4	35.2
	40代	(3979)	50.6	43.3	35.3	32.4	30.5	27.7	27.2	30.7	25.2	22.6	19.0	13.2	9.3	10.8	9.1	9.0	5.9	33.2
	50代	(3505)	53.7	42.5	34.9	33.0	32.0	27.1	25.9	27.1	24.9	22.2	18.6	12.3	12.2	11.0	11.0	8.7	6.9	34.5
	60代	(3439)	59.6	45.4	40.1	35.8	36.8	31.8	25.4	20.9	26.1	23.2	18.8	12.4	11.6	10.0	11.6	8.1	7.6	29.5
	70代	(3433)	59.9	46.0	43.0	35.6	39.2	33.8	26.2	15.1	26.2	24.2	18.2	11.4	11.0	8.2	11.3	6.5	7.6	27.4
世帯年収別	100万円未満	(912)	36.0	31.7	26.3	22.5	22.7	18.8	16.3	19.7	14.8	12.9	11.4	9.0	7.3	5.6	5.3	4.3	3.9	45.8
	~300万円未満	(3189)	49.6	40.1	33.0	28.8	27.6	24.0	20.4	21.5	19.9	17.1	14.7	8.0	7.3	5.9	6.9	5.4	4.1	35.2
	~500万円未満	(4119)	54.4	46.1	40.1	34.9	33.7	29.7	27.1	26.1	25.9	22.2	19.3	12.1	9.7	9.6	10.1	7.8	6.8	27.6
	~1000万円未満	(5689)	57.7	49.3	42.7	38.4	36.4	33.9	32.1	30.9	30.9	27.1	22.3	14.2	12.5	13.0	11.9	10.8	7.9	24.7
	1000万円以上	(1530)	63.2	55.9	49.4	46.9	43.7	41.0	38.8	33.9	38.2	35.2	32.0	22.3	18.6	20.8	18.8	19.5	14.7	19.9

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(1) 投資信託の商品特徴認知状況〔Q12:重複回答〕

〔図 7-3〕

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものは為替リスクがある	過去の実績は、将来のターンの保証するものはない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある	NISAやDCで投資信託が購入できる	ポイントで投資信託に投資/運用できる	投資信託は、運用会社で運用している	販売手数料は別に運用費用がかかる	1社の株をより、株式投資が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	MRFは投資信託商品である	投資信託は、銀行で分別管理されている	基準価額は新聞や投資信託協会HPで見ることができる	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金の1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がるのと公社債投資の信託額は下がる	この中で知っているものはない
TOTAL		(20000)	50.6	42.5	36.3	32.3	31.2	27.8	25.4	25.0	24.4	21.4	18.1	11.5	9.8	9.8	9.7	8.2	6.4	33.3
20代	100万円未満	(167)	19.2	29.3	24.6	19.8	17.4	17.4	15.0	22.2	11.4	7.2	10.2	5.4	7.2	3.0	2.4	3.6	2.4	48.5
	～300万円未満	(366)	21.3	27.3	23.2	18.9	13.1	15.6	13.1	21.0	11.2	9.3	10.4	6.0	4.4	5.2	2.7	4.6	2.2	49.7
	～500万円未満	(598)	36.1	38.3	33.8	24.9	20.9	22.4	23.6	27.1	20.6	15.6	14.0	9.4	7.2	7.7	5.4	8.2	5.2	32.3
	～1000万円未満	(654)	37.2	40.4	37.3	30.4	24.0	24.9	26.3	28.3	23.2	17.4	17.0	10.1	8.0	9.9	7.3	9.5	7.0	32.9
	1000万円以上	(186)	38.2	41.9	33.9	28.5	25.3	30.1	27.4	24.7	21.5	18.8	22.0	13.4	12.9	13.4	9.1	16.7	9.7	29.0
30代	100万円未満	(106)	28.3	25.5	20.8	17.0	14.2	12.3	14.2	15.1	13.2	10.4	8.5	8.5	7.5	4.7	5.7	6.6	3.8	54.7
	～300万円未満	(364)	34.1	34.9	24.2	22.3	17.9	16.2	13.2	27.5	13.5	10.2	12.4	5.8	3.3	3.8	4.1	4.4	1.4	44.8
	～500万円未満	(691)	43.8	42.7	34.6	31.0	26.8	22.3	25.0	33.0	24.9	20.7	18.1	9.8	5.6	10.1	7.4	8.2	5.4	31.8
	～1000万円未満	(1138)	54.4	51.1	42.3	40.4	32.7	32.6	34.8	38.6	33.8	28.6	24.5	13.9	9.7	14.6	11.5	12.0	6.0	25.2
	1000万円以上	(223)	61.0	57.0	51.1	47.5	42.2	36.8	43.5	41.3	39.0	36.8	36.8	21.1	15.7	22.0	19.3	22.0	15.7	18.4
40代	100万円未満	(152)	31.6	28.9	25.7	17.1	18.4	14.5	10.5	19.1	13.2	8.6	7.9	5.9	5.3	2.6	2.0	2.6	2.6	50.7
	～300万円未満	(464)	50.6	39.9	30.4	27.4	22.4	22.0	20.5	29.7	20.0	17.5	15.7	8.4	6.0	5.6	5.4	5.8	4.1	36.6
	～500万円未満	(742)	54.4	46.5	38.3	36.7	34.2	29.2	29.1	32.6	26.0	22.9	19.4	13.9	8.4	10.4	8.5	8.1	5.8	28.8
	～1000万円未満	(1433)	57.1	49.1	40.3	36.8	35.5	31.7	32.5	34.3	30.1	26.7	22.2	15.0	11.0	12.8	11.0	10.3	6.6	24.9
	1000万円以上	(353)	65.7	60.3	52.4	51.0	47.3	47.9	43.9	41.4	42.5	41.6	35.7	26.3	21.5	26.1	21.2	22.9	15.3	16.1
50代	100万円未満	(173)	40.5	34.1	28.3	28.3	26.0	23.1	24.9	25.4	17.9	18.5	17.9	13.3	11.6	7.5	9.2	6.9	6.9	45.7
	～300万円未満	(442)	50.7	40.0	31.7	29.2	27.6	22.6	18.8	23.5	19.7	15.4	13.8	8.1	9.3	8.4	8.6	6.6	4.1	39.4
	～500万円未満	(521)	56.4	45.5	36.9	32.6	33.2	26.9	25.3	29.0	24.4	19.8	18.6	12.1	10.7	10.2	10.9	6.7	5.8	29.4
	～1000万円未満	(1145)	61.5	48.4	40.2	38.1	36.3	32.7	31.4	30.9	29.3	26.6	20.7	14.1	15.3	13.0	12.8	10.9	8.8	25.9
	1000万円以上	(433)	65.8	55.4	46.7	45.7	43.6	37.4	37.2	33.9	38.3	33.5	30.3	20.6	18.5	19.4	18.5	15.5	13.4	22.6
60代	100万円未満	(177)	48.6	40.1	30.5	29.4	31.6	23.7	19.2	22.6	18.6	16.4	13.0	11.3	7.3	9.6	6.8	3.4	4.0	37.3
	～300万円未満	(693)	60.6	45.7	38.7	35.1	33.6	29.6	25.8	21.6	24.2	22.2	18.5	10.1	9.8	7.1	9.5	8.1	6.3	27.6
	～500万円未満	(712)	64.7	47.9	42.6	38.5	40.0	33.3	26.8	23.2	27.0	21.1	20.6	11.2	11.5	9.8	12.2	7.2	8.0	24.4
	～1000万円未満	(769)	66.1	50.6	47.7	40.3	42.8	39.9	30.0	22.6	33.0	30.6	22.6	15.7	16.8	13.4	14.8	10.5	10.4	21.8
	1000万円以上	(234)	73.5	59.4	56.0	54.7	53.4	46.6	38.5	26.5	43.6	39.7	32.5	26.1	20.9	20.9	21.8	19.7	16.7	17.1
70代	100万円未満	(137)	45.3	28.5	25.5	19.7	24.8	18.2	11.7	10.2	13.1	15.3	8.8	8.8	4.4	5.1	5.1	2.9	3.6	41.6
	～300万円未満	(860)	58.1	43.3	38.3	31.4	35.7	28.0	23.1	13.5	23.0	19.9	14.5	7.8	7.8	5.1	7.6	3.1	4.2	28.4
	～500万円未満	(855)	65.6	52.9	50.4	41.9	42.8	39.8	30.6	14.9	30.4	29.8	23.2	14.9	13.6	9.1	14.7	8.2	9.8	21.5
	～1000万円未満	(550)	70.9	56.5	54.2	46.0	52.0	47.1	36.5	20.5	36.2	32.4	26.7	15.3	16.0	13.5	14.4	11.6	10.4	15.1
	1000万円以上	(101)	70.3	58.4	60.4	52.5	45.5	48.5	38.6	24.8	39.6	35.6	32.7	25.7	19.8	18.8	20.8	23.8	20.8	14.9

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(1) 投資信託の商品特徴認知状況〔Q12:重複回答〕

〔図 7-4〕

元本の保証はない
 リスクとリターンは表裏一体の関係にある
 価格変動と、外国に投資するものは為替リスクがある
 過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない
 銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる
 国内（籍）の投資信託と海外（籍）の投資信託がある
 NISAやDCで投資信託が購入できる
 ポイントで投資信託に投資/運用できる
 投資信託は、運用会社が運用している
 販売手数料は別に運用管理費用がかかる
 1社の株をより買おうとしても、株式投資を分散効果が期待できる
 投資信託の評価を行う会社がある
 MRFは投資信託商品である
 投資信託は、銀行で分別管理されている
 基準額は新聞や投資信託協会HPで見ることができる
 インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる
 金利が上がるのと公社債投資の基準額は下がる
 この中で知っているものはない
 (%)

TOTAL		n=	50.6	42.5	36.3	32.3	31.2	27.8	25.4	25.0	24.4	21.4	18.1	11.5	9.8	9.8	9.7	8.2	6.4	33.3
投資信託 保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (5584)	74.1	65.9	61.2	58.0	53.5	53.1	52.7	45.1	49.4	46.3	40.1	26.6	22.1	22.9	23.2	20.4	14.7	6.1
		保有経験層 (現在非保有) (1733)	70.1	56.8	53.7	47.7	45.2	44.0	29.3	20.9	34.5	32.4	24.4	16.7	18.9	14.3	14.1	9.6	9.9	8.9
	保有未経験層	金融資産保有経験有 (2548)	55.9	41.9	36.0	31.8	30.5	24.7	20.8	18.2	23.2	17.9	15.1	8.3	6.5	6.2	5.8	5.7	4.4	31.0
		金融資産保有経験無 (10135)	33.0	27.4	19.7	15.6	16.7	11.8	10.8	16.4	9.2	6.7	5.6	3.1	2.3	2.6	2.4	1.8	1.8	53.1
現在保有種類別	株式投資信託保有層 (4288)	76.0	67.4	63.6	61.1	55.2	55.7	56.0	48.8	53.0	49.4	43.1	29.5	24.2	25.8	25.8	23.4	16.5	4.4	
	その他投資信託保有層 (837)	73.7	69.3	63.0	55.3	56.3	54.1	48.7	36.3	45.0	43.1	36.4	20.5	18.8	16.7	17.9	14.5	11.5	3.6	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

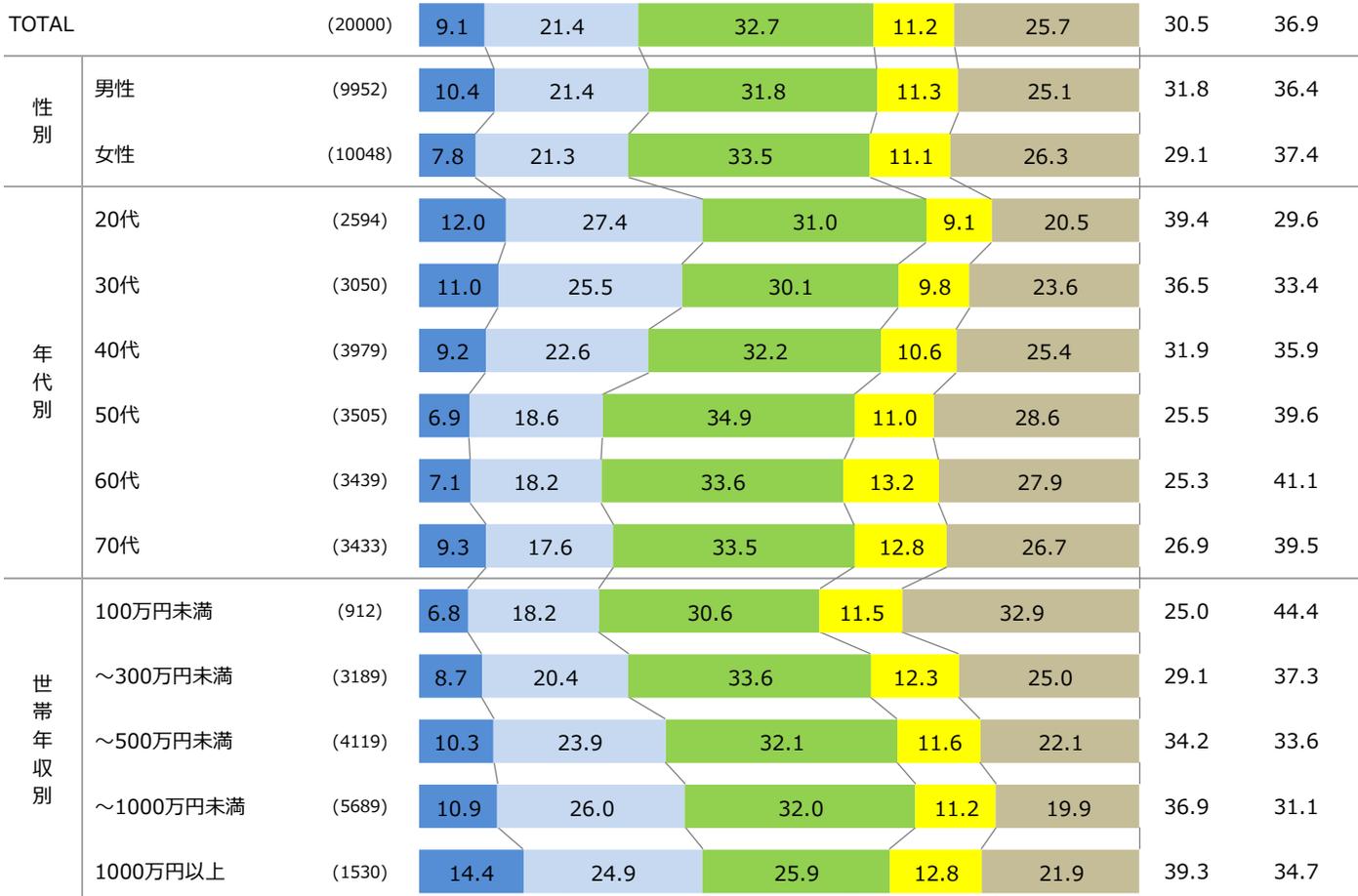
(2) 毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q21:単数回答〕

- 毎月分配型投資信託の魅力度は、TOP2(魅力を感じる計)が30.5%で、魅力を感じない人(36.9%)の方が多い。TOP2は前回より1.3ポイントとわずかに増加。〔図7-5〕
- 年代別では、若年層ほどTOP2が高くなる傾向。20代で39.4%、30代で36.5%と他の年代に比べて高い。また、世帯年収が高くなるほど、TOP2が高い。〔図7-6〕
- 毎月分配型投信現在保有層では、魅力を感じる人は72.7%。前回より4.7ポイント増加。40代以下で74.1%以上が当該商品に対して魅力を感じている。〔図7-9〕

〔図 7-5〕



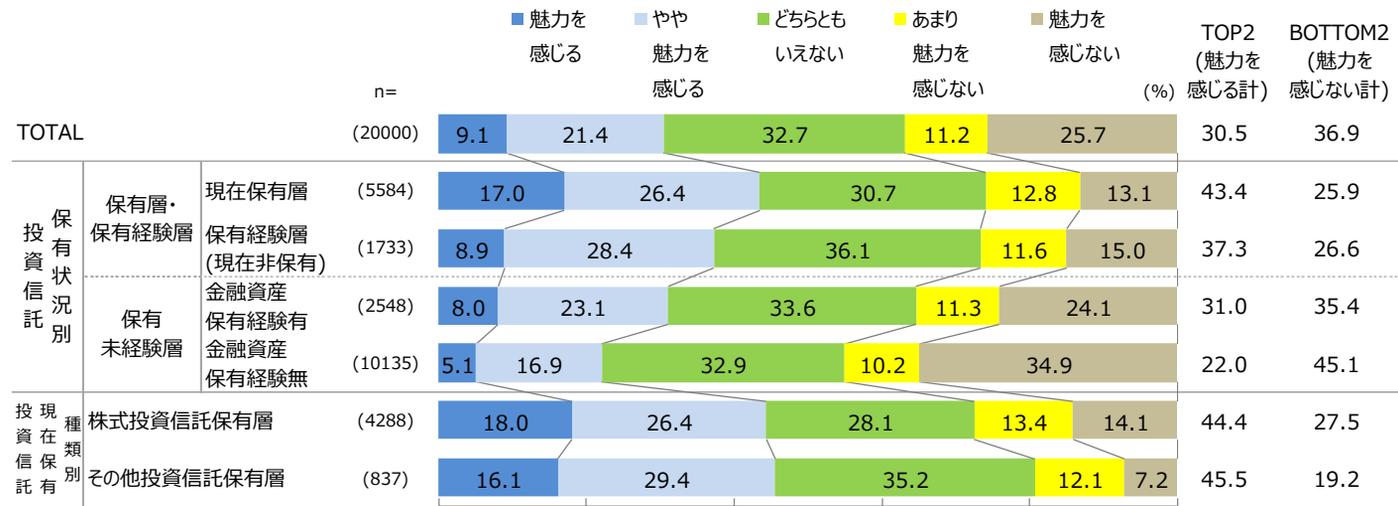
〔図 7-6〕



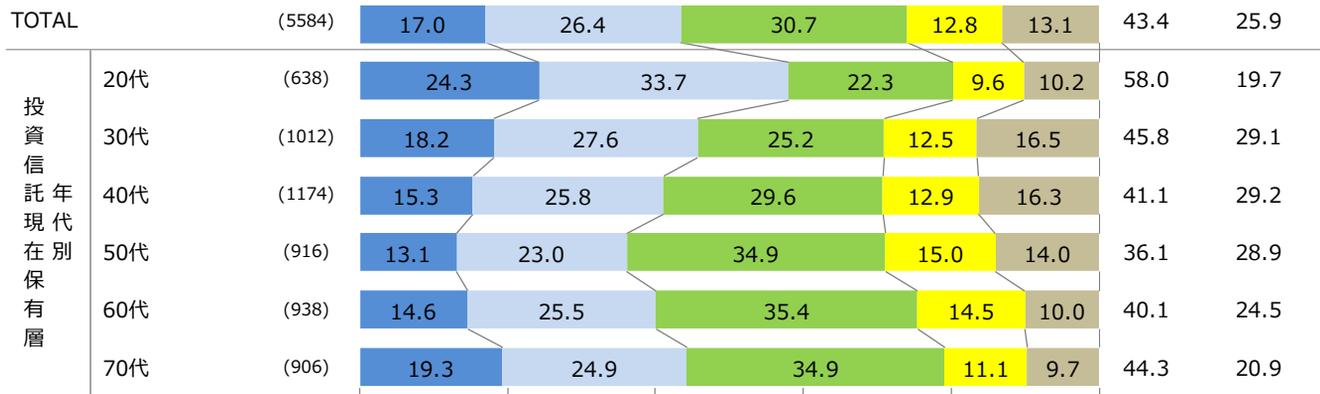
7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(2) 毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q21:単数回答〕

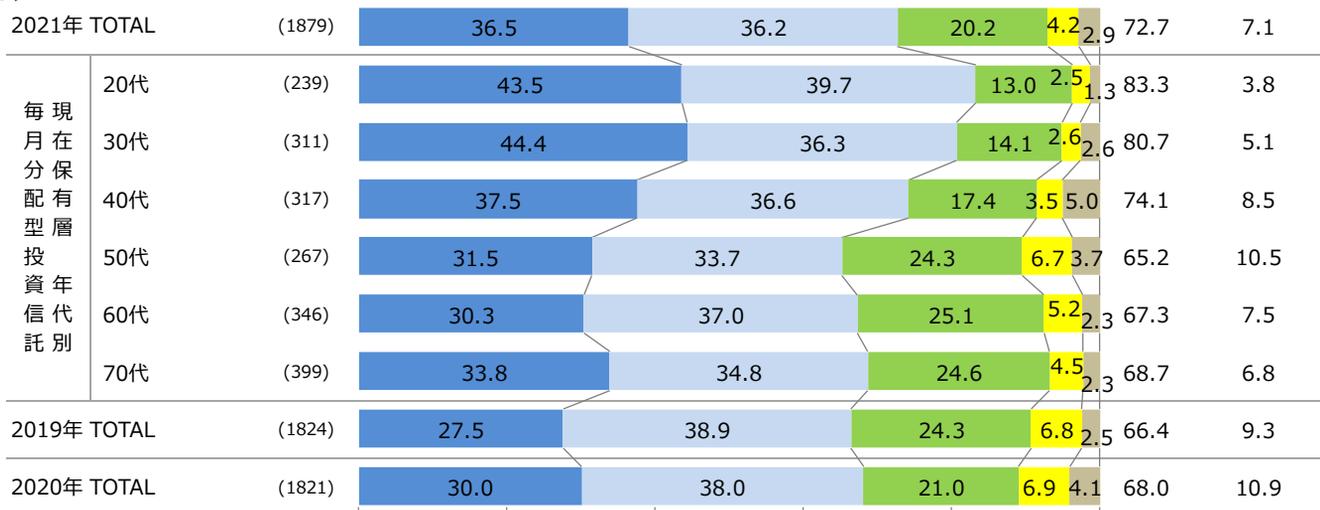
〔図 7-7〕



〔図 7-8〕



〔図 7-9〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(3) 毎月分配型投資信託商品の魅力点(毎月分配型魅力者) 〔Q22：重複回答〕

- 毎月分配型投資信託の魅力点では、「分配金を受け取ることで安心できる」(58.8%)、「毎月利益を確定したい」(54.4%)が上位。〔図7-10〕
- 年代別で見ると、若年層ほど「毎月利益を確定したい」が高い傾向。50代以上は「分配金を受け取ることで安心できる」が6割を超える。60～70代は「分配金で年金補完」が高く、毎月分配型投資信託に魅力を感じている人のうち、4人に1人が評価している様子。〔図7-11〕
- 毎月分配型投信現在保有層では、40～60代で「分配金を受け取ることで安心できる」が60%以上と高い。一方、「毎月利益を確定したい」は30代が58.6%で高い。〔図7-14〕

〔図 7-10〕

	n=	分配金を受け取る ことで安心できる ので	毎月利益を確定 したいので	一部払戻し分配金 で年金収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資 信託の他に魅力的な 商品がなかった	その他	(%)
2021年	(6092)	58.8	54.4	18.9	4.4	0.3	
2020年	(5830)	59.7	55.0	19.7	4.3	0.3	
2019年	(5244)	62.0	55.0	20.7	4.3	0.3	

〔図 7-11〕

		n=	分配金を受け取る ことで安心できる ので	毎月利益を確定 したいので	一部払戻し分配金 で年金収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資 信託の他に魅力的な 商品がなかった	その他	(%)
TOTAL		(6092)	58.8	54.4	18.9	4.4	0.3	
性別	男性	(3167)	59.1	54.1	20.6	4.2	0.3	
	女性	(2925)	58.4	54.7	17.1	4.5	0.3	
年代別	20代	(1022)	52.6	54.9	17.1	4.7	0.2	
	30代	(1112)	55.6	58.1	17.4	5.8	0.4	
	40代	(1268)	58.5	57.4	16.1	4.3	0.5	
	50代	(894)	62.0	53.7	17.3	4.4	0.1	
	60代	(871)	64.6	50.7	24.0	3.3	0.2	
	70代	(925)	61.1	49.2	23.1	3.5	0.3	
世帯 年収別	100万円未満	(228)	59.2	52.2	19.3	6.6	0.0	
	～300万円未満	(928)	61.6	55.2	18.6	3.9	0.4	
	～500万円未満	(1410)	58.2	55.0	19.0	3.3	0.2	
	～1000万円未満	(2101)	59.1	54.4	18.8	4.5	0.3	
	1000万円以上	(602)	60.3	51.8	23.1	5.5	0.3	

〔図 7-12〕

		n=	分配金を受け取る ことで安心できる ので	毎月利益を確定 したいので	一部払戻し分配金 で年金収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資 信託の他に魅力的な 商品がなかった	その他	(%)
TOTAL		(6092)	58.8	54.4	18.9	4.4	0.3	
保有 状況 別	保有層・ 保有経験層	現在保有層	(2424)	60.4	49.8	22.8	4.5	0.6
		保有経験層 (現在非保有)	(646)	61.9	45.7	20.6	3.6	0.0
	保有 未経験層	金融資産 保有経験有	(791)	63.2	59.0	14.8	3.5	0.1
		金融資産 保有経験無	(2231)	54.5	60.2	15.6	4.8	0.1

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(3) 毎月分配型投資信託商品の魅力点(毎月分配型魅力者) 〔Q22：重複回答〕

〔図 7-13〕

		n=	分配金を受け取る ことで安心できる ので	毎月利益を確定 したいので	一部払戻し分配金 で年金収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資 信託の他に魅力的な 商品がなかった	その他	(%)
TOTAL		(2424)	60.4	49.8	22.8	4.5	0.6	
投資 信託 年 現 代 在 別 保 有 層	20代	(370)	58.9	47.6	21.9	4.6	0.3	
	30代	(463)	60.5	53.1	21.2	6.9	0.9	
	40代	(483)	61.5	52.0	18.8	3.9	1.0	
	50代	(331)	60.1	50.2	19.6	4.8	0.0	
	60代	(376)	64.1	49.2	26.1	2.7	0.5	
	70代	(401)	57.4	45.6	29.7	3.7	0.7	

〔図 7-14〕

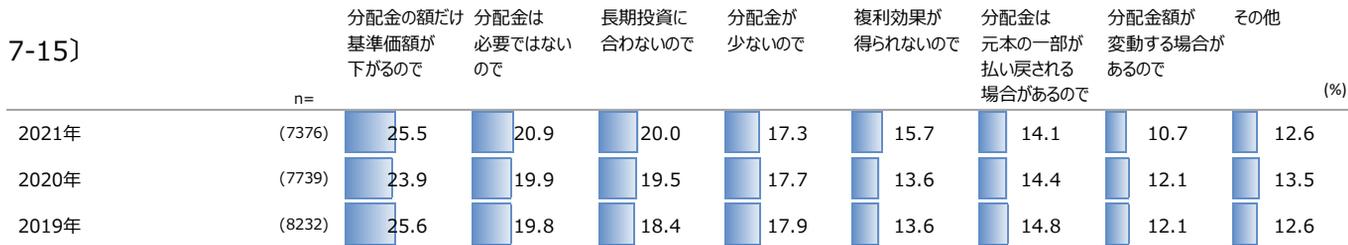
		n=	分配金を受け取る ことで安心できる ので	毎月利益を確定 したいので	一部払戻し分配金 で年金収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資 信託の他に魅力的な 商品がなかった	その他	(%)
2021年 TOTAL		(1366)	59.7	50.8	27.6	4.8	0.6	
毎 現 月 在 分 保 有 型 層 投 資 年 信 代 別	20代	(199)	59.3	48.7	29.6	5.0	0.5	
	30代	(251)	57.8	58.6	27.1	9.2	0.4	
	40代	(235)	61.3	49.8	23.4	4.7	0.9	
	50代	(174)	63.2	47.7	21.3	2.3	0.0	
	60代	(233)	62.2	50.2	29.6	2.6	0.9	
	70代	(274)	56.2	48.5	32.5	4.0	0.7	
2019年 TOTAL		(1212)	61.6	51.4	29.3	5.3	0.5	
2020年 TOTAL		(1239)	58.1	51.3	28.1	6.5	0.5	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

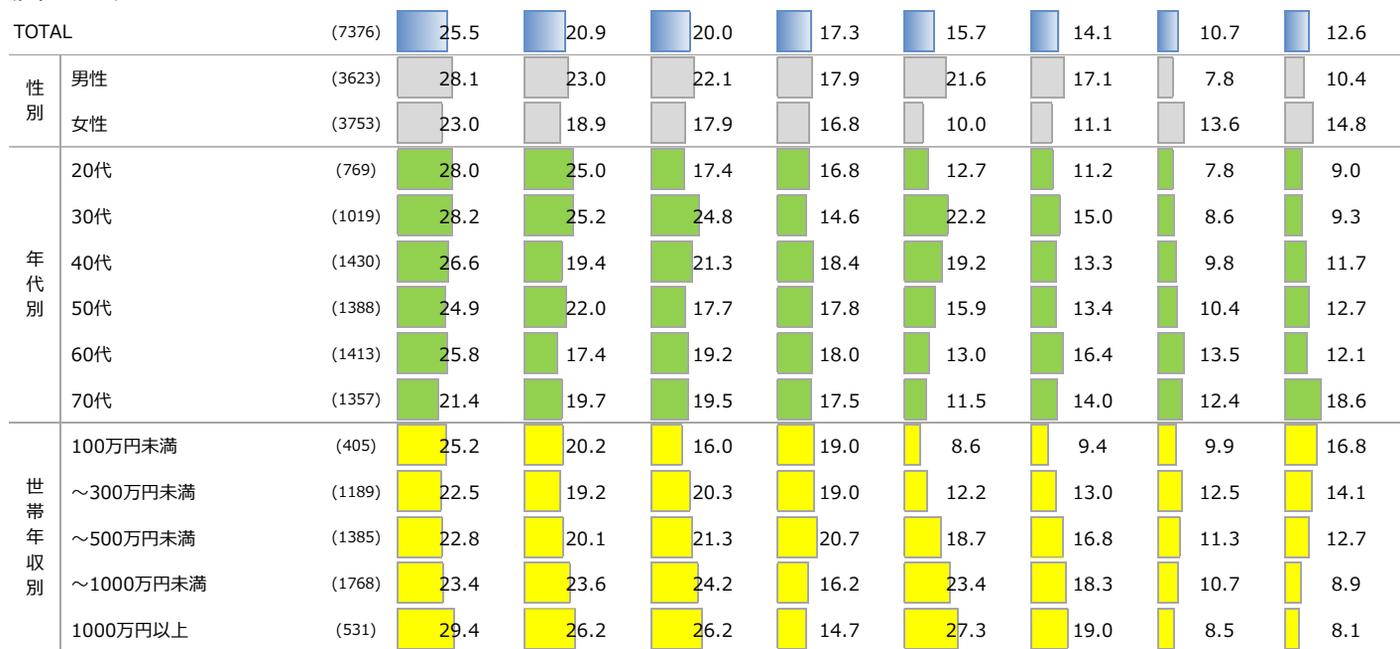
（4）毎月分配型投資信託商品の非魅力点(毎月分配型非魅力者) 〔Q23：重複回答〕

- 毎月分配型投資信託の非魅力点は、「基準価額が下がる」(25.5%)が最も高く、次いで「分配金は必要ではないので」(20.9%)が続く。〔図7-15〕
- 年代別では、20～30代は「分配金は必要ない」が、30～40代は「複利効果が得られないので」がやや高い傾向。〔図7-16〕
- 世帯年収別では、「長期投資に合わないので」「複利効果が得られないので」「分配金は元本の一部が払い戻される場合があるので」が年収が高いほど高くなる傾向。〔図7-16〕
- 毎月分配型投信現在保有層では、「基準価額が下がる」(41.4%)は前回より5.8ポイント減少。「分配金は元本の一部が払い戻される場合があるので」(36.8%)は前回より13.5ポイント減少。〔図7-19〕

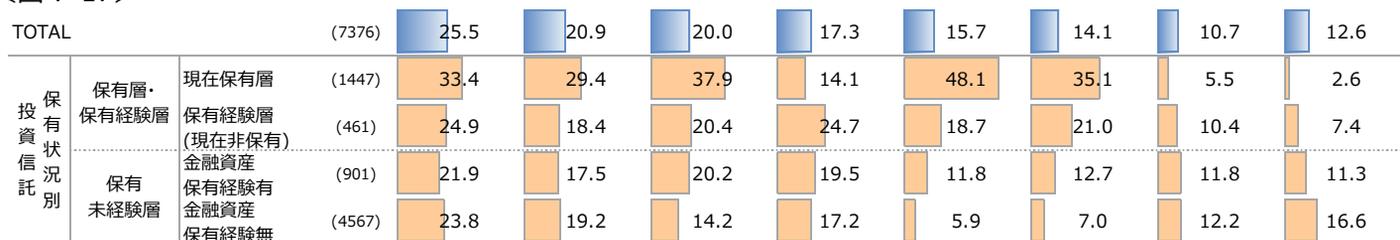
〔図 7-15〕



〔図 7-16〕



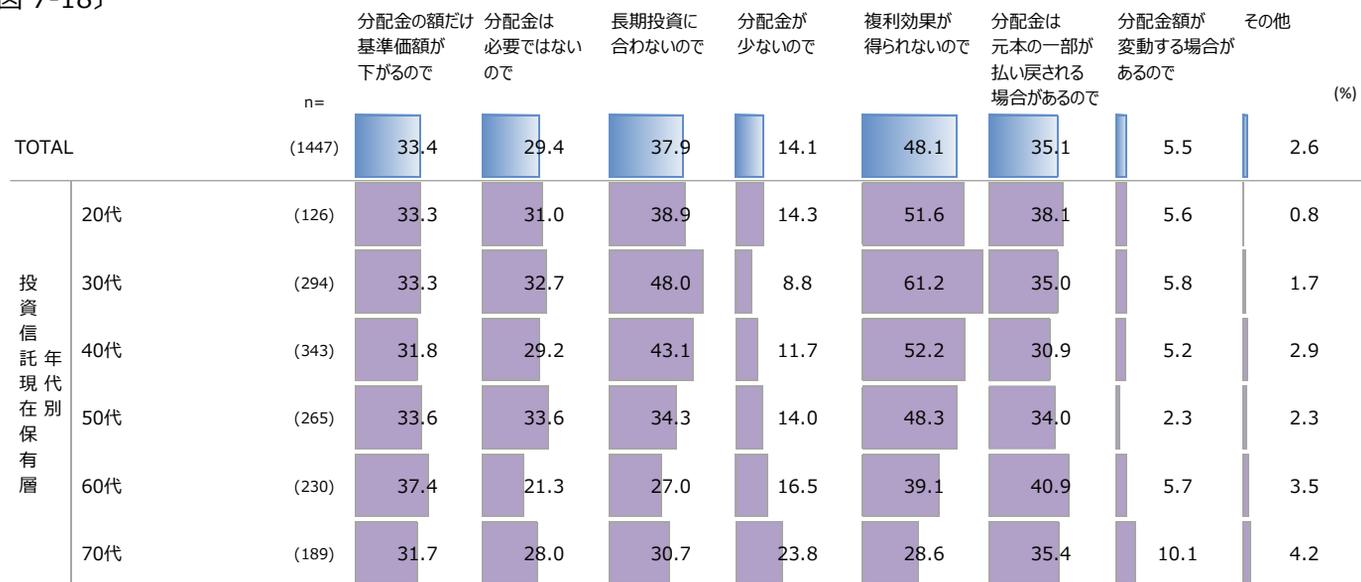
〔図 7-17〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(4) 毎月分配型投資信託商品の非魅力点(毎月分配型非魅力者) 〔Q23：重複回答〕

〔図 7-18〕



〔図 7-19〕

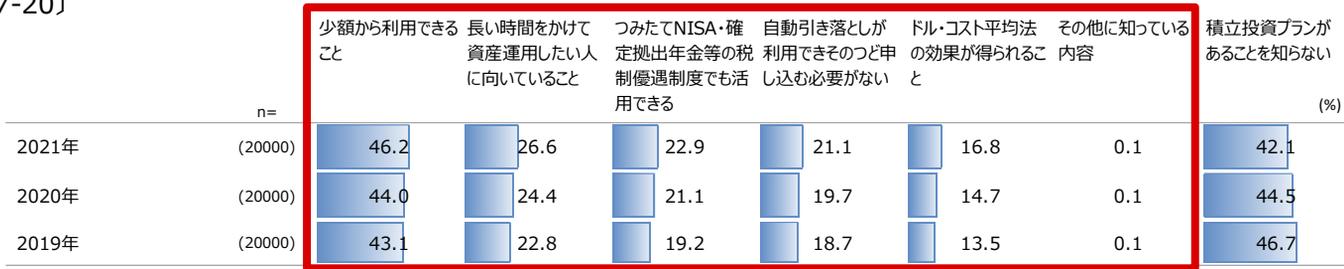


7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(5) 積立投資プランの内容認知〔Q19：重複回答〕

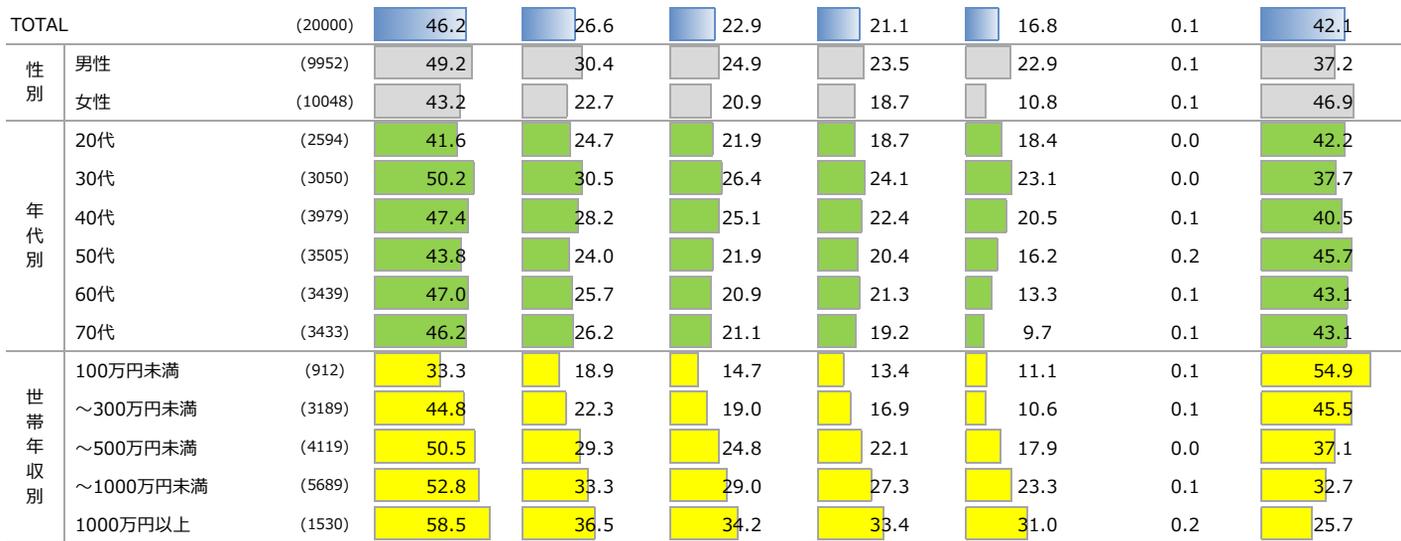
- 積立投資プランについていずれかの内容認知率は、全体で57.9%と半数以上になる。
 具体的には、「少額から利用できる」(46.2%)が特に高く、以下「長い時間をかけて資産運用したい人向き」「つみたてNISA・確定拠出年金等でも活用可能」「自動引き落としが利用可能」が20%以上で続く。〔図7-20〕
- いずれの項目も30～40代の認知が高い。〔図7-21〕

〔図 7-20〕

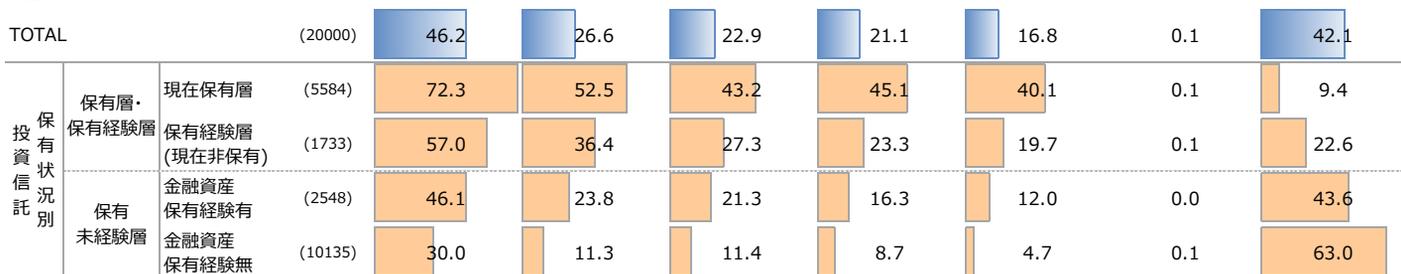


「積立投資プラン」の認知率2021年:57.9% / 2020年55.5% / 2019年53.3%
 (赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

〔図 7-21〕



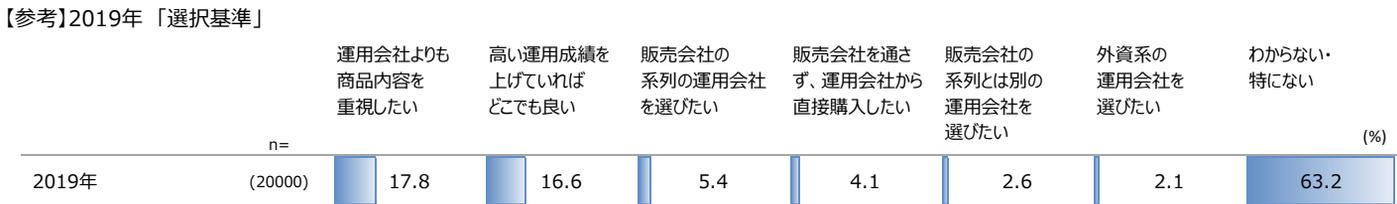
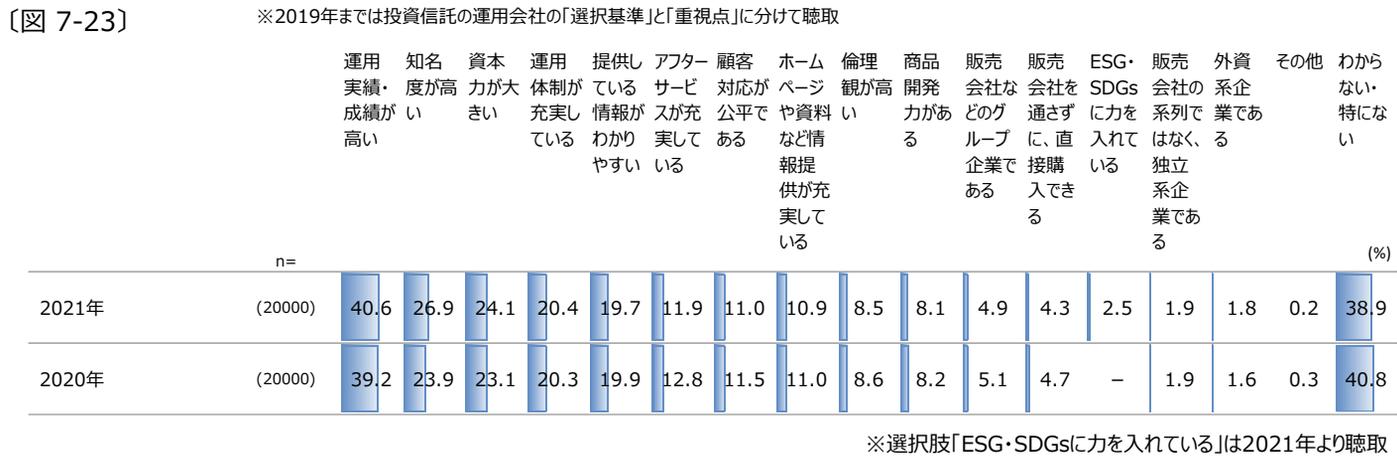
〔図 7-22〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（6）投資信託運用会社の重視点〔Q17：重複回答〕

- 投資信託の運用会社選択では「運用実績・成績が高い」(40.6%)、次いで「知名度が高い」(26.9%)、「資本力が大きい」(24.1%)が続く。顧客志向に関する項目では「顧客対応が公平である」は11.0%、「倫理観が高い」は8.5%となった。〔図7-23〕
- 投信現在保有層は、「運用実績・成績が高い」「知名度が高い」「資本力が大きい」が全体より7.0ポイント以上高い。〔図7-25〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(6) 投資信託運用会社の重視点〔Q17：重複回答〕

〔図 7-24〕

		n=	運用実績・成績が高い	知名度が高い	資本力大きい	運用体制が充実している	提供している情報がわかりやすい	アフターサービスが充実している	顧客対応が公平である	ホームページや資料など情報提供が充実している	倫理観が高い	商品開発力がある	販売会社とのグループ企業である	販売会社を通じて、直接購入できる	ESG・SDGsに力を入れている	販売会社の系列ではなく、独立系企業である	外資系企業である	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL		(20000)	40.6	26.9	24.1	20.4	19.7	11.9	11.0	10.9	8.5	8.1	4.9	4.3	2.5	1.9	1.8	0.2	38.9	
性別	男性	(9952)	43.5	26.7	25.2	20.3	18.2	10.0	10.3	11.3	9.1	9.1	4.6	4.8	2.5	2.2	1.8	0.3	34.9	
	女性	(10048)	37.7	27.1	22.9	20.4	21.1	13.7	11.7	10.5	7.9	7.1	5.3	3.8	2.6	1.5	1.9	0.1	42.9	
年代別	20代	(2594)	35.9	33.5	26.7	18.7	17.9	11.3	9.5	10.8	8.3	5.7	4.0	3.7	3.5	2.6	3.2	0.1	38.5	
	30代	(3050)	40.3	31.3	28.4	21.7	21.1	12.9	9.8	12.6	8.2	7.1	4.1	4.6	2.3	1.8	2.3	0.3	35.5	
	40代	(3979)	42.8	26.6	23.9	20.1	21.0	13.0	10.8	11.5	8.6	7.5	4.4	4.6	2.5	1.8	2.0	0.3	36.9	
	50代	(3505)	38.7	22.7	21.0	20.7	19.2	12.2	10.9	11.0	8.5	7.3	4.4	4.5	2.1	1.6	1.3	0.2	42.9	
	60代	(3439)	42.3	23.1	21.7	20.6	19.8	11.7	12.7	9.6	9.0	9.4	5.3	4.1	2.8	1.8	1.2	0.1	40.4	
	70代	(3433)	42.0	26.5	23.9	20.2	18.6	9.9	11.9	9.8	8.2	10.9	7.3	4.0	2.2	1.8	1.2	0.1	39.0	
世帯年収別	100万円未満	(912)	30.6	21.2	18.9	15.4	16.7	10.1	10.5	9.6	9.2	5.8	4.1	4.8	3.0	2.2	1.4	0.1	50.7	
	～300万円未満	(3189)	38.4	26.7	23.1	19.0	19.0	12.6	11.5	10.8	8.2	8.1	5.6	4.3	2.4	1.7	2.0	0.1	42.2	
	～500万円未満	(4119)	43.6	29.7	26.5	21.9	21.8	13.1	11.9	12.3	8.4	8.5	6.0	4.5	2.5	2.0	2.0	0.1	32.8	
	～1000万円未満	(5689)	48.1	31.1	27.9	23.7	21.8	12.6	11.2	11.8	9.1	9.4	5.2	4.6	2.9	2.1	2.1	0.3	29.3	
	1000万円以上	(1530)	50.3	28.8	29.7	25.6	21.0	10.1	12.2	12.1	12.1	12.0	5.0	5.8	3.7	3.2	2.4	0.3	25.6	

〔図 7-25〕

		n=	運用実績・成績が高い	知名度が高い	資本力大きい	運用体制が充実している	提供している情報がわかりやすい	アフターサービスが充実している	顧客対応が公平である	ホームページや資料など情報提供が充実している	倫理観が高い	商品開発力がある	販売会社とのグループ企業である	販売会社を通じて、直接購入できる	ESG・SDGsに力を入れている	販売会社の系列ではなく、独立系企業である	外資系企業である	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL		(20000)	40.6	26.9	24.1	20.4	19.7	11.9	11.0	10.9	8.5	8.1	4.9	4.3	2.5	1.9	1.8	0.2	38.9	
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(5584)	54.5	33.9	32.8	25.2	21.1	8.3	8.9	13.8	8.3	11.8	6.3	5.7	3.3	3.2	2.3	0.4	15.0
		保有経験層(現在非保有)	(1733)	52.5	31.2	26.6	20.6	19.7	9.9	11.0	12.8	8.5	10.3	5.9	4.4	2.1	2.4	1.4	0.2	22.3
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2548)	47.7	28.0	26.0	24.6	25.1	15.1	15.6	13.4	11.9	9.0	5.7	5.8	2.7	1.6	1.5	0.3	36.1
		金融資産保有経験無	(10135)	29.0	22.0	18.3	16.6	17.5	13.4	11.1	8.3	7.7	5.4	3.9	3.1	2.1	1.1	1.7	0.1	55.7
投資信託現在保有種類別	株式投資信託保有層	(4288)	57.5	36.1	35.1	26.2	22.4	8.3	9.0	14.9	8.4	12.8	6.4	6.1	3.5	3.7	2.5	0.4	11.8	
	その他投資信託保有層	(837)	51.3	30.2	30.6	26.4	20.0	8.6	10.2	11.0	9.8	9.4	6.8	5.4	3.2	2.2	1.8	0.4	15.4	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（7）投資信託のコスト特徴認知状況〔Q25:重複回答〕

- 投資信託にかかるコストの特徴認知については、「購入時手数料がかかる」(41.1%)が最も高く、「購入時手数料は販売会社に支払われる」(23.0%)、「販売会社により購入時手数料が異なる場合がある」(21.4%)、「保有中、運用管理費用がかかる」(20.9%)、「購入時手数料がかからない投信がある」(20.0%)が上位で続く。〔図7-26〕
- 世帯年収が高くなるにつれて認知率も高くなるものが多い。「購入時手数料がかからない投信がある」は30～40代が23%以上でやや高い。〔図7-27〕
- 投資信託の保有未経験(金融資産保有経験無)層では、どの特徴も知らない人が67.7%と高い。〔図7-28〕

〔図 7-26〕

	n=	投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる	購入時手数料は証券会社・銀行等の販売会社に支払われる	販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある	投資信託の保有中、運用管理費用(信託報酬)がかかる	購入時手数料がかからない投資信託がある(ノーロードファンド)	運用管理費用(信託報酬)は投資信託財産から日々差し引かれる	解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある	信託財産留保額は換金事務手数料を賄う意味で徴収、信託財産に留保される	信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない	色々なコストがあり、内容がよくわからない/この中で知っているものはない	(%)
2021年	(20000)	41.1	23.0	21.4	20.9	20.0	12.8	11.2	6.6	4.8	45.0	
2020年	(20000)	40.6	22.5	20.4	19.8	18.4	12.2	10.6	6.5	4.6	45.7	
2019年	(20000)	41.4	23.1	19.9	19.2	17.8	12.2	10.1	6.1	4.4	46.8	

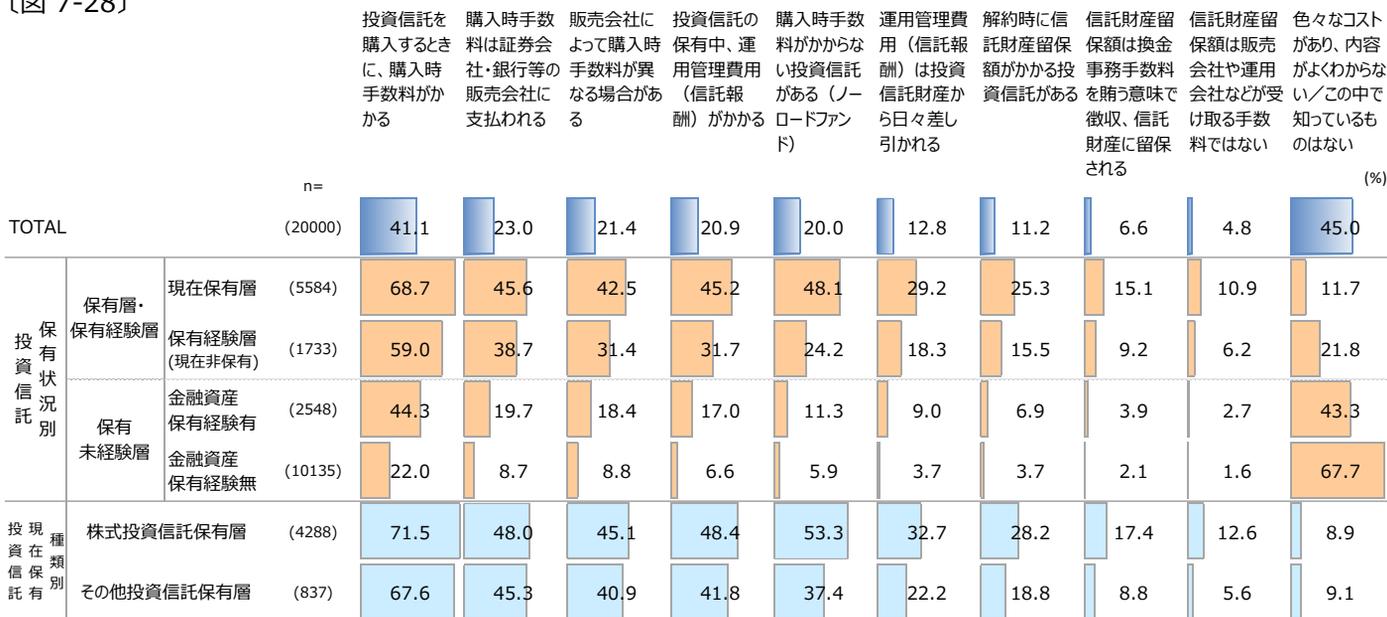
〔図 7-27〕

	n=	投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる	購入時手数料は証券会社・銀行等の販売会社に支払われる	販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある	投資信託の保有中、運用管理費用(信託報酬)がかかる	購入時手数料がかからない投資信託がある(ノーロードファンド)	運用管理費用(信託報酬)は投資信託財産から日々差し引かれる	解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある	信託財産留保額は換金事務手数料を賄う意味で徴収、信託財産に留保される	信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない	色々なコストがあり、内容がよくわからない/この中で知っているものはない	(%)
TOTAL	(20000)	41.1	23.0	21.4	20.9	20.0	12.8	11.2	6.6	4.8	45.0	
性別												
男性	(9952)	45.6	27.5	25.5	26.2	25.5	16.6	14.1	8.7	6.4	37.8	
女性	(10048)	36.6	18.6	17.3	15.6	14.5	8.9	8.2	4.4	3.2	52.1	
年代別												
20代	(2594)	28.5	16.5	16.7	14.6	20.0	9.8	7.5	6.0	4.2	51.0	
30代	(3050)	38.0	19.8	21.3	21.7	23.6	14.2	10.6	6.2	5.4	45.4	
40代	(3979)	40.1	22.7	22.1	21.9	23.1	13.6	12.2	7.2	5.4	44.1	
50代	(3505)	40.4	22.1	21.3	20.6	20.1	13.0	11.8	6.9	5.1	47.0	
60代	(3439)	47.1	25.8	22.5	22.4	17.6	12.6	12.2	6.9	4.6	43.0	
70代	(3433)	49.1	29.2	23.0	22.3	15.4	12.6	11.5	5.9	3.6	41.0	
世帯年収別												
100万円未満	(912)	30.7	16.1	14.8	15.0	14.8	8.4	6.8	4.5	3.4	55.6	
～300万円未満	(3189)	37.6	19.8	17.4	16.5	13.9	9.7	8.4	4.5	3.0	50.2	
～500万円未満	(4119)	44.8	24.6	22.8	21.6	21.5	13.1	11.7	6.6	4.6	40.4	
～1000万円未満	(5689)	47.8	27.9	26.7	26.1	26.1	16.3	14.0	8.9	6.1	35.2	
1000万円以上	(1530)	54.6	37.8	34.0	34.5	33.5	23.2	19.7	13.5	10.6	27.5	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（7）投資信託のコスト特徴認知状況〔Q25:重複回答〕

〔図 7-28〕



8. 投資意識に関する状況



8. 投資意識に関する状況

(1) ESG・SDGs関連への投資意向〔Q28：重複回答〕

- 「持続可能な社会」の取り組みを行う企業に対する投資意向をたずねたところ、「医療・福祉の充実」に
取り組む企業が30.7%で最も高く、次いで「環境問題の改善」(29.6%)、「再生エネルギーの普及」
(28.6%)、「貧困・飢餓問題」(19.4%)が続く。〔図8-1〕
- 年代別では、若年層ほど「貧困・飢餓問題」「教育格差の是正」「ジェンダーフリー・女性活躍の推進」
が高く、高齢層ほど「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」が高くなる傾向。〔図8-2〕
- 投信現在保有層では、どの項目も他層より高い。〔図8-3〕

〔図 8-1〕

	n=	「医療・福祉の 充実」に取り組 む企業	「環境問題の改 善」に取り組む 企業	「再生エネルギ ーの普及」に取 組む企業	「貧困・飢餓問 題」に取り組む 企業	「教育格差の是 正」に取り組む 企業	「ジェンダーフ リー・女性活躍 の推進」に取 組む企業	その他	購入したいと思 うものはない	(%)
2021年	(20000)	30.7	29.6	28.6	19.4	13.9	11.6	0.4	43.6	
2020年	(20000)	33.5	27.9	27.2	17.6	13.7	10.6	0.4	43.1	

〔図 8-2〕

	n=	「医療・福祉の 充実」に取り組 む企業	「環境問題の改 善」に取り組む 企業	「再生エネルギ ーの普及」に取 組む企業	「貧困・飢餓問 題」に取り組む 企業	「教育格差の是 正」に取り組む 企業	「ジェンダーフ リー・女性活躍 の推進」に取 組む企業	その他	購入したいと思 うものはない	(%)
TOTAL	(20000)	30.7	29.6	28.6	19.4	13.9	11.6	0.4	43.6	
性別										
男性	(9952)	28.6	29.2	30.0	17.9	13.5	9.7	0.4	43.9	
女性	(10048)	32.9	30.0	27.2	20.9	14.2	13.4	0.4	43.4	
年代別										
20代	(2594)	30.5	24.5	21.2	23.6	20.0	20.1	0.3	39.3	
30代	(3050)	34.1	27.0	25.8	23.5	19.0	15.2	0.1	39.0	
40代	(3979)	32.0	28.3	28.8	20.4	16.0	11.5	0.4	41.6	
50代	(3505)	26.4	27.2	27.0	17.4	10.6	9.7	0.3	49.5	
60代	(3439)	29.0	33.0	31.8	17.2	10.0	8.2	0.6	46.7	
70代	(3433)	32.4	36.3	34.8	15.8	9.4	7.3	0.6	44.1	
世帯年収別										
100万円未満	(912)	23.2	21.7	21.2	18.0	10.9	12.0	0.9	52.2	
～300万円未満	(3189)	30.6	28.6	27.9	20.6	12.5	10.6	0.5	45.4	
～500万円未満	(4119)	34.5	32.4	30.9	21.2	15.1	12.6	0.2	38.2	
～1000万円未満	(5689)	34.5	33.6	32.7	20.9	16.5	12.2	0.2	36.4	
1000万円以上	(1530)	36.7	37.1	35.8	23.1	18.0	15.9	0.2	33.7	

8. 投資意識に関する状況

(1) ESG・SDGs関連への投資意向〔Q28：重複回答〕

〔図 8-3〕

			n=	「医療・福祉の 充実」に取り組む 企業	「環境問題の改 善」に取り組む 企業	「再生エネルギー の普及」に取り組む 企業	「貧困・飢餓問 題」に取り組む 企業	「教育格差の是 正」に取り組む 企業	「ジェンダーフ リー・女性活躍 の推進」に取り組む 企業	その他	購入したいと思 うものはない (%)
TOTAL			(20000)	30.7	29.6	28.6	19.4	13.9	11.6	0.4	43.6
投資 信託 保有 状況 別	保有層・ 保有経験層	現在保有層	(5584)	39.2	42.3	41.6	23.6	18.6	14.4	0.3	27.7
		保有経験層 (現在非保有)	(1733)	36.5	37.0	35.1	18.4	14.0	11.5	0.4	35.0
	保有 未経験層	金融資産 保有経験有	(2548)	31.1	31.5	31.0	19.3	13.8	10.2	0.4	43.2
		金融資産 保有経験無	(10135)	25.0	20.9	19.7	17.3	11.2	10.4	0.4	54.0
投資 信託 保有 種類 別	株式投資信託保有層		(4288)	40.6	43.1	43.1	24.8	19.6	15.1	0.3	25.7
	その他投資信託保有層		(837)	38.9	44.2	42.5	19.5	17.0	12.7	0.2	25.6

8. 投資意識に関する状況

(2) 金融教育の経験〔Q29①：重複回答〕

- これまでに、お金の話にふれたことがあるものは、「勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた」が14.2%で最も高い。次いで、「ファイナンシャルプランナー相談を利用した」(8.1%)、「金融機関でセミナーを受けた」(6.9%)、「高校や大学で、講義を受けた」(6.3%)が続く。〔図8-4〕
- 年代別では、若年層ほど「勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた」「高校や大学で、講義を受けた」が高い。「金融機関でセミナーを受けた」が60～70代が高い。世帯年収が高くなるにつれて金融教育の経験が高くなる傾向。〔図8-5〕
- 投信現在保有層では、「勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた」「ファイナンシャルプランナー相談を利用した」「金融機関でセミナーを受けた」が全体より7.6ポイント以上高い。〔図8-6〕

〔図 8-4〕

	n=	勤め先の企業で、 確定拠出年金の 導入/継続/教育を 受けた	ファイナンシャル プランナー（FP） 相談を利用した	金融機関で セミナーを受けた	高校や大学で、 講義を受けた	金融機関以外でセ ミナーを受けた	その他	あてはまるもの はない	(%)
2021年	(20000)	14.2	8.1	6.9	6.3	5.2	1.2	71.0	

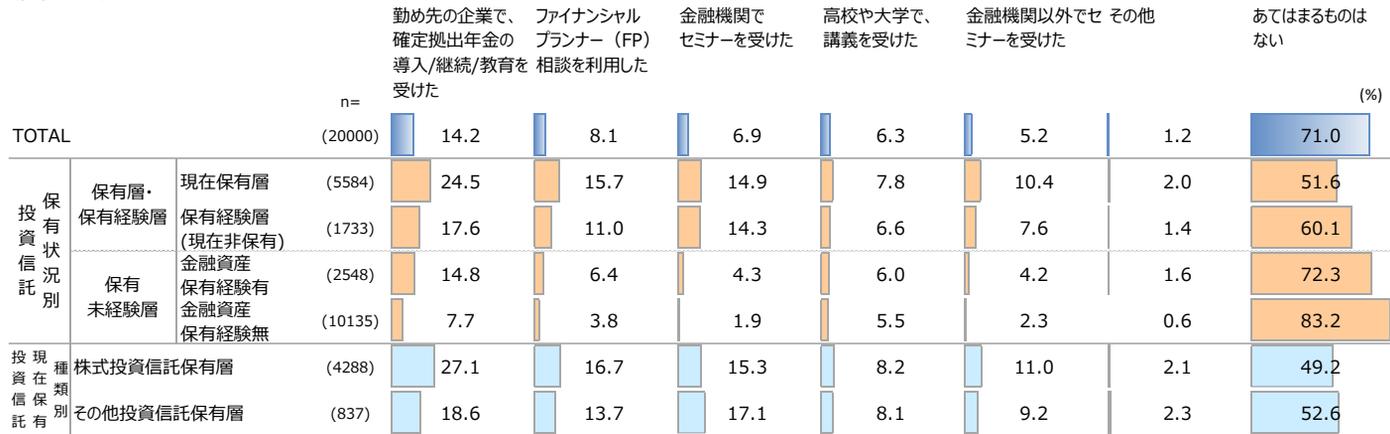
〔図 8-5〕

	n=	勤め先の企業で、 確定拠出年金の 導入/継続/教育を 受けた	ファイナンシャル プランナー（FP） 相談を利用した	金融機関で セミナーを受けた	高校や大学で、 講義を受けた	金融機関以外でセ ミナーを受けた	その他	あてはまるもの はない	(%)
TOTAL	(20000)	14.2	8.1	6.9	6.3	5.2	1.2	71.0	
性別									
男性	(9952)	19.2	8.4	8.3	7.9	6.1	1.2	65.7	
女性	(10048)	9.2	7.8	5.6	4.7	4.4	1.2	76.2	
年代別									
20代	(2594)	18.4	7.7	4.8	19.1	4.2	1.4	60.2	
30代	(3050)	19.2	11.4	5.6	8.4	5.8	1.8	65.2	
40代	(3979)	14.7	8.8	5.3	5.4	5.3	1.6	71.1	
50代	(3505)	12.4	6.4	5.3	3.0	4.5	1.0	76.7	
60代	(3439)	11.4	7.3	8.7	2.7	5.4	0.8	75.3	
70代	(3433)	10.5	7.1	11.5	2.9	5.9	0.8	74.0	
世帯 年収別									
100万円未満	(912)	10.1	4.5	3.7	7.2	3.3	1.2	76.8	
～300万円未満	(3189)	9.7	5.6	6.7	5.1	4.3	1.0	76.8	
～500万円未満	(4119)	14.2	8.4	7.4	6.7	6.0	1.2	69.5	
～1000万円未満	(5689)	20.1	11.9	8.8	7.6	6.5	1.7	61.9	
1000万円以上	(1530)	26.2	13.5	11.6	9.3	8.4	1.6	54.4	

8. 投資意識に関する状況

(2) 金融教育の経験〔Q29①：重複回答〕

〔図 8-6〕



8. 投資意識に関する状況

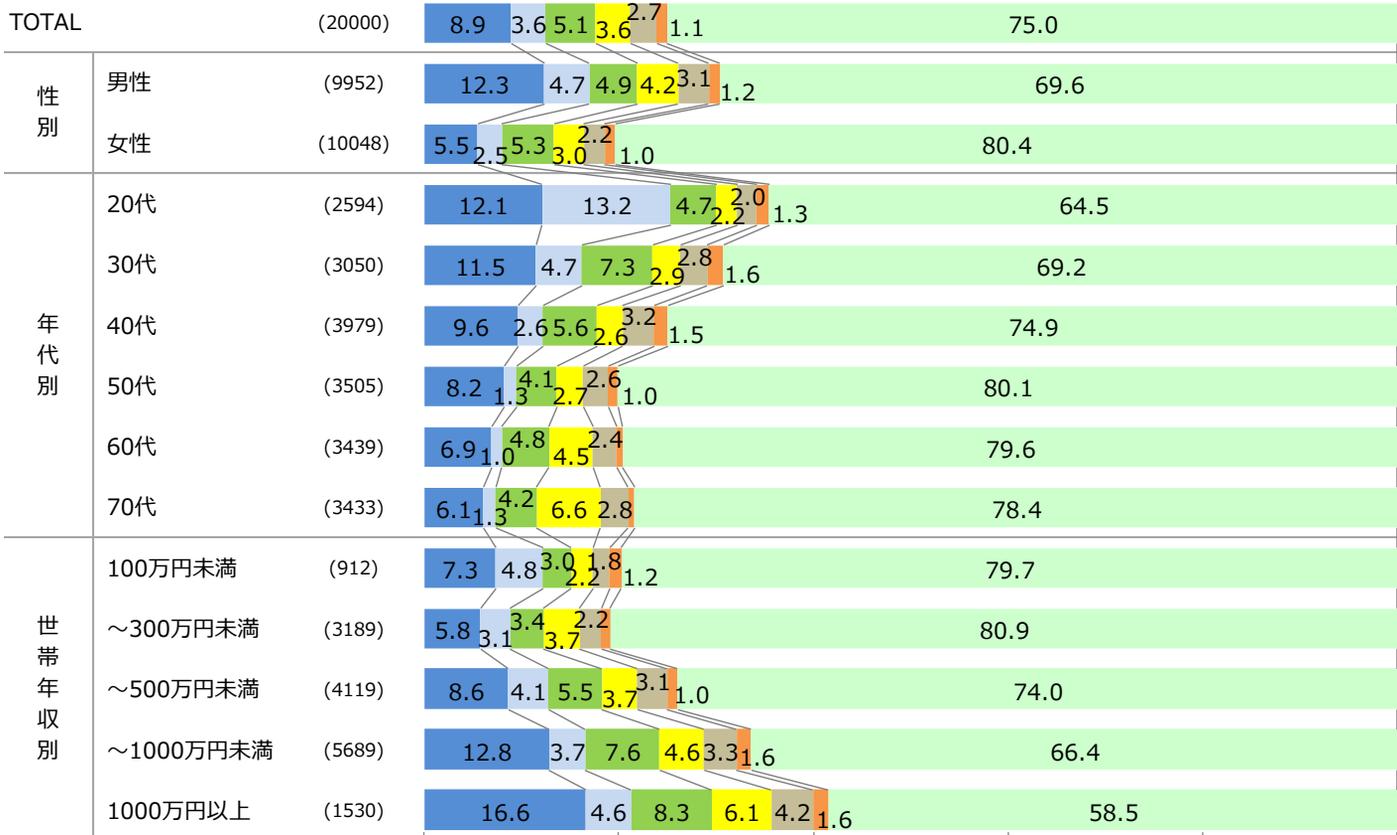
(2) 金融教育の評価〔Q29②：単数回答〕

- これまでに、お金の話にふれたことがあるものの中で一番良かったと思うものは「勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた」が8.9%で最も高い。次いで、「ファイナンシャルプランナー相談を利用した」(5.1%)が続く。更に「高校や大学で、講義を受けた」「金融機関でセミナーを受けた」が同率で3.6%である。〔図8-7〕
- 年代別では、20代が「高校や大学で、講義を受けた」が13.2%と他の年代より高い。30代は「ファイナンシャルプランナー相談を利用した」、高齢層は「金融機関でセミナーを受けた」が高い。〔図8-8〕
- 投信保有状況別では、投信現在保有層は「勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた」「ファイナンシャルプランナー相談を利用した」が高い。〔図8-9〕

〔図 8-7〕



〔図 8-8〕

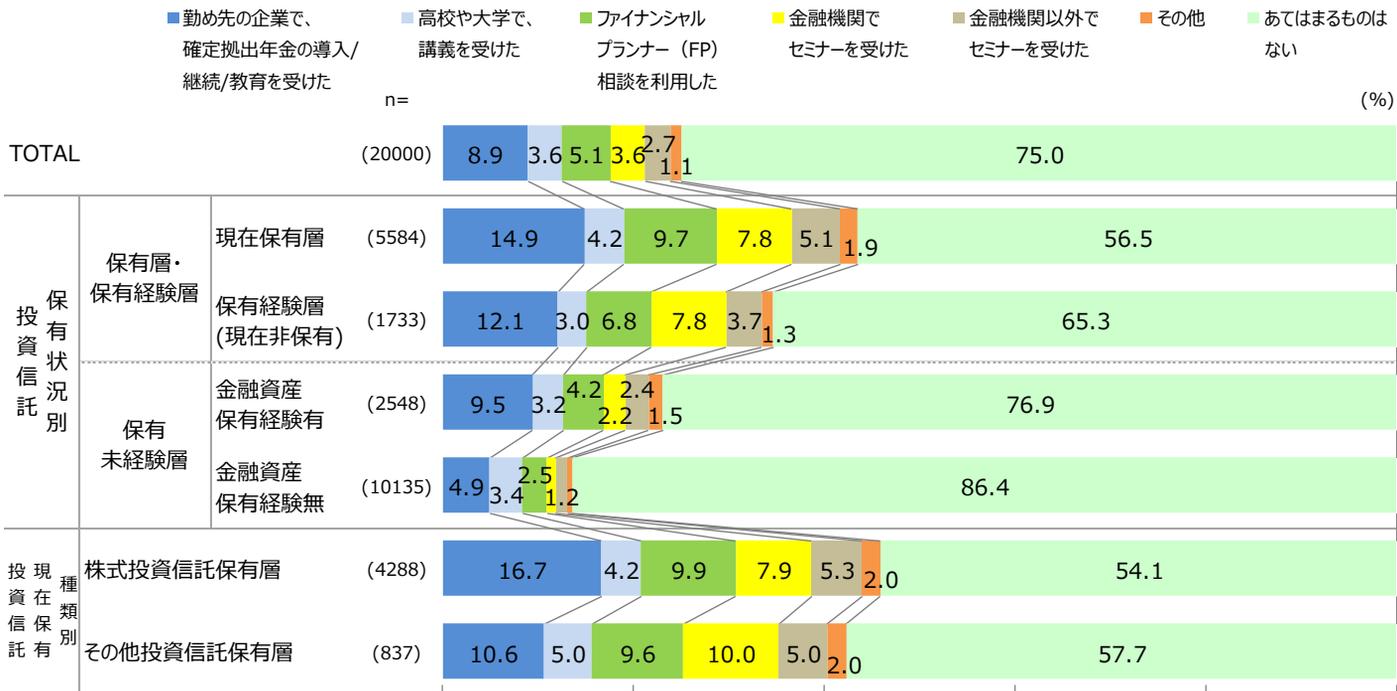


※1%未満は非表示

8. 投資意識に関する状況

(2) 金融教育の評価〔Q29②：単数回答〕

〔図 8-9〕



※1%未満は非表示

末尾添付資料：調査票



添付資料：調査票

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q1 あなたはこれまでに「現金・預貯金（円）以外の金融資産」を保有したことがありますか。

※ 「現金・預貯金（円）以外の金融資産」・・・外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、FX、ETF、リートなど。土地や不動産、保険は除きます。

- 1 保有したことがある
- 2 保有したことはない

<Q2聴取対象：金融資産保有経験者(Q1=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q2 あなたはこれまでに投資信託を保有したことがありますか。

※ 「投資信託」とは、複数の投資家から出資されたお金を一つの資金としてまとめ、ファンドマネージャーなどの資金運用の専門家が、株式や債券、リートなどに投資し、その成果（利益）を投資家に還元する金融商品のことを指します。

- 1 現在保有している
- 2 以前保有していたが、現在は保有していない
- 3 今まで保有したことがない

<Q3聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q3 あなたは投資信託をどの口座で保有していますか。

- 1 特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座
- 2 NISA
- 3 つみたてNISA
- 4 企業型DC（企業型確定拠出年金）
- 5 iDeCo（個人型確定拠出年金）
- 6 ポイント投資/運用の口座
- 7 その他
- 8 わからない・忘れた

<Q4聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q4 現在あなたが保有している投資信託の本数は、全部で何本ですか。

※ 同じ商品でも、コースや型・為替ヘッジの有無などで複数保有している場合は、それぞれを1本としてお答えください。

- 1 1～2本
- 2 3～5本
- 3 6～10本
- 4 11本以上
- 5 わからない・答えたくない

<Q5聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q5 あなたが直近で、新しく投資信託を購入した時期を教えてください。

※ 既に保有していた投資信託の買い増しではなく、これまで保有していなかった投資信託を新しく購入した時期についてお答えください。

- 1 1年未満
- 2 1年以上前～2年未満
- 3 2年以上前～5年未満
- 4 5年以上前
- 5 わからない・答えたくない

<Q6聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 現在あなたが保有している投資信託の主な投資対象または種類につきましてお答えください。

- 1 国内株式に投資する投資信託
- 2 国内債券に投資する投資信託
- 3 外国株式に投資する投資信託
- 4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託
- 5 国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託
- 6 外国の不動産投信に投資する投資信託
- 7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託
- 8 E T F
（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）
- 9 国内不動産投信（Jリート）
（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）
- 10 その他
- 11 わからない・答えたくない

<Q7聴取対象：現在保有している投資信託の種類回答者(Q6=1～9のいずれか回答)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 現在あなたが保有している投資信託の、種類ごとの保有金額と、合計での保有金額を教えてください。

	1 1 0 0 万 円未 満	2 1 0 0 万 ～3 0 0 万 円未 満	3 3 0 0 万 ～5 0 0 万 円未 満	4 5 0 0 万 ～8 0 0 万 円未 満	5 8 0 0 万 ～1 0 0 0 万 円未 満	6 1 0 0 0 万 円以上	7 わ か ら な い ・ 答 え た く な い
1 国内株式に投資する投資信託 Q6で『1.国内株式に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
2 国内債券に投資する投資信託 Q6で『2.国内債券に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
3 外国株式に投資する投資信託 Q6で『3.外国株式に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託 Q6で『4.外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
5 国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託 Q6で『5.国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
6 外国の不動産投信に投資する投資信託 Q6で『6.外国の不動産投信に投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託 Q6で『7.株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
8 E T F （株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの） Q6で『8.E T F（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
9 国内不動産投信〔Jリート〕 （不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの） Q6で『9.国内不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）』 いずれかを選択した方のみ	→ ●	●	●	●	●	●	●
10 総合計（保有している投資信託の金額の合計）	→ ●	●	●	●	●	●	●

<Q8聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q8 投資信託に興味・関心を持ったきっかけや、購入したきっかけとしてあてはまるものを全てお答えください。

- 1 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- 2 証券会社、銀行などの金融機関から送られてきたダイレクトメール（資料や案内状）を見たり、金融機関からの電話案内を聞いて
- 3 講演会やセミナーなどで、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 4 投資信託の商品広告などを見て
- 5 投資信託に関する本を読んで
- 6 新聞、雑誌などの投資信託の記事を見て
- 7 インターネットで投資信託について見たり調べたりして
- 8 SNS(Facebook, Twitter, Instagram等)からの情報を通じて
- 9 YouTube等の動画配信を観て
- 10 家族などから、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 11 友人・知人から、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 12 少額投資非課税制度（NISA、ジュニアNISA、つみたてNISA）があるから
- 13 確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った
- 14 確定拠出年金で投資信託を選択して良かったので、他の口座でも購入した ※ 確定拠出年金と同じ金融機関の他の投資用口座も含む
- 15 景気や市場（相場）の状況を見て
- 16 経済的に余裕ができたので
- 17 「老後2000万円」に関する各種報道を受けて
- 18 ポイントで投資/運用ができることを知って
- 19 その他

<Q9聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じた購入も含めて、お答えください。

Q9 どのような目的で投資信託を購入しましたか。あてはまるものを全てお答えください。

- 1 結婚資金
- 2 高額商品の購入資金
- 3 レジャー資金
- 4 老後の生活資金
- 5 住宅資金
- 6 事業用資金
- 7 子供又は孫のための教育などの資金
- 8 子供や孫に十分な資産を残したいため
- 9 資産のリスク分散
- 10 金融・経済・投資の勉強のため
- 11 金銭的に余裕のある生活をするため
- 12 不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え
- 13 投資で社会を良くすることができるため（ESG投資）
- 14 FIRE（経済的自立・早期リタイア）のため
- 15 その他
- 16 特に目的はないが資金を増やしたいため

<Q10聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q10 あなたは、投資信託を購入した際にどのような点を重視しましたか。また今後、投資信託を購入する場合に重視する点はどれでしょうか。
それぞれ重視度の高い項目を、最大で3つまでお答えください。

	1 投資信託を購入した際に重視した点	2 今後、投資信託を購入する場合に重視したい点
	↓	↓
1 過去の運用実績	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 値下がりの不安が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 値上がりへの期待	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 換金のしやすさ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 分配頻度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 過去の分配金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 純資産額の大きさ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 少額から投資できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 評価会社による評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 商品内容のわかりやすさ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 社会性が高い企業が投資先である（ESG投資など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 その他の商品コンセプト（投資対象、投資テーマ、運用方針など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 その他	<input type="checkbox"/> <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>
15 わからない・特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<Q11聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q11 あなたが投資信託を購入する時に参考にしてしている情報を全てお答えください。

- 1 販売用資料（商品内容のパンフレット）
- 2 目論見書（投資信託説明書）・運用報告書
- 3 投資信託を販売している会社（証券会社、銀行など）のホームページ
- 4 投資信託を運用している会社（アセットマネジメント）のホームページ
- 5 新聞
- 6 投資信託の評価機関（モーニングスターなど）
- 7 投資に関する情報サイト（Yahoo!ファイナンスなど）
- 8 SNS(Facebook,Twitter,Instagram等)からの情報
- 9 YouTube等の動画配信
- 10 その他のインターネットの情報サイト（ファイナンシャルプランナーや個人投資家のブログなど）
- 11 雑誌
- 12 投資信託や資産運用に関する本
- 13 テレビ番組
- 14 投資や資産形成に関するセミナーなど
- 15 金融機関（証券会社、銀行など）の担当者のお話
- 16 親族や知人、友人のお話
- 17 その他
- 18 特になし

添付資料：調査票

Q12 次にあげる投資信託の特徴の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

- 1 M R Fは投資信託商品である
- 2 国内(籍)の投資信託と海外(籍)の投資信託がある
- 3 価格の変動があり、その他に外国に投資するものには為替リスクがある
- 4 リスクとリターンは表裏一体の関係にある（高いリターンを得ようとすれば、高いリスクを伴う）
- 5 過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない
- 6 元本の保証はない
- 7 銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる
- 8 投資信託は、信託銀行で分別管理されている
※ 分別管理とは、信託銀行が、自行と顧客の資産を分けて保管・管理することです
- 9 投資信託は、運用会社が運用している
- 10 販売手数料とは別に運用管理費用（信託報酬）がかかる
- 11 投資信託の評価を行う会社がある
- 12 基準価額は新聞や投資信託協会のホームページでも見ることができる
- 13 NISA（少額投資非課税制度）やDC（確定拠出年金）で投資信託が購入できる
- 14 ポイントで投資信託に投資/運用できる
- 15 インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる
- 16 1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる
- 17 金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる
- 18 この中で知っているものはない

<Q13聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q13 次にあげる投資信託の「分配金」の特徴について、知っているものを全てお答えください。

- 1 一般的に分配金額は、預金の利率のようにあらかじめ決まっているものではなく、運用成績によって変動する
- 2 分配金は投資信託の決算ごとに支払われる
- 3 投資信託の運用成績が良くないときには、分配金額が下がったり、支払われない場合がある
- 4 分配金として元本の一部が払い戻されることもある
- 5 分配金が支払われた額だけ、基準価額（投資信託の値段）が下がる
- 6 分配金の取扱いを「再投資」としても税金がかかる
- 7 この中で知っているものはない

<Q14聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q14 投資信託を売却したり、あるいは償還によって得たお金は、何に使いましたか。あてはまるものを全てお答えください。

- 1 すぐに株式、債券など、投資信託以外の金融商品を購入した
- 2 すぐに他の投資信託を購入した
- 3 次に金融商品を購入する機会を伺う為（待つ為）、預貯金・MRFなどにまわした
- 4 生活資金として引き出した
- 5 まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く
- 6 その他
- 7 売却したことはない、償還によってお金を得たことはない

<Q15聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q15 あなたは、他の金融商品と比較した場合、どのような面で投資信託が優れていると考えますか。あてはまるものを全てお答えください。
また、そのうち特に魅力を感じている点を1つあげてください。

※ 「他の金融商品」とは、投資信託を除いた株式、債券、FXなどを指します。預貯金や不動産は含みません。

	1 他の金融商品と比べて投資信託が優れている点	2 その中で特に魅力を感じている点
1 少額でも分散投資ができる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 少額でも投資の面白味がある	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3 専門知識や時間がなくても投資ができる（専門家に銘柄選定や運用をお任せできる）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4 種類が豊富で目的に応じたものを選べる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5 比較的高い利回りが期待できる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6 積立投資ができる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7 分配金が自動的に再投資される商品がある	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8 定期的に分配金が受け取れる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9 購入後の運用に関する情報が多い（運用報告書などが充実している）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10 購入手続きが簡単である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11 外国への投資が手軽にできる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12 手数料が比較的安い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13 その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14 わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

<Q16聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q16 では、他の金融商品と比較した場合、投資信託で不満を感じるのはどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。

そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	1 他の金融商品と比べて投資信託に不満を感じる点	2 その中で特に不満を感じている点
	↓	↓
1 仕組みや運用手法がわかりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 専門知識がないと商品を選びにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 リターン（収益）が低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 株式に比べて面白さに欠ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 公社債に比べてリスクが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 購入後の運用に関する情報が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 手続きがわずらわしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 手数料が比較的高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 種類が多く選択に迷う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 クローズド期間（換金・解約できない期間）がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 金融機関によって取り扱っていない商品がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

Q17 投資信託は、「運用会社」が商品の設定・運用を行っています。多くの場合、証券会社や銀行などは販売会社として、運用会社から委託を受けて販売を行っています。

投資信託を購入する場合、あなたは「**運用会社**」のどのような点を重視しますか。

※ 運用会社が直接販売を行っている場合もあります。

※ 今までに投資信託を購入したことが無い方は、想定でお答えください。

- 1 知名度が高い
- 2 資本力が大きい
- 3 運用実績・成績が高い
- 4 運用体制が充実している
- 5 商品開発力がある
- 6 ホームページや資料など情報提供が充実している
- 7 提供している情報がわかりやすい
- 8 販売会社を通さずに、直接購入できる
- 9 アフターサービスが充実している
- 10 販売会社（証券会社や銀行）などのグループ企業である
- 11 販売会社の系列ではなく、独立系企業である
- 12 外資系企業である
- 13 倫理観が高い
- 14 顧客対応が公平である
- 15 ESG・SDGsに力を入れている
- 16 その他
- 17 わからない・特にない

<Q18聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q18 現在あなたは、投資信託の積立投資を利用していますか。（「つみたてNISA」や「確定拠出年金」を含みます。）

- 1 利用している
- 2 利用していない

Q19 投資信託の積立投資プランについて、知っている内容はどのようなことですか。

- 1 少額から利用できること
- 2 自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと
- 3 ドル・コスト平均法の効果が得られること
- 4 長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること
- 5 つみたてNISAや確定拠出年金等の税制優遇制度の中でも活用できること
- 6 その他に知っている内容
- 7 積立投資プランがあることを知らない

<Q20聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

Q20 現在あなたは、毎月分配型の投資信託（1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの）を保有していますか。

- 1 保有している
- 2 保有していない
- 3 わからない・答えたくない

Q21 あなたは、毎月分配型の投資信託（1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの）に魅力を感じますか。

- 1 魅力を感じる
- 2 やや魅力を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり魅力を感じない
- 5 魅力を感じない

<Q22聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じる層(Q21=1~2)>

Q22 毎月分配型の投資信託に魅力を感じる理由は何ですか。

- 1 毎月利益を確定したいので
- 2 分配金を受け取ることで安心できるので
- 3 元本の一部払戻しの分配金であっても、年金収入を補完する上で活用できると思うので
- 4 毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった
- 5 その他

<Q23聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じていない層(Q21=3~5)>

Q23 毎月分配型の投資信託に魅力を感じない理由は何ですか。

- 1 分配金は必要ではないので
- 2 長期投資に合わないのでは
- 3 複利効果が得られないので
- 4 分配金額が変動する場合があるので
- 5 分配金が少ないので
- 6 分配金は元本の一部が払い戻される場合があるので
- 7 分配金の額だけ基準価額が下がるので
- 8 その他

<Q24聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q24 あなたは、現在または過去に保有していた投資信託の「トータルリターン」を把握していますか。

※ 「トータルリターン」とは、投資信託の投資期間全体の損益（分配金込み、買付手数料等差し引き後）をいいます。

- 1 把握している
- 2 把握していない

Q25 次にあげる投資信託の**コスト**に関する項目の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

- 1 投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる
- 2 購入時手数料が、かからない投資信託がある（ノーロードファンド）
- 3 購入時手数料は証券会社や銀行などの販売会社に支払われる
- 4 同じ投資信託でも販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある
- 5 投資信託の保有中、運用管理費用（信託報酬）がかかる
- 6 運用管理費用（信託報酬）は投資信託財産から日々差し引かれる
- 7 解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある
- 8 信託財産留保額は換金に必要な事務手数料を賄うという意味で徴収され、信託財産に留保される
- 9 信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない
- 10 色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない

<Q26聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q26 あなたが投資信託を購入したことがない理由は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- 1 投資信託の存在を知らなかったため
- 2 投資の知識がないため
- 3 投資信託の仕組みがよくわからないため
- 4 元本保証がないため
- 5 損をしそうで怖いので
- 6 まとまった資金がないため
- 7 手数料など費用が高いので
- 8 商品の種類が多く自分では選択できないため
- 9 購入するのに手間がかかるので
- 10 投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいいから
- 11 家族から投資について良い話を聞かないから
- 12 友人・知人から投資について良い話を聞かないから
- 13 なんとなく機会がなかったため
- 14 そもそも興味がないので
- 15 その他

<Q27聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q27 あなたが、投資信託の購入を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

- 1 家族に勧められたら
- 2 友人・知人に勧められたら
- 3 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら
- 4 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
- 5 金融や投資を勉強して理解できたら
- 6 貯蓄が一定額に達したら
- 7 手取り収入が増えたら
- 8 退職金・相続などでの臨時収入があったら
- 9 低リスクの投資信託商品が充実してきたら
- 10 手数料の低い投資信託商品が充実してきたら
- 11 経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら
- 12 税制上の優遇措置が、より拡充してきたら
- 13 職場で確定拠出年金や職場つみたてNISA等の利用環境が整備されたら
- 14 保有しているポイントで投資/運用ができるなら
- 15 その他

添付資料：調査票

Q28 次のような「持続可能な社会」の取り組みを行う企業に投資したいと思いませんか。
購入したいと思うものをいくつかもお答えください。

- 1 「貧困・飢餓問題」に取り組む企業
- 2 「医療・福祉の充実」に取り組む企業
- 3 「教育格差の是正」に取り組む企業
- 4 「ジェンダーフリー・女性活躍の推進」に取り組む企業
- 5 「環境問題の改善」に取り組む企業
- 6 「再生エネルギーの普及」に取り組む企業
- 7 その他
- 8 購入したいと思うものはない

Q29 これまでに、お金の話にふれたことはありますか。あてはまるものを全てお答えください。
また、そのうち一番良かったと思うものを1つあげてください。

- | | 1
これまでに、
お金の話に
ふれたこと
があるもの | 2
一番良
かったと思
うもの |
|-------------------------------|--|--------------------------|
| 1 勤め先の企業で、確定拠出年金の導入/継続/教育を受けた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2 高校や大学で、講義を受けた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3 ファイナンシャルプランナー（FP）相談を利用した | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4 金融機関でセミナーを受けた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5 金融機関以外でセミナーを受けた | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6 その他 <input type="text"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7 あてはまるものはない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

添付資料：調査票

Q30 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性
- 2 女性

Q31 あなたの年齢をお答えください。

1 歳

Q32 あなたの職業をお知らせください。

- 1 会社員・非営利団体職員
- 2 会社役員・経営者
- 3 派遣・契約社員
- 4 公務員
- 5 自由業（医師・弁護士など）
- 6 農林漁業
- 7 自営業（農林漁業を除く）
- 8 パート・アルバイト・フリーター
- 9 専業主婦/主夫
- 10 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生
- 11 無職、定年退職
- 12 その他の職業

添付資料：調査票

Q33 あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

	1 あなたの 世帯 年収	2 あなたの 個人 年収
	↓	↓
1 100万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 100～300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 300～500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 500～800万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 800～1000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 1000～1500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 1500万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 わからない・答えたくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q34 あなたの世帯で保有されている「金融資産」(※)の概算の評価額としてあてはまるものをお選びください。

※ 「金融資産」・・・預貯金、社債や国債などの債券・株、投資信託、生命保険のうち満期金のあるもの、貸出金など。
土地や不動産は除きます。

<input type="radio"/> 1 500万円未満
<input type="radio"/> 2 500万円～1000万円未満
<input type="radio"/> 3 1000万円～3000万円未満
<input type="radio"/> 4 3000万円～5000万円未満
<input type="radio"/> 5 5000万円～1億円未満
<input type="radio"/> 6 1億円～5億円未満
<input type="radio"/> 7 5億円以上
<input type="radio"/> 8 わからない・答えたくない

添付資料：調査票

Q35 あなたご自身が現在加入等している制度について伺います。

老後の資産形成として、公的年金以外（国民年金、厚生年金以外）で、最も重視しているものをお選びください。

- 1 企業型確定給付年金（DB）
- 2 厚生年金基金（厚生年金に上積みして、任意に加入する制度。公的年金のみの場合は含みません）
- 3 企業型確定拠出年金（DC）
- 4 退職一時金制度
- 5 退職等年金給付
- 6 個人型確定拠出年金（iDeCo）
- 7 国民年金基金（国民年金に上積みして、任意に加入する制度。公的年金のみの場合は含みません）
- 8 小規模企業共済
- 9 国民年金付加保険料
- 10 個人年金保険
- 11 その他
- 12 あてはまるものはない